

北海道議会時報

令和3年第1回定例会

北海道議会議事事務局

も く じ

| | |
|-------------------------|---|
| 議会日誌 | 1 |
| 令和2年度北海道補正予算の概要 | 2 |
| 令和3年度北海道一般会計予算の概要 | 4 |

第1回定例会

| | | | |
|----|---|-------|----|
| 概要 | 要 | | 6 |
| 本会 | 議 | | 8 |
| 提出 | 案 | | 33 |
| 会議 | 案 | | 37 |
| 決議 | 案 | | 39 |
| 意見 | 案 | | 40 |
| 請願 | 願 | | 42 |

委員会の動き

| | |
|-----------------------|----|
| 議会運営委員会 | 43 |
| 常任委員会 | 47 |
| 総務委員会 | |
| 総合政策委員会 | |
| 環境生活委員会 | |
| 保健福祉委員会 | |
| 経済委員会 | |
| 農政委員会 | |
| 水産林務委員会 | |
| 建設委員会 | |
| 文教委員会 | |
| 特別委員会 | 59 |
| 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会 | |
| 北方領土対策特別委員会 | |
| 新幹線・総合交通体系対策特別委員会 | |
| 人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会 | |
| 少子・高齢社会対策特別委員会 | |
| 食と観光対策特別委員会 | |
| 北海道地方路線問題調査特別委員会 | |
| 予算特別委員会 | 65 |

資料

| | |
|-----------------------------|----|
| 第1回定例会において議決を経た条例の公布調 | 99 |
|-----------------------------|----|

| | |
|--------------------|-----|
| 1月・2月・3月の出来事 | 101 |
|--------------------|-----|

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

| | | |
|----------|-------|----|
| 自民党・道民会議 | ----- | 自民 |
| 民主・道民連合 | ----- | 民主 |
| 北海道結志会 | ----- | 結志 |
| 公明党 | ----- | 公明 |
| 日本共産党 | ----- | 共産 |

議 会 日 誌

▶ 1 月

- 13日(水) 各常任委員会
- 14日(木) 各特別委員会

▶ 2 月

- 2日(火) 各常任委員会
- 3日(水) 各特別委員会
- 18日(木) 議会運営委員会
- 24日(水) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
- 25日(木) 議会運営委員会

[第1回定例会開会]

本会議 (会期決定〈28日間〉、道政執行方針並びに提出議案説明、教育行政執行方針説明、質疑〈5人〉、議案可決)

▶ 3 月

- 4日(木) 議会運営委員会
本会議 (代表質問〈2人〉)
- 5日(金) 議会運営委員会
本会議 (代表質問〈2人〉)
- 9日(火) 議会運営委員会
本会議 (追加提案説明、一般質問〈6人〉)
- 10日(水) 議会運営委員会
本会議 (一般質問〈6人〉)
- 11日(木) 議会運営委員会
本会議 (一般質問〈6人〉)
- 12日(金) 議会運営委員会
本会議 (一般質問〈5人〉、予算特別委員会設置)
予算特別委員会 (正・副委員長の互選、3分科会を設置)
- 15日(月) 予算特別委員会 (補正予算先議)
議会運営委員会
本会議 (各委員長報告、議案可決)
- 17日(水) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会
(各部所管審査)

- 18日(木) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会
(各部所管審査)
- 19日(金) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会
(各部所管審査)
- 22日(月) 予算特別委員会 (各分科委員長報告)
- 23日(火) 予算特別委員会 (総括質疑、議案可決)
- 24日(水) 各常任委員会
各特別委員会
議会運営委員会
本会議 (各委員長報告、動議1件否決、議案可決、人事案件3件追加提案説明・同意議決、会議案1件可決、決議案1件可決、意見案2件可決、関係委員会の閉会申請願継続審査及び事務継続調査の決定)
[第1回定例会閉会]

令和2年度北海道補正予算の概要

第1回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○令和2年度北海道一般会計補正予算(第11号)

(単位 千円)

| 歳 入 | | 歳 出 | |
|----------|-------------|-------|-------------|
| 分担金及び負担金 | 7,631,268 | 総務費 | 802,850 |
| 国庫支出金 | 118,250,925 | 総合政策費 | 470,000 |
| 財産収入 | 1 | 環境生活費 | 1,064,358 |
| 繰入金 | 66,546 | 保健福祉費 | 10,420,125 |
| 繰越金 | 13,651 | 経済費 | 1,528,181 |
| 道債 | 76,835,000 | 農政費 | 77,490,689 |
| | | 水産林務費 | 24,720,301 |
| | | 建設費 | 82,511,850 |
| | | 教育費 | 3,789,037 |
| 計 | 202,797,391 | 計 | 202,797,391 |

令和3年第1回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約2,027億9,700万円。

歳出予算の主なものは、農業農村整備などの公共事業費について1,403億7,000万円、感染症の影響により収入の減少等があった世帯に対する特例貸付の原資を追加することとして77億3,900万円、本道の酪農・畜産業の競争力強化に向けて、畜産経営体等が行う施設の整備等に対して支援することとして100億3,400万円、国の「Go To トラベル事業」の一時停止措置に伴う影響を緩和するため、関連事業者に対する支援を行うこととして14億2,800万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金1,182億5,000万円、道債768億3,500万円。

○令和2年度北海道一般会計最終補正予算(第12号)

(単位 千円)

| 歳 入 | | 歳 出 | |
|--------------|--------------|--------|--------------|
| 道税△ | 22,255,902 | 議会費△ | 134,589 |
| 地方消費税清算金△ | 19,555,067 | 総務費△ | 9,107,093 |
| 地方譲与税△ | 17,052,000 | 総合政策費△ | 7,901,963 |
| 地方特例交付金 | 402,158 | 環境生活費△ | 1,097,654 |
| 地方交付税 | 6,660,482 | 保健福祉費△ | 13,980,938 |
| 交通安全対策特別交付金△ | 20,000 | 経済費△ | 121,559,639 |
| 分担金及び負担金△ | 2,688,004 | 農政費△ | 22,778,531 |
| 使用料及び手数料△ | 620,652 | 水産林務費△ | 4,009,501 |
| 国庫支出金△ | 46,613,245 | 建設費△ | 5,441,476 |
| 財産収入△ | 1,074,808 | 警察費△ | 894,204 |
| 寄附金 | 60,159 | 教育費△ | 1,716,248 |
| 繰入金△ | 2,397,111 | 災害復旧費△ | 1,258,447 |
| 諸収入△ | 113,402,276 | 公債費△ | 110,916 |
| 道債 | 28,062,398 | 諸支出金 | 879,718 |
| 繰越金 | 1,382,387 | | |
| 計 | △189,111,481 | 計 | △189,111,481 |

○令和2年度北海道特別会計最終補正予算

(単位 千円)

| 会 計 名 | 金 額 |
|-------------------------------------------|-------------------|
| 公 債 管 理 特 別 会 計 | △ 1, 6 8 1, 1 5 5 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計 | 8, 8 0 9, 4 7 1 |
| 中 小 企 業 近 代 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計 | △ 1 6 2, 0 9 3 |
| 苫 小 牧 東 部 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計 | 7 9 0, 6 4 3 |
| 石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計 | 1 6 5, 2 0 7 |
| 就 農 支 援 資 金 貸 付 事 業 等 特 別 会 計 | △ 2 6, 3 2 1 |
| 道 営 住 宅 事 業 特 別 会 計 | △ 1 6, 7 0 7 |
| 住 宅 供 給 公 社 経 営 健 全 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計 | 1, 0 0 0, 0 0 0 |
| 地 方 競 馬 特 別 会 計 | 1, 2 3 3, 9 9 0 |
| 公 共 下 水 道 事 業 会 計 | △ 3, 4 7 4 |
| 流 域 下 水 道 事 業 会 計 | △ 4 4, 4 4 6 |
| 電 気 事 業 会 計 | △ 3 9, 2 1 9 |
| 工 業 用 水 道 事 業 会 計 | 3 9, 4 5 9 |
| 病 院 事 業 会 計 | △ 6 8 8, 9 9 0 |
| 計 | 9, 3 7 6, 3 6 5 |

令和3年第1回定例会で可決した最終補正予算の総額は、一般会計約1,891億1,100万円の減額、特別会計約93億7,600万円の増額。

一般会計に係る歳出予算のうち増額補正の主なものは、公債費負担の軽減等のため、繰上償還を行うこととして56億円を計上。

また、減額補正の主なものは、事業の確定等に伴い、中小企業総合振興資金貸付金1,107億5,500万円、税関係交付金及び地方消費税清算金104億600万円、保健福祉関係義務的経費73億1,000万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、地方交付税66億6,000万円、道債280億6,200万円を計上し、道税222億5,500万円、国庫支出金466億1,300万円、諸収入1,134億200万円を減額。

令和3年度北海道一般会計予算の概要

第1回定例会において、次のとおり一般会計予算について審議し、可決しました。

○令和3年度北海道一般会計予算

(単位 千円)

| 歳 入 | | 歳 出 | |
|-------------|---------------|---------|---------------|
| 道 税 | 573,266,638 | 議 会 費 | 3,379,271 |
| 地方消費税清算金 | 253,567,812 | 総 務 費 | 294,580,779 |
| 地方譲与税 | 71,039,000 | 総合政策費 | 59,657,581 |
| 地方特例交付金 | 2,480,000 | 環境生活費 | 13,824,023 |
| 地方交付税 | 631,000,000 | 保健福祉費 | 608,335,846 |
| 交通安全対策特別交付金 | 1,059,000 | 経 済 費 | 516,253,461 |
| 分担金及び負担金 | 17,874,398 | 農 政 費 | 121,265,451 |
| 使用料及び手数料 | 23,062,620 | 水産林務費 | 63,312,541 |
| 国庫支出金 | 520,512,281 | 建 設 費 | 223,700,936 |
| 財 産 収 入 | 5,780,559 | 警 察 費 | 131,419,646 |
| 寄 附 金 | 135,814 | 教 育 費 | 386,645,056 |
| 繰 入 金 | 37,555,368 | 災害復旧費 | 2,606,781 |
| 諸 収 入 | 510,642,276 | 公 債 費 | 643,386,603 |
| 道 債 | 605,019,900 | 諸 支 出 金 | 184,427,691 |
| | | 予 備 費 | 200,000 |
| 計 | 3,252,995,666 | 計 | 3,252,995,666 |

○令和3年度北海道特別会計予算

(単位 千円)

| 会 計 名 | 金 額 |
|-----------------------|---------------|
| 公債管理特別会計 | 391,841,459 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 493,953,453 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 | 954,539 |
| 中小企業近代化資金貸付事業特別会計 | 1,383,974 |
| 苫小牧東部地域開発出資特別会計 | 386,905 |
| 石狩湾新港地域開発出資特別会計 | 211,718 |
| 就農支援資金貸付事業等特別会計 | 587,533 |
| 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計 | 253,922 |
| 林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計 | 309,295 |
| 道営住宅事業特別会計 | 14,897,827 |
| 住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計 | 40,859,537 |
| 地方競馬特別会計 | 40,346,764 |
| 公共下水道事業会計 | 2,337,640 |
| 流域下水道事業会計 | 8,368,763 |
| 電気事業会計 | 6,873,877 |
| 工業用水道事業会計 | 4,078,467 |
| 病院事業会計 | 19,537,307 |
| 計 | 1,027,182,980 |

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により、道財政が一段と厳しさを増す中、当面する収支不足額に対処しつつ、限りある行財政資源の効果的・効率的な配分や国の施策の積極的な活用などにより、感染症対策をはじめ、道政執行方針の政策を着実に展開してい

くことを基本に編成することとし、前年度比で15.4%、額にして4,329億円増の約3兆2,530億円。

歳出予算の主なものは、本道の社会資本整備を計画的に進めるため、公共事業、特別対策事業、施設等建設事業などを合わせた、投資的経費全体で3,311億3,500万円、総務部関係の施策について、私立学校の経営健全化等を図るため167億9,200万円、総合政策部関係の施策について、地域づくりの拠点である振興局と市町村等との協働による事業の推進や、地域の創意あふれる取組を支援するため49億5,300万円、経済部関係の施策について、感染症の発生により落ち込んだ本道観光の需要回復に向けて、徹底した感染防止対策を講じながら、国内からの誘客促進やデジタルメディアを通じた国外への情報発信などに取り組むこととして76億4,800万円、営業時間短縮の要請等が長時間に及んだことにより、経営に影響を受けている全道の事業者の皆様に対し、道単独の支援金を支給することとして51億円、農政部関係の施策について、農作業の省力化や農産物の生産性向上のほか、農村地域の防災・減災対策を促進するため、農地や用水施設などの基盤整備に対し、市町村と連携して支援することとして7億7,000万円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、道税5,732億6,600万円、地方交付税6,310億円、国庫支出金5,205億1,200万円、道債6,050億1,900万円。

第 1 回 定 例 会

▶総額 4 兆2, 801億7, 800万円余の令和 3 年度当初予算を可決◀

概 要

- ① 令和 3 年度当初予算等を審議する**第 1 回定例会**は、**2 月25日に招集**され、会議録署名議員の指定等を行い、**会期を 3 月24日までの28日間**と決定。

次に、**総額 4 兆2, 801億7, 800万円余の令和 3 年度当初予算案及びこれに関連する議案等46件**が上程され、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

次に、**議案第44号ないし第46号**について先議することに決定した後、**質疑**に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、**原案可決**。

その後、議案等調査のため、2 月26日及び 3 月 1 日から 3 月 3 日までの本会議を休会することに決定して散会。

- ② 休会明けの 3 月 4 日から**代表質問**に入り、3 月 5 日に終結。議案等調査のため、3 月 8 日の本会議を休会することに決定して散会。

- ③ 休会明けの 3 月 9 日は、**議案第47号ないし第62号**が追加提案され、知事から提案説明。

次に**一般質問**に入り、3 月12日に一般質問を終結。直ちに**予算特別委員会を設置し、議案第26号及び第28号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第42号を人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会**にそれぞれ付託することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

- ④ 3 月15日、議案第47号等16件の先議案件に関する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

その後、各委員会付託議案等審査のため、3 月16日から 3 月19日まで及び 3 月22日から 3 月23日までの本会議を休会することに決定して散会。

- ⑤ **予算特別委員会**は、3 月12日に正・副委員長の互選を行い、3 分科会を設置。

3 月15日、「**令和 2 年度北海道一般会計補正予算（第12号）**」等について先議を行い、質疑、採決の結果、いずれも**原案可決**と決定。

3 月17日から各分科会において各部所管の審査に入り、3 月19日にこれを終了。3 月22日に各分科委員長報告の後、3 月23日に総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。討論、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**と決定。

なお、審査の経緯に鑑み、新型コロナウイルス感染症の新規感染者の発生が下げ止まりの状態にあり、変異株による感染の広がりも見られることから、変異株に対応するスクリーニング検査の拡充はもとより、モニタリングや高齢者施設等での P C R 検査等を積極的、効果的に実施し、感染対策、経済対策に反映させるとともに、ワクチン接種の本格実施に向けて準備に万全を期し、着実に接種を実施することについて、感染を徹底的に抑え込み、早急にどうみん割事業をはじめとする需要喚起策の本格実施を可能となるよう全力を尽くすことについて、道が脱炭素化に向けて示した2050年ゼロカーボン北海道の実現など新たな地球温暖化対策推進計画の実現に着実に取り組み、基本となる生活スタイル等の転換、挑戦、創造の三つの意識を、全ての道民、事業者、行政が共有し、一丸となって取り組むことについて、道は、デジタル化の推進の取組を積極的にリードし、S m a r t 道庁の推進を支

える人材の育成確保はもとより、道内の中小企業や1次産業生産者がデジタル化に対応できるよう人材の育成確保などを積極的に支援することについて意見を付すことに決定。

⑥ 会期最終日の3月24日は、各付託議案に対する委員長報告の後、予算の組み替えを求める**動議1件**が提出され、説明、討論を行い、採決の結果、**否決**。次に、各付託議案について採決を行い、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、**北海道教育委員会教育長の選任につき同意を求める件等の人事案件3件**が追加提案され、知事から提案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも**同意議決**。

次に、**会議案第1号「北海道議会会議規則の一部を改正する条例案」**が提案され、説明を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**決議案第1号「気候非常事態宣言に関する決議」**が提案され、説明を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**意見案第1号「国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の対象範囲拡大の検討を求める意見書」等2件**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

最後に、閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑦ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

| 提案者 | 提出件数 | 議決状況 | | | | | 報告のみ |
|--------|------|------|------|------|---------------|----|------|
| | | 原案可決 | 同意議決 | 承認議決 | 意見を付し 認定議決 | 否決 | |
| 知事 | 73 | 62 | 3 | | | | 8 |
| 議員・委員会 | 5 | 4 | | | | 1 | |
| 計 | 78 | 66 | 3 | | | 1 | 8 |

本 会 議

○2月25日(木) 午前10時13分開会、村田憲俊議長、令和3年第1回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から元議員加藤唯勝氏(2月8日)と見延順章氏(2月19日)の逝去について、弔意を表した旨報告し、議員派遣の報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月24日までの28日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第46号を議題とし、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

日程第3のうち、議案第44号ないし第46号を先議することについて異議なく決定。

議事進行の都合により午前11時14分休憩。午後1時2分再開。

議案第44号に関する質疑に入り、



清水 拓也議員(自民)から、

- 1 ワクチン接種について
 - ・医療従事者等へのワクチン接種について、道が行わなければならない残りの対象者数や接種希望の状況及び接種場所

となる医療機関や準備の状況

- ・医療提供体制が逼迫している中、医療現場に過度の負荷をかけないワクチン接種の進め方に係る所見
 - ・道内における基本型接種施設の確保状況及び今後の見通し
 - ・サテライト型接種施設などでの効率的な接種に向けたワクチンの移送体制の構築に係る所見
- 2 生活困窮者の支援について
 - ・ウイズコロナの中で生活に困窮している方々の支援に向けた取組
 - 3 事業者への支援金について
 - ・営業時間の短縮要請に伴う協力支援金について、この度の支援金の支援方法や内容決定の考え方及び反映内容
 - 4 中小企業の資金繰り支援について
 - ・中小企業をめぐる資金繰りの現状認識及び今後の支援に係る所見
 - 5 どうみん割事業等の再開について
 - ・集中対策期間の出口戦略を踏まえたどうみん

割などの支援事業の再開に係る所見

- 6 高等学校におけるICT環境の整備について
 - ・高等学校における1人1台端末の整備に向けた今後の対応

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



中川 浩利議員(民主)から、

- 1 国の補正予算に対する知事の評価について
 - ・現下の感染状況を踏まえ、国の補正予算に対する評価
- 2 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について
 - ・今回の補正予算について、5か年対策の初年度としての必要かつ十分な事業量の確保及び強靱化のために真に必要な事業の採択に係る所見
- 3 農業関連予算について
 - ・小規模農家に対する認識及び今回の補正予算に盛り込まれた農業関連施策の執行に当たっての小規模農家に対する対応
- 4 感染症拡大影響緩和観光関連事業者支援事業費について
 - ・国の「Go To トラベル事業」のキャンセル料は本来、停止期間にかかわらず国の責任で公平に補填すべきとの考えに対する認識
 - ・観光関連事業者以外の事業者で影響を被っているにもかかわらず、支援対象外となっている事業者への支援に向けた取組
- 5 観光誘客道民割引事業費について
 - ・どうみん割の販売再開を判断する要素及び再開に当たり再度感染拡大を招かないよう、北海道らしい新しい旅のスタイルを推奨するなどの取組の必要性に係る所見
- 6 交通事業者利用促進事業費について
 - ・期間延長を見据えた今後の販売に係る所見
 - ・ポストコロナにおいて、世界一安全・安心で、清潔な公共交通といったレガシーを残すための事業者支援に係る所見
- 7 新型コロナウイルス感染症対応資金について
 - ・制度終了後の中小企業の資金需要への対応
 - ・国の制度が地方自治体の融資制度の活用を前提としたものである以上、国の責任において損失補償の財源を確保するよう求めるべきとの考えに係る所見
- 8 ワクチン接種体制確保事業について

- ・道庁の組織力を総動員して取り組むべき最重要課題であるワクチンの接種体制の整備に向けた決意及び道内の市町村の支援に向けた取組
- 9 特定不妊治療費助成事業について
 - ・今回の国の拡充措置に対する評価及び不妊治療の経済的負担のみならず、幅広い課題の解決に積極的に取り組むべきとの考えに係る所見
 - 10 生活福祉資金貸付事業費補助金について
 - ・今回の生活福祉資金の拡充による生活困窮者対策に対する評価及び生活困窮者対策の充実を国に要望する考えに係る所見
 - 11 高等学校設備事業費について
 - ・最先端の職業教育を行うスマート専門学校の実現に当たり、地域産業を支える職業人材の育成などの戦略的な視点の必要性に係る所見
- 等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



赤根 広介議員（結志） から、

1 事業者支援について

- ・国の支援制度が確定次第、一日も早い支給を実現すべきとの考えに係る所見

2 ワクチン接種について

- ・道内のワクチン接種の対象者数とスケジュール及び道内で接種開始から1週間が経過した現在の副反応を含めた接種の状況
- ・広報啓発分の5,500万円余りの予算を全額令和3年度へ繰り越す理由及び広報啓発の内容と丁寧な情報発信に向けた取組
- ・接種の開始に先立ち実施した医療関係団体との意見交換で出された意見及び円滑な接種体制の構築に対する課題の認識
- ・医療機関や公共施設、高齢者施設での接種など、様々なケースにおいて副反応が出た際の対応を想定したシミュレーションや事例の蓄積、共有に向けた対応
- ・ワクチン接種の実施主体となる市町村の体制整備に向けた取組
- ・円滑な接種に向けた共同接種及び接種体制の構築に向けた取組
- ・離島におけるワクチン接種について、効率的かつ迅速に摂取するために優先対象の高齢者と同時に全島民に接種する国の方針に係る所見

- 3 観光誘客促進道民割引事業について
 - ・どうみん割の事業再開の考え方を地域や事業者、道民に分かりやすく提示すべきとの考えに係る所見
 - ・どうみん割再開後の「Go To トラベル」や市町村独自の誘客促進策との関係に係る所見
- 4 東京オリンピック・パラリンピックについて
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、市町村がホストタウンの取組を行う意義に係る所見
 - ・海外選手が訪れる市町村における、選手や住民の感染防止対策及び安全な大会の開催につなげる取組
- 5 学校における感染症対策について
 - ・全ての道立学校において消毒作業の委託が可能となる予算の確保及び消毒作業の委託先が見つからない場合の対処方法に係る所見
 - ・教職員がPCR検査等の業務に携わった事例数及び教職員が検査業務に当たる際の行政手続き
 - ・感染リスクが懸念されるPCR検査等に携わった教職員に手当を支給すべきとの考えに係る所見
 - ・土日、祝日、昼夜を問わず検査結果の保護者等への早急な連絡に対する勤務上の扱い及び手当等の対応に係る所見

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時19分休憩。午後2時21分再開し、



中野渡 志穂議員（公明） から、

1 防災・減災、国土強靱化について

- ・道民の生命と財産を守るため、防災・減災、国土強靱化の取組をこれまで以上に強力に推進することの重要性に対する認識

- ・5か年加速化対策について、新たに対策を講ずるインフラの老朽化対策及び国土強靱化の取組を効率的に進めるためのデジタル化の推進に対する評価
- ・5か年加速化対策の初年度における、防災・減災、国土強靱化に対する取組

2 生活困窮者支援について

- ・感染症の終息が見通せない中、4月以降も生活福祉資金特例貸付を延長するよう国に求め

るべきとの考えに係る所見

3 産業教育の充実について

- ・デジタル化対応産業教育設備整備事業による設備整備の内容及び産業教育に対する取組

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



菊地 葉子議員（共産） から、

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費について

- ・医師が1人しかいない市町村への対応を含めた支援の内容
- ・ワクチンが届く時期や方法など、自治体に対する正確な情報確保に向けた体制構築に係る所見
- ・医療機能に支障を出さず、副反応が出た場合の職員体制を含めた市町村や医療機関からの相談に対する対応
- ・介護・福祉事業所の職員へのワクチン接種について、高齢者と同等の優先順位に引き上げることの国への働きかけ及び道独自に優先接種する必要性に対する見解

2 生活福祉資金貸付事業費補助金について

- ・新規貸付期限のさらなる延長が不可欠であり、4月以降の延長を国に求めるべきとの考えに係る所見

3 観光誘客促進道民割引事業費について

- ・国の「Go To事業」の再開が見通せない中で、多額の予算を次年度に繰り越す必要性に係る所見
- ・感染拡大防止の観点から、どうみん割の事業継続ではなく事業者への直接支援で苦境から脱する手だてを打つ必要性に係る所見

4 東京五輪大会ホストタウン等における新型コロナウイルス感染症対策基金について

- ・海外選手を受け入れる市町村において必要とされる具体的な感染対策の規模
- ・保健師の体制確保について、正規職員としての保健師を確保する手段に係る所見
- ・今夏に五輪開催ができると考える根拠及び五輪開催を立ち止まってゼロベースから開催の是非を再検討することに係る所見

5 GIGAスクール構想事業費について

- ・道立学校のうち、特別支援学校の児童生徒には1人1台端末の整備を行い、道立高校の生徒を対象とした整備は行わないとする根拠
- ・道教委が定めた道立学校の教育活動費に係る

公費・私費負担区分基準との整合性に係る所見

- ・本補正予算で整備する学習用パソコン及びWi-Fi環境について、貸与の対象基準を生活保護・非課税世帯のみに限定する理由及び全生徒への貸与に向け、対象拡大を決断すべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。質疑を終結。

委員会付託を省略し、採決に入り、議案第44号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第45号及び第46号を問題とし、いずれも異議なく原案可決。

次に、議案等調査のため、2月26日及び3月1日から3月3日までの本会議を休会することに決定し、午後3時1分散会。

○3月4日（木） 午前10時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第43号を議題とし、**代表質問**に入り、



東 国幹議員（自民） から、

- #### 1 知事の政治姿勢などについて
- ・道政を取り巻く現状に対する認識及び新年度の道政運営に当たる姿勢に係る所見

- ・今後のワクチンの接種方法や

スケジュール、準備の状況及び道内における円滑かつ公平なワクチン接種に向けた取組

- ・PCR検査等の今後の在り方に係る所見
- ・これまでの病床確保に向けた取組状況及び医療提供体制の確保に向けた今後の取組
- ・今後の新型コロナウイルス感染症対策の推進に向けた保健所等の体制強化に係る所見
- ・改正新型インフルエンザ特措法等への対応について、感染症対策の強化に結びつくことに対する疑問や感染者情報の在り方に対する懸念の声に対する対応
- ・感染拡大防止の実効性を高めていくための改正新型インフルエンザ特措法等の運用に係る所見及び法改正に対する受け止め
- ・今後の北海道のさらなる飛躍へとつながる道を北海道総合計画の見直しを通じて道民に示す必要性に係る所見

- ・コロナ禍で厳しい財政状況が続く見通しの中で行う行財政運営に係る所見
- ・デジタル化の推進における重点的な取組に係る所見
- ・デジタル化の推進に向けた人材確保に係る所見
- ・地球温暖化対策推進計画におけるCO₂の削減目標設定の考え方及び実効性の確保に向けて道の体制強化を含む道民や事業者、行政機関等が連携する取組
- ・次期省エネ・新エネ促進行動計画において、系統接続問題への主体的な関わり及び解決に向けた取組
- ・政府が打ち出したグリーン成長戦略に対する認識及び今後の対応
- ・脱炭素化を進めていく上で原子力の利用も成長戦略の中に位置づけている国の政策方針に対する受け止め及び北海道における原子力発電の位置づけに係る所見
- ・J R 北海道の経営支援につながる国の対応に対する受け止め及び今後の対応
- ・道内の食品産業をめぐる状況に対する認識及び食産業振興に向けた取組
- ・厳しい経営状況にある飲食関連事業者等に対する支援金の予算化に向けた趣旨及び支援内容の充実に係る所見
- ・コロナ禍で厳しい状況に置かれている本道観光の現状に対する認識及び観光振興に向けた取組
- ・統合型リゾート、いわゆる I R について、国が I R 基本方針で今回決定した申請期限に係る所見及び今後の対応
- ・新型コロナウイルス感染症や昨年のロシア憲法の改正など、北方領土を取り巻く最近の状況を踏まえた北方領土問題の解決に向けた取組
- ・空き家対策について、空き家予備軍といった新たな課題や通勤圏に制約されない居住地選択の動きなど、最近の状況変化等を踏まえた今後の対応
- ・東京オリンピック・パラリンピックについて、5月の「北海道・札幌マラソンフェスティバル2021」などの開催に向けた取組及び大会本番の運営等に生かすための取組
- ・オリンピック開催を本道経済の回復につなげ

るための取組

- ・コロナ禍における自殺防止に向けた取組
- ・北海道農業・農村振興推進計画について、それぞれの地域が掲げる「めざす姿」の実現に向けた実効性のある施策の展開に係る所見
- ・高病原性鳥インフルエンザ対策について、これまでの取組及び養鶏場などへのさらなる侵入防止対策の徹底に向けた取組
- ・本道の水産業の振興に向けた取組
- ・CO₂の吸収源としての機能が十分発揮できるなど、多様な機能を備える森林整備に向けた取組

2 教育問題について

- ・少人数学級編成等について、小学校の35人学級等の円滑な導入など、学校における指導の一層の充実にに向けた取組
- ・質の高い教員の確保等に向けた取組
- ・信頼される学校教育の実現に向けた取組

3 公安問題について

- ・警察行政を取り巻く状況を踏まえた新年度の警察行政推進の考え方及び道民の負託に対する対応

等について質問があり、午前10時51分休憩。午前10時54分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午前11時55分休憩。午後1時4分再開し、

沖田 清志議員（民主） から、

1 知事の政治姿勢について

- ・この2年間の道政運営に対する評価及びそれを踏まえた今後の舵取り
- ・令和3年度当初予算における知事公約の反映及び前半2年間で遅れが見られる政策の進め方に係る所見
- ・狭隘化した経済社会を健全化させ、ポストコロナ時代の北海道の構築に係る所見
- ・昨年度民に提示した、不確実な行事予定表にすぎない現ロードマップを公に示し続ける意義に係る所見及び道民が希望に満たされるような道民のためのロードマップに改編すべきとの考えに係る所見
- ・令和3年度の予算編成に当たって見直した事務事業や外部資金の獲得に向けた取組及び今後の取組
- ・北海道人権施策推進基本方針の見直しスケジ



- ・ユーロ及びパートナーシップ制度の導入をはじめとする人権施策の充実を重点施策に盛り込まなかった理由
- 2 行財政運営について
 - ・職員一人一人の個の力を高め、道庁の総合力を発揮するとしている行財政運営の基本方針について、総合力の発揮を妨げている要因に対する認識及び今後の改革に向けた取組
 - ・組織運営について、時間外勤務の縮減率や休暇の取得率など、新たに定量的な目標を定めて計画期間内の取組を道民に分かりやすく提示し、確実に進めるべきとの考えに係る所見
 - ・北海道総合計画の見直しについて、コロナ禍の収束も見通せず、社会環境も大きく変化している中での見直しの意義や狙いに係る所見及びあるべき姿である、輝き続ける北海道に寄与する見直し内容
 - ・北海道総合計画の進め方について、あるべき姿の具体的なイメージ及び道民に対する丁寧な周知を行うための具体的な方策及び方策の実行に向けた取組
 - 3 地方創生の推進について
 - ・ICTの積極的な活用に係る5Gの現状や課題認識及び5Gの普及拡大に向けた取組
 - ・テレワークの推進について、導入ができていない産業や企業、自治体などに対して積極的に関与及び支援することに係る所見
 - ・新過疎法の施行により卒業団体となる自治体への過疎債の発行上限の縮減を緩やかにするなどの経過措置に対する評価及び卒業団体に対する経過措置終了後の支援の必要性に係る所見
 - 4 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等について
 - ・これからの道政運営が新型コロナとの共存か、感染を抑えるゼロコロナを目指すのか、方針を明確にした上で効果的な対策を打ち出すべきとの考えに係る所見
 - ・まん延防止等重点措置への対応について、感染者情報の公表基準に対する地域設定や警戒ステージの引上げ、休業要請の可否などの早急な基準づくりの必要性に係る所見
 - ・感染者情報の公表の在り方について、国の検討状況がいつまでも見えない今、道が主体的に最適解を導くべきとの考えに係る所見
 - ・PCR検査体制をさらに充実し、福祉施設等の定期的なPCR検査を実施すべきとの考えに係る所見
 - ・ワクチン接種体制について、接種に必要な医療従事者の確保に難儀している自治体があるという実態の認識及び接種の実施主体である市町村への支援に係る所見
 - ・後遺症について、退院後のフォローアップや専門外来の設置など、感染患者の健康を守る観点から早急かつ具体的な対策が必要との考えに係る所見
 - ・事業者への支援について、飲食店のみならず関連事業者に対する支援のために支給範囲を広範囲に拡大し、さらなる支給の拡充が必要との考えに係る所見
 - 5 医療・福祉政策について
 - ・待機児童の解消について、大都市部と過疎地域間の需給の不均衡がある中では、画一的な保育制度ではなく、地域ごとの需給を反映した実態に即した仕組みへと改革する必要性に係る所見
 - ・人口減少対策の意味合いからも積極的に求められる少子化対策に向けた取組
 - 6 経済と雇用対策について
 - ・各地域の地域経済に大きな関わりを持ってきた大手事業所の撤退に対する受け止め及び地域が持続可能な発展を遂げるための対策に係る所見
 - ・事業の継続に向けた資金繰り支援について、今回延長しようとする北のふるさと事業承継支援ファンドなどの今後の対策に係る所見
 - ・国が設置している北海道事業引継ぎ支援センターの周知徹底及びさらなる事業継続に向けた支援強化のための相談窓口の増設に係る所見
 - ・道の発注業務における道内企業の参入機会の確保及び活用に係る所見
 - ・休業手当が一切支払われない隠れ失業者や、自己都合退職の形に追い込まれた事例など、コロナ禍に名を借りた不適切な事案に対する厳正な対処に係る所見
 - ・高等学校卒業者の就職支援のため、地域若年者雇用奨励事業の再実施及び鳥取県で実施している新卒採用に係る中小企業情報発信緊急支援事業補助金のような事業展開に係る所見

- ・通年的に人手不足の現状にある異業種チャレンジ奨励事業の対応職種に対する人材の定着に向けた取組
 - ・観光産業について、大型施設に頼るMICEやIRなどの誘致は、ポストコロナを見据えた新しい旅行スタイルの推進にそぐわないとの考えに係る所見
 - ・インバウンド頼みではない、持続的で安定的な本道にふさわしい観光施策を推進すべきとの考えに係る所見
- 7 エネルギー政策について
- ・高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題について、寿都町、神恵内村の近隣3町村のいわゆる核抜き条例の制定の動きや、交付金の分配が認められた場合であっても受け取りを拒否するという姿勢を示したことに対する受け止め
 - ・道内での最終処分場設置には明確に反対という断固たる姿勢を発信し続けることの重要性に係る所見
 - ・幌延深地層研究計画の期間延長について、日本原子力研究開発機構に対し、成果の有無にかかわらず9年間で研究を終了し、施設を埋め戻すことに対して書面で明確に確約を取ることに係る所見
 - ・幌延深地層研究の終了と終了後の具体的な工程を第4期中長期計画に明記させるよう、国や日本原子力研究開発機構側に強く求めるべきとの考えに係る所見
 - ・第2期北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の策定に係る所見及び全庁的な推進体制構築に向けた取組
 - ・第2期北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の推進に向けた再生可能エネルギーや分散型エネルギーシステムの技術開発及び普及に向けた取組
- 8 防災・減災対策について
- ・次年度以降の道独自の防災意識の普及や啓発に向けた取組及び各自治体や関係団体への支援に係る所見
- 9 地域交通政策について
- ・JR北海道の持続的な鉄道網の確立に向けた今後の対応及び国やJR北海道における予算の執行については道民や議会に情報を開示すべきとの考えに係る所見
 - ・JR北海道に対する新年度の地域の支援に係る所見
 - ・本道のバス事業が地域に信頼される公共交通機関となるための積極的な支援策に係る所見
 - ・新千歳空港の機能強化を進めるために求められる強いリーダーシップに係る所見
 - ・新千歳空港の滑走路拡張について、混雑解消のために延長よりも3本目の新設が必要との考えに対する認識及び今後の取組
- 10 第1次産業の振興について
- ・農業政策について、国際貿易協定やコロナ禍で大きく変化した国内外の需要動向を含めた影響を道民に適切に説明し、的確に対策を講じるべきとの考えに係る所見
 - ・第6期北海道農業・農村振興推進計画について、生産者が今後も意欲を持って生産に取り組めるよう、具体的な施策などを盛り込んだ推進計画にすべきとの考えに係る所見
 - ・農業基盤整備の農家負担を軽減する、いわゆるパワーアップ事業について、中長期的な継続とその裏付けとなる予算確保の重要性に係る所見
 - ・高病原性鳥インフルエンザ対策に対する認識及び野生動物による感染防止に向けた取組
 - ・森林整備について、植林作業の省力化の推進や必要な事業予算の確保など、森林所有者が意欲を持って森林づくりに取り組めるよう働きかける必要性に係る所見
 - ・道産木材の利用促進について、ポストコロナ社会を見据えた林業、木材産業の競争力強化及び道産木材の普及促進を一層図るべきとの考えに係る所見
 - ・漁業生産額の回復に向けた取組について、国内需要の底上げや海外の消費拡大などの消費・流通政策の強化及び資源増の魚種の付加価値向上や増養殖の推進に係る所見
- 11 アイヌ政策の推進について
- ・先住民族であるアイヌ民族やその苦難の歴史について、より積極的に発信していく必要があるとの考えに係る所見
- 12 東京2020オリンピック・パラリンピックについて
- ・現下の新型コロナ禍における開催への可否及び機運醸成に向けた取組
- 13 北方領土返還の取組について

- ・ロシアの領土の割譲禁止を盛り込んだ改正憲法を受け、2018年まで外交青書に記載されていた「北方四島は日本に帰属するというのが日本の立場」という基本姿勢に戻すべきと強く政府に要求することに係る所見

- ・対ロ外交交渉の情勢悪化に対する受け止め及び今後の政府に対する申し入れに係る所見

14 教育課題について

- ・学校職員の働き方改革について、業務削減に向けた各般の取組の把握及び分析と検証の進捗状況
- ・次年度に向けた実効性の高い働き方改革の進め方を早急に学校現場に示す必要性に係る所見
- ・一部の小中学校で端末やWi-Fi環境が未整備という各市町村の教育格差に対する認識及び今後の対応
- ・学校におけるICT環境の設計に向けたGIGAスクールサポーターの体制強化に対する取組
- ・少人数学級について、今後も国に先行して新年度以降、順次、中学3年生まで段階的に実施すべきとの考えに対する認識
- ・少人数学級の実施に伴う教員の新年度の配置見直し及び加配定数の変更が行われる場合の対応
- ・アイヌ民族の方々の歴史や文化などに関する学習について、道内の小・中・高校生に対する教育活動及びウポポイをアイヌ教育へ活用することによる学習の充実に係る所見
- ・児童生徒の自殺に対する主体的な対応

等について質問があり、午後1時54分休憩。午後1時57分再開し、知事、副知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時9分休憩。午後3時39分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後4時28分休憩。午後4時35分再開し、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時37分散会。

○3月5日(金) 午前10時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第43号を議題とし、代表質問を継続。



白川 祥二議員(結志)から、

1 知事の基本姿勢について

- ・今年の道政執行方針を進めるに当たっての時間軸の意識及び新型コロナウイルスの影響を踏まえて新たな北海道のロードマップを示さなかった理由
- ・知事公約の実現に対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響
- ・集中対策期間の延長などの措置について、記者会見での説明によって得られた道民の理解に係る所見
- ・札幌市内の飲食店に対する時短要請の解除に当たっての札幌市と小樽市の実効再生産数の考慮に係る所見
- ・1都3県の緊急事態宣言が延長した場合における道の集中対策期間終了に係る所見
- ・警戒ステージについて、私権の制限を伴う措置を講じる場合、道民の理解が得られるようあらかじめ各項目を指標化して示す必要があるとの考えに係る所見
- ・札幌市が求めたまん延防止等重点措置の適用を政府に要請しなかった理由
- ・「新北海道スタイル」の取組実態に対する認識及び新年度重点を置く取組
- ・事業者支援について、昨年11月の時短要請の発出に向けての支援対象の拡大検討に係る所見
- ・来年度、時短要請をせざるを得ない場合を想定して計上した予算について、執行に当たり対象業種及び金額などはあらかじめ議会の了承を得る必要があるとの考えに係る所見
- ・PCR検査等の拡充について、新年度のPCR検査センター倍増と医療機関などにおける検査機器の導入の促進により高まる検査能力及び無症候感染者の隔離強化に向けた取組
- ・感染力が強いとされる新型コロナウイルスの変異株に対する対応策
- ・市町村におけるワクチン接種時期に地域間格差を生じさせないための対策
- ・新型コロナウイルス感染症の感染者やその家族、医療従事者などに対する差別や誹謗中傷の実態の把握方法及び防止に向けた取組
- ・重要な意思形成に関する打合せの記録などは、より詳細な内容についてその記録を残すべき

ものと考えているという答弁と、有識者会議や専門会議を開催するいとまがない場合の意見の個別聴取に関して議事録に代わる書類がない取扱との整合性

- ・少子化をはじめとする人口減少問題に対する現状把握及び将来の北海道の展望と打開策
- ・感染症の影響を踏まえた今後の地方創生を副題として改定した国のまち・ひと・しごと創生総合戦略と第2期北海道創生総合戦略の取扱
- ・北海道グローバル戦略の見直しの視点及びコロナ禍における国際関連施策に対する新年度の取組
- ・北海道 Society 5.0構想の実現を可能とする人材の計画的な育成確保に向けた取組
- ・サイバーセキュリティに関する施策の策定と実施に対するこれまでの取組及び今後の対策強化に向けた取組
- ・行財政運営の基本方針について、収支不足額の推計方法及び収支対策の考え方
- ・新たな行財政運営の基本方針から、令和3年度において収支均衡の財政運営を目指すとの記載をなくしたことに係る所見
- ・スマート道庁の取組の効果を見える化し、職員の理解促進につなげるための取組

2 道政の諸課題について

- ・地域と協力して利用促進の取組を行うとした黄線区に対して国から支援を受けることとなったJR北海道に何を求めるのか及び今後の取組
- ・経済政策について、今後の経済動向の見通し及び今回の企業経営者意識調査の結果を踏まえた取組
- ・コロナ禍における中小企業の事業承継に対するきめ細やかな対策の強化に向けた取組
- ・コロナ禍における雇用の場の確保及び働き方改革の推進に係る所見
- ・テレワークの普及に対する数値目標の在り方の検討結果
- ・来年度のテレワークの普及促進に向けた取組及び成果を評価するための指標に係る所見
- ・高レベル放射性廃棄物最終処分場選定に向けた文献調査について、NUMOによる寿都町と神恵内村の対話の場の構成に係る所見及び対話の場への道の参加に対する意向確認と得

られた回答

- ・令和3年度の政策の展開方針でうたっている、あらゆる政策を動員したカーボンニュートラルへの挑戦に向けた具体的な取組
- ・新たな省エネ・新エネ促進行動計画の計画期間である10年間で課題の解決方法及び目指す姿の実現に係る所見
- ・森林吸収源対策の推進について、2030年度の二酸化炭素の森林吸収量の目標達成に向けた取組
- ・第5期北海道観光のくにつくり行動計画の策定が遅れている中での令和3年度の施策における役割分担と施策展開に係る所見及びコロナ禍が終息しない限り観光入り込み客数などの目標値設定は不可能との考えに係る所見
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催の準備状況及びバーチャル開催など、開催方法の違いによる経済効果に係る所見
- ・IRについて、来年度のIR・MICE担当の人員の見直しに係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる候補となる医療機関の事前選定や、感染拡大時に備えた病床確保、防護具の備蓄など、次期北海道医療計画が始まる2024年度に向けた取組
- ・児童虐待に対する専門職員の計画的な増員状況と国の増員目標の1年前倒しを受けた来年度の増員見込み及びコロナ禍における児童虐待の未然防止に向けた効果的な取組
- ・アイヌの人たちが民族としての誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される共生社会の実現に向けた取組
- ・農業政策について、地域で人材の流動化を促す工夫が必要といった道民の声に対する受け止め及び多様な人材の確保に向けた取組
- ・農業の省力化について、メーカーや技術者と協力し、地域で効率的に利用できる仕組みづくりをする必要があるとの考えに係る所見
- ・物流の強靱化対策を含め、広い視野で農業・農村政策を展開すべきとの考えに係る所見
- ・現状の米政策に対する認識や課題及び今後の対応
- ・子実用トウモロコシについて、我が国の食料自給率向上に大きく貢献できる作物であるとの考えに係る所見

- ・深刻化する高病原性鳥インフルエンザの現状と今後の対応
- ・経済連携協定について、生産者の不安に向き合い、規模拡大などの競争力向上に偏重せず、多様な担い手を確保し、生産基盤を立て直す策を講じる必要があるとの考えに係る所見
- ・水産振興について、直面するコロナ禍に対して適時的確に対応していくこと及び中長期的な視点に立った本道漁業のあるべき将来像を示した上で、その実現に向けて取り組んでいくことを両輪として進めるための取組

3 教育行政について

- ・中央教育審議会が文科大臣に提出した「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」と題する答申の教育行政執行方針への活用に係る所見
- ・社会が急速に変化する中で、全ての子どもたちの可能性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するための教師の人材確保及び質の向上に向けた取組

4 公安問題について

- ・サイバー犯罪などの状況及びサイバー空間の安全確保に向けた取組

等について質問があり、午前10時50分休憩。午前10時52分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午前11時53分休憩。午後1時2分再開し、同議員から再質問があり、知事から答弁。同議員から再々質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後1時40分休憩。午後2時1分再開し、



志賀谷 隆議員（公明）から、

1 知事の政治姿勢について

- ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況の見通しに係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症対策について、十分な医療提供体制を確保するための医療機関等に対する支援及び新規患者やクラスター発生時の対応などに当たる保健所の十分な体制確保に向けた取組
- ・病院や高齢者施設、障がい者支援施設など新型コロナウイルス感染症のリスクの高い施設の利用者や職員などのPCR検査の徹底に向けた取組
- ・新型コロナウイルス感染症の後遺症への対応について、札幌医科大学などにおける専門外

来の設置の検討に係る所見

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の今後の見通しに係る所見及び円滑な接種に向けた課題と今後の対応
- ・人事異動期等に向けて新型コロナウイルスの感染を再拡大させないための取組
- ・飲食店の営業時間短縮などにより厳しい経営環境にある中小・小規模事業者の現状に対する認識及び今後の支援に係る所見
- ・JR問題について、道と地域が一体となったJRの利用促進の取組に係る所見
- ・北海道総合計画について、今般のコロナのような新型感染症の総合的な感染予防や治療の研究体制などの取組を位置づける必要性に係る所見
- ・コロナ禍の厳しい実態を把握した上での北海道総合計画の見直しに向けた取組
- ・北海道と本州をつなぐ第2青函トンネルについて、交通や物流、経済効果などの分析や費用対効果などの評価を行うことなどの具体的な取組を進めるべきとの考えに係る所見

2 本道経済の活性化について

- ・本道における近年の企業立地の動向に対する認識及び新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済の変化や直近の新たな立地の特徴を踏まえた企業誘致の取組
- ・単に雇用増のみにとらわれることなく産業振興条例の見直しを行うべきとの考えに係る所見
- ・道内外における新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、道独自の大胆な観光振興策を打ち出すための取組
- ・どうみん割の再開及び各地域の感染状況に応じて圏域内の周遊を促進する旅行割引に係る所見

3 保健医療問題について

- ・本道の地域医療の実態に対する認識及び都市部と地方における医師の地域格差の是正に向けた取組
- ・学校や事業者など、幅広い分野での健康づくりに向けた研修や教育に係る所見

4 縄文世界文化遺産について

- ・世界遺産登録の効果を生かすためには、既存の縄文文化交流センターと連携した活動拠点としての縄文世界遺産センターの設置が必要

との考えに係る所見

- 5 多文化共生社会について
 - ・外国人に選ばれ、働き暮らしやすい北海道の実現に向けた具体的な取組及び海外から研修員の受入れなどの国際協力活動を担うJICA北海道と早急に連携協定を締結し、様々な取組を展開すべきとの考えに係る所見
 - ・本道の経済活性化に向けた在留外国人への支援に係る所見
- 6 道内空港の活性化について
 - ・道内航空ネットワークの充実強化に係る所見
 - ・札幌丘珠空港利活用検討委員会による滑走路延長整備に係る報告書に対する受け止め
 - ・利用者増につなげるために周辺地域の再開発と空港機能の強化に向けた取組を進めるべきとの考えに係る所見
- 7 北海道農業・農村振興推進計画について
 - ・新たな北海道農業・農村振興推進計画において掲げる「めざす姿」の実現に向けた施策の展開に係る所見
- 8 日本海漁業の振興について
 - ・栽培漁業の推進に向けた取組及び令和4年度以降の次期栽培漁業基本計画の策定時に重点的な日本海振興対策を盛り込むべきとの考えに係る所見
- 9 カーボンニュートラルへの取組について
 - ・全道を挙げた取組の展開に係る所見
- 10 災害対策について
 - ・関係機関が有する人的・物的資源を最大限活用するため、関係機関とのさらなる連携強化に努めるべきとの考えに係る所見
 - ・迅速かつ実効性のある災害対策を実施するためには、災害時の防災情報を迅速かつ確に収集することが重要との考えに係る所見
- 11 教育問題について
 - ・少人数学級を導入することによる、教育活動の質の向上との結びつけ
 - ・虐待への適切な対応ができる保育者を育成するための研修の充実に向けた取組
- 12 公安問題について
 - ・年々、悪質・巧妙化する特殊詐欺や近年多発するストーカーや性犯罪などから道民を守るための新年度の重点的な取組

等について質問があり、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。

議案等調査のため、3月8日の本会議を休会することに決定し、午後3時9分散会。

○3月9日(火) 午前10時2分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第47号ないし第62号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

日程第1の議案第47号ないし第62号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第43号を議題とし、**一般質問**に入り、



星 克明議員(自民)から、

- 1 生涯活躍のまちについて
 - ・第2期北海道創生総合戦略における市町村による全世代・全員活躍型の生涯活躍のまちづくりに対する取組への認識

及び今後の推進に係る所見

- ・地域共生社会の実現に向けて江別市で先駆的に進められている取組を道内の各市町村に拡大する取組に係る所見
 - ・共生のまちが目的を達成するための特別支援学校の役割に係る所見
- 2 観光振興について
 - ・どうみん割事業と地元住民を対象を限定した需要喚起策との併用など、事業の効果を高めるための取組
 - 3 航空政策について
 - ・北海道エアポートの2021年度の事業計画に対する受け止め及び空港民間委託の安定的な実施に向けた取組
 - 4 北海道和牛の振興について
 - ・令和9年に本道で開催される全国和牛能力共進会に向けた北海道の和牛づくりに対する取組
 - ・全国和牛能力共進会を契機とした和牛のブランド戦略に係る所見
 - 5 第3期北海道競馬推進プランについて
 - ・プランのスローガンに示す「これからも競馬ファンに愛されるホッカイドウ競馬」の実現に向けた取組
 - 6 災害時の福祉支援体制について
 - ・災害時の避難所における福祉支援体制の取組の必要性に対する見解
 - 7 救急患者受入れ医療機関について
 - ・救急搬送困難事案に対する現状把握及び救急

搬送を円滑に実施するための医療機関の受入れに対する対応

- 8 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・道内における変異株のスクリーニング検査などの対応及び札幌市や衛生研究所間の連携に係る所見
 - 9 幼児教育について
 - ・幼児期の発達に配慮した防災教育の推進に向けた取組
 - ・幼児教育推進センターの各幼児教育施設における幼児や地域の実態等に応じた自園の課題解決を目指した研修への取組及び今後の研修の支援に係る所見
 - 10 道立教育研究所について
 - ・道立教育研究所の施設整備等のスケジュールを含めた方向性及び役割と機能に係る所見
- 等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、保健福祉部長、農政部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時49分休憩。午前10時52分再開し、



木葉 淳議員（民主） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・3月5日の第39回本部会議決定事項について、道民への自粛要請を解除する時期及び飲

食店事業者に対する営業時間等の自粛要請を解除しても、道民に対して自粛を求める場合は飲食店関係の事業者に対して追加支援が必要との考えに係る所見

- ・道内における変異株のスクリーニングの調査割合及び国立感染研究所の検体検査中における変異株の感染疑いのある患者等と通常患者等との対応の違いに係る所見
- ・分散引っ越しへの具体的な支援及び道庁職員が範を示すことが、他の企業等への波及効果を生むとの考えに係る所見
- ・警戒ステージの見直しに係る自粛効果について、11月7日から休業、時短等の要請に応じた店舗の割合の推移と想定した休業・時短事業者数との認識及び要請により得られた効果に対する評価
- ・時短・休業要請等の解除に向けて事前に明確な基準を示し、道民が自ら解除後の準備が可能になることの重要性に係る所見
- ・道内企業等就職者に対する奨学金返済支援制

度の創設に向けた取組や学生への周知及び今後の対策

- ・短期就業のマッチング支援について、求職者への適時適切な周知やこれまでの取組の実績と分析及び課題に対する今後の対応
 - ・これまでの知見を踏まえ、再度時短要請等を行う場合であっても飲食店の形態等に応じて対応を緩和すべきとの考えに係る所見
 - ・飲食店における「北海道スタイル」の見える化に向けた対策
 - ・コロナ通知システムの直近の利用状況や検査受診等の保健所のサポートを早く受けられるというメリットの活用実績及び活用数が少ない場合の原因分析と今後の見直しに係る所見
 - ・退院に際し本人が希望する場合は行政検査を行い、陰性を確認することが退院した方への誹謗中傷を防ぐ一助となるとの考えに係る所見
 - ・フレイル対策の高齢者への周知状況と効果に対する認識及び今後の対応
 - ・就労継続支援事業所への対策や支援及び物販場所の提供や衛生備品を提供するなどの対策に係る所見
 - ・大学生など、現在居住している地域でワクチン接種を可能とするための対策
- 2 特定事業主行動計画について
 - ・女性活躍推進について、昨年4月1日現在の状況及び今後の見通し
 - ・道職員の男性育児休業の取得に向けた取組の進捗状況及び次年度に向けた決意
 - 3 地方創生について
 - ・地域共生のまちづくりについて、江別市が進める事業への認識及び地域共生社会の実現に向けた今後の取組
 - ・特別支援学校の設置について、隣接市へ特別支援学校を設置することに対する認識
 - 4 道民の森の活用について
 - ・利用者の増加を図るための森林体験学習の充実強化について、これまで行った充実強化と今後の取組
 - ・道民の森の施設について、今後の修繕の見直しを含めた維持管理に対する取組
 - ・森林を活用したワーケーションの推進など、道民の森の利用促進に向けた今後の取組
 - 5 ホッカイドウ競馬について

- ・サービス向上を目的とした場外発売所内の環境整備に対する認識及びファン拡大に向けた今後の対応
- ・騎手や厩務員等の担い手不足の課題解決に向けた競走馬の生産を行っている地元高校との連携に係る今後の方向性

6 交通安全について

- ・2020年の高齢者交通事故の傾向及び今後の対策

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長、水産林務部長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時55分休憩。午後1時1分再開し、



植村 真美議員（自民） から、

1 コロナ禍における農業支援について

- ・地域における米の売行きや在庫状況を踏まえた令和3年度の消費拡大に向けた取組の強化に係る所見及び今後の対応

2 道産品の海外販路拡大について

- ・ウイズコロナ時代における道産品の海外販路拡大に向けた今後の取組

3 どさんこプラザ海外店の取組などについて

- ・北海道どさんこプラザ海外店の昨年の移転リニューアルの現状に係る所見
- ・アフターコロナを見据えた今後の海外需要の獲得について、シンガポール及びバンコクに設置しているどさんこプラザを活用した取組

4 事業承継について

- ・地域経済や雇用を守っていくための道内企業の事業承継に向けた課題に対する認識及び円滑な事業承継の促進に向けた今後の取組

5 中小企業の支援について

- ・中小企業の技術力を無駄にすることなく、企業間の連携やマッチングを通して新事業の可能性を見いだすサポートが必要との考えに係る所見

6 新たな技術開発のサポートと推進について

- ・宇宙産業の振興について、道外からも関連する実験、研究を誘致することなど、本道における宇宙産業をさらに成長させていくための今後の取組
- ・石炭資源を活用したエネルギー技術の開発について、石炭関連事業者との情報共有を図り、

新たな方向性を描いていくための取組

7 雪害防止のための情報の在り方について

- ・雪による被害を防止するために現在行っている情報収集や発信の内容及び市町村独自の観測データなど、幅広く収集した情報を関係機関などと共有し、雪害対策に役立てるべきとの考えに係る所見

8 特別支援学校について

- ・時代の変化を見据えた職業教育に対する取組
- ・これまで取り組んできた新型コロナウイルスの感染症対策及び今後の取組

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部長、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時40分休憩。午後1時43分再開し、



淵上 綾子議員（民主） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策に関する諸課題について

- ・ワクチンを接種していないことを理由とする差別の防止に向けた定例記者会見やホームページを通じた呼びかけの実施に係る所見

- ・新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金について、事業者の事情や申請をためらう問題を踏まえ、申請者の支援金受け取りを可能とするための取組

- ・認知度が低い新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の再周知に係る所見

- ・感染防止・事業継続に取り組む事業者に対する持続化給付金について、支給の対象範囲にならない事業者の意見を踏まえた事業設計への反映に係る所見

- ・「新北海道スタイル」の取組のために発生する費用に対する補助金新設に係る所見

- ・新型コロナウイルス対策におけるゲノム解析の有効性に対する認識

2 宅地建物取引士免許更新のための法定講習について

- ・法定講習で省略された基本的人権に関わる項目について、講習で取り上げるための働きかけの実施に係る所見

- ・住宅セーフティネット制度を周知することに係る所見

3 賃貸住宅退去時のトラブルについて

- ・管理会社から高額請求されるトラブルが後を絶たない現状を踏まえ、管理会社等に対して

適切な指導をする体制が必要との考えに係る
所見

- 4 成年後見制度について
 - ・成年後見制度を利用する側の観点から利用が進まない原因を把握し、改善すべきとの考えに係る所見
 - ・成年後見制度を推進する上で、財産管理として信託法を利用する方法も選択肢としてあることの提示に係る所見
 - ・成年後見制度の柔軟な利用に向けた国への制度改善の要望に係る所見
- 5 地域づくり総合交付金について
 - ・道民に分かりやすく、効果的な活用に向けた事務の抜本的な改善に係る所見
 - ・分かりやすい手引書などの作成により、事業者に分かりやすい制度となるよう工夫することが事務の円滑化と効率化にもつながるとの考えに係る所見
- 6 農福連携について
 - ・農業事業者と福祉事業所のマッチングを推進する上で、ノウハウを持って両者の橋渡しをするコーディネーターの存在が重要との考えに係る所見
 - ・広域分散型である北海道の移動の課題に対応するための特別な措置の検討に係る所見
- 7 子どもの性犯罪被害防止について
 - ・家庭内での子どもの性犯罪被害防止に向けた取組
 - ・幼少期における性犯罪被害防止に向けた取組
- 8 医療機関における入退院手続等について
 - ・医療機関における同性カップルもその子どもも家族として認める、いわゆるファミリーシップ制度の意義
- 9 養育費の立替について
 - ・受け取れていない養育費を市が立て替える明石市の事業と同様の事業の検討に係る所見
- 10 「選ばれる北海道」について
 - ・同性カップルの関係を公的に認める、いわゆるパートナーシップ制度が、選ばれる北海道にもつながるとの考えに係る所見
 - ・北海道が人権尊重に十分配慮した魅力ある目的地として認識されることがアドベンチャー・トラベルの推進にもつながっていくとの考えに係る所見
- 11 フードデリバリーサービスなどに関する自転

車利用者の安全確保について

- ・自転車利用者の安全確保に向けた取組
- 12 道立病院における性的マイノリティに関する諸課題について
 - ・道立病院で使用している問診票で性別を回答させないなど、性的マイノリティの方々に配慮した内容に見直す必要があるとの考えに係る所見
 - ・性的マイノリティの方々から病院での困りごとについて意見を伺い、院内での検討、対応することに係る所見
 - 13 人権施策推進基本方針の見直しについて
 - ・社会の状況の変化や新しい課題の発生を想定した定期的な見直しの実施を北海道人権施策推進基本方針に明記することに係る所見
 - ・人権の重要性について、全庁に対する理解促進に向けた取組
 - 14 パートナーシップ制度について
 - ・パートナーシップ制度を検討するための明確な数値基準及びパートナーシップ制度に関するアンケート調査の実施に係る所見
 - ・パートナーシップ制度に反対する方々との対話の場の設定に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長、経済部観光振興監、建設部建築企画監、病院事業管理者、道立病院部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があり、議事進行の都合により午後2時52分休憩。午後3時21分再開し、

加藤 貴弘議員（自民） から、



- 1 道産食品の輸出拡大について
 - ・2020年の道産食品の輸出状況とコロナ禍により受けた影響及び輸出額の増減理由
 - ・コロナ禍における輸出拡大に

向けた今後の取組

- 2 eスポーツを通じた本道経済の活性化について
 - ・広がりを見せるeスポーツに対する今後の取組
- 3 男性職員の育児への参加について
 - ・男性職員の育児休業取得の現状に対する認識
 - ・男性の育児休業取得の促進に向けた取組
- 4 道政の情報発信について
 - ・道政情報の充実に対する認識及びソーシャルメディアを活用した情報発信に対する取組

- 5 マイナンバーカードの普及拡大について
 - ・マイナンバーカードの役割や必要性に対する認識及び普及拡大に向けて目標を設定し、具体的な取組を進めるべきとの考えに係る所見
- 6 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・これまでの病床確保に対する取組及び今後の病床確保に向けた取組
 - ・昨年末の第3波を超える感染拡大になった場合を想定した臨時的な病床確保に向けた取組
 - ・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下における今後の看護師確保に向けた取組
 - ・学校の手洗い場における感染症対策について、自動水栓導入の重要性に係る所見
- 7 魅力ある高校づくりについて
 - ・各学校や地域の実情に応じた魅力ある高校づくりを進めていく必要があるとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時58分休憩。午後4時1分再開し、

赤根 広介議員（結志） から、



1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ポストコロナを見据え、科学的エビデンスに基づき、さらに踏み込んだ対策に取り組むべきとの考えに係る所見
- ・道の支援金制度の制度設計、札幌市との連携を含めた支援金の早期支給に向けた取組及び申請や支給開始の見通しに係る所見
- ・ECMOの整備状況や治療実績、今後の整備及び重症者の対応ができるスタッフの人材確保と育成に向けた取組
- ・コロナとの闘いが長期化する中での外国人患者の受入れ状況及び課題に対する認識と対処
- ・変異株検査の拡充に係る所見
- ・ワクチン接種について、市町村の接種体制整備以外の検討内容及び道の対応を明らかにする時期
- ・居住地以外の市町村でもワクチン接種を受けられる体制を構築する岡山県の取組を踏まえた円滑な接種体制の整備に係る所見
- ・集中対策期間や措置内容の根幹に関わる感染者の減少に対する想定及び今後集中対策期間

- のような対策を講じる際には、道民理解が得られ、モチベーションが保たれるよう出入口の基準をあらかじめ示すべきとの考えに対する見解
 - ・警戒ステージとまん延防止等重点措置について、道民理解を深め、対策の実効性を高めるためには地域ごとのきめ細やかな対応が必要との考えに係る所見
 - ・感染再拡大の対応について、予兆に対する迅速な対応を行う場合、モニタリングの指標として実効再生産数も取り入れるべきとの考えに係る所見
 - ・世代や立場を問わず直面する可能性がある社会的孤立問題に対する認識及び今後の対策
 - ・新型コロナウイルス感染症へのインターネット上の誹謗中傷や差別の防止に対する対策強化に向けた取組
- 2 デジタル化の推進について
 - ・MONOテクの活用及び地域の職業訓練校や民間事業者との連携など、様々な手法を駆使したIT人材の育成に向けた取組
 - 3 北海道アリーナ構想について
 - ・アリーナ等の魅力ある観戦環境づくりの具現化に向け、仮称・北海道アリーナ構想の策定の取組を進めるべきとの考えに係る所見
 - 4 道民の暮らしと交通、物流政策について
 - ・大雪対策について、道民の生命を守り、社会経済活動を維持するための北海道雪害対策連絡部の活用をはじめとした関係機関との連携及び一層の対策強化に向けた取組
 - ・地域公共交通計画の策定に向け、交通資源や地域住民のニーズを把握、分析、理解した上で着実に実行していくための取組
 - ・北極海航路の利活用について、機運醸成など、これまでの取組の成果に対する認識及び北極圏研究機関の集積や本道のポテンシャルを生かした拠点機能の整備に係る所見
 - 5 ジェンダーフリーの推進と女性活躍について
 - ・選択的夫婦別氏制度に対する認識
 - ・男女共同参画センターの機能強化に向けた取組及び国の第5次男女共同参画基本計画を踏まえ、道の男女平等参画基本計画の見直しなど、男女平等やジェンダーフリーの推進に向けた取組
 - ・教育現場における女性の管理職登用の現状と

課題認識

- ・教育現場における女性職員の活躍推進に向けた今後の取組及び国の第5次男女共同参画基本計画を踏まえた道の男女平等参画基本計画の見直しの考え方に係る所見
- ・教育現場における男性の育児休業の取得促進に向けた取組

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部長、総合政策部交通企画監、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時10分散会。

○3月10日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第43号及び第47号ないし第62号を議題とし、**一般質問**を継続。



佐々木 大介議員（自民）から、

- 1 農水産品の需要拡大について
 - ・ウイズコロナの状況における農水産品の需要拡大に向けた取組
- 2 米の需給緩和について
 - ・国内における米の生産調整のための現制度の在り方及び全国各地域で着実な取組を実施するために全国知事会などの場を通じた各方面へ働きかけの必要性に係る所見
- 3 新たな産業の創出や企業誘致について
 - ・北海道企業誘致推進会議におけるこれまでの取組や企業誘致につながった実績及び新たな産業の創出や企業誘致につなげていくための今後の取組
 - ・データセンターとネット通信環境の改善を目的としたインターネットエクステンションの誘致に向けた取組
- 4 移住促進の取組について
 - ・新型コロナウイルス感染症をきっかけとしたワーケーションの動向を踏まえ、首都圏からの人口移動の流れを本道に呼び込むための戦略に係る所見
 - ・テレワークなどによる交流人口や関係人口の拡大等に道職員が率先して取り組むべきとの考えに係る所見
- 5 妊娠、出産、不妊について
 - ・不妊治療に対する道民の理解促進に向けた取組

- ・学生の方々などへの妊娠や出産に関する正しい知識の普及に向けた取組
- 6 道立近代美術館の在り方について
 - ・美術館の在り方及び老朽化に伴う施設の整備に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、経済部長及び教育長から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午前10時42分休憩。午前10時44分再開し、



荒当 聖吾議員（公明）から、

- 1 人口減少対策について
 - ・企業、業界における人材確保の問題解決に向けて、全庁を挙げて人口減少対策に取り組むべきとの考えに係る所見
- 2 北の森づくり専門学院について
 - ・コロナ禍の収束後、機を逸することなく取組を行うための準備が必要との考えに係る所見
- 3 産業教育の振興について
 - ・専門高校の在り方及び地域人材の育成確保に向けた取組
 - ・特別支援学校の職業科に対する先進的な教育環境の整備に係る所見
- 4 食の輸出拡大戦略について
 - ・道産食品輸出額1,500億円を目指す食の輸出拡大戦略の推進に向けた今後の見通し及び取組
- 5 感染症対策に係る医育大学等との連携について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を迅速かつ機能的に対応するため、衛生研究所と札幌医科大学との連携を一層深め、道と一体となって対策を進めていくことの重要性に係る所見
- 6 夕張における離職者対策について
 - ・工場の生産体制縮小や閉鎖に伴う離職者の再就職支援及び市から一人も就労人口を減らさないという決意
- 7 ゼロカーボンの取組について
 - ・人類の英知を結集し、温室効果ガスを完全にコントロール下に置くことでゼロカーボンの達成を目指すべきとの考えに係る所見
- 8 除雪車の自動運転化について
 - ・除雪車の自動運転化技術の開発に対する現在の状況及び除雪の効率化に係る所見
- 9 水道施設の老朽化について
 - ・美唄市における断水について、2月24日以降の復旧体制及び対応

- ・美唄ダム水系が止まった場合に桂沢ダム水系から給水をカバーするとの判断に至らなかった理由
 - ・道内の水道施設の老朽化に対する課題の認識及び水道の安定的な給水確保に向けた取組
- 10 災害時の福祉支援体制について
- ・各専門職団体が持ち得る強みの発揮及び災害支援者の養成に向けた取組
- 11 自殺防止対策について
- ・SNSを活用した相談体制の構築や地域社会における取組及び遺族への支援に係る所見
- 12 道立近代美術館の施設整備について
- ・より多くの方々に親しまれ、道民の貴重な財産として引き継がれていくための施設整備に係る所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時27分休憩。午後1時2分再開し、



道見 泰憲議員（自民） から、

- 1 エネルギー政策による北海道の活力の創出について
 - ・多様な地産地消の展開について、エネルギー産業を北海道の主力産業とするためには次期省エネ・新エネ促進行動計画の策定において発想の展開が求められるとの考えに対する見解
 - ・エネルギー基地・北海道の確立に向けた事業環境整備についても発想の展開が求められるとの考えに対する見解
 - ・省エネ促進・新エネの開発の導入と一体となった環境関連産業の振興についても発想の展開が求められるとの考えに係る所見
 - ・目指す姿の実現によるエネルギーの主力産業化についても発想の展開が求められるとの考えに係る所見
 - ・自然エネルギー源を最大限に活用した北海道ならではの新エネルギー事業の振興及び地域PPS、いわゆる特定規模電気事業者を組み合わせ合わせた取組の推進に係る所見
- 2 道の海外事務所等について
 - ・世界が新型コロナウイルス感染症と闘う今日の海外事務所と駐在所における道職員や駐在所スタッフの配置や活動内容及び予算の執行状況

- ・コロナ禍により海外戦略の立て直しが必要に迫られた今日の海外事務所等の役割に対する見解及び展望
- ・コロナ収束後を見据えた海外事務所の新たな目標設定、充実した人員配置や予算設定及び積極的な施策展開に対する見解

等について質問があり、知事及び経済部長から答弁。議事進行の都合により午後1時34分休憩。午後1時36分再開し、



壬生 勝則議員（民主） から、

- 1 保健所及び衛生研究所に勤務する臨床検査技師に係る処遇の改善について
 - ・国の動向を注視するだけではなく、道独自の措置や防疫救治作業手当を含めた処遇の改善に係る所見
- 2 保健所組織機構の強化について
 - ・保健所の負担軽減に向けた今後の体制強化に係る所見
- 3 福島第一原発事故で発生した汚染処理水の海洋放出について
 - ・福島第一原発事故で発生した汚染処理水の海洋放出問題について、全国知事会などでの議論経過及びこの問題に対する今後の姿勢と取組
- 4 今後のベースロード電源の在り方について
 - ・将来的なベースロード電源の在り方に係る所見
- 5 経済と雇用対策について
 - ・道内各地で進む事業所の閉鎖や規模縮小に伴い、人口減少の進行が懸念される中での地域や行政に対する支援及び課題に対する対応
 - ・首都圏から道内への企業誘致活動の状況に対する受け止め及び今後の誘致活動に係る所見
- 6 林業労働者の確保について
 - ・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況下において、都市部から地方に対する移住の関心が高まることを踏まえた担い手対策に係る所見
- 7 教育課題について
 - ・全道の各道立学校を対象とした、新型コロナウイルス感染症への感染不安を理由に登校しない児童生徒に関する調査を実施してから直近までの出席停止者数の推移及びその原因と今後の対策
 - ・道内初となる公立夜間中学校の開校に係る現

在の進捗状況

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、保健福祉部長、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時18分休憩。午後2時47分再開し、



檜垣 尚子議員（自民） から、

1 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた臨時的な職員の採用について

・新型コロナウイルスが感染拡大している現下の雇用情勢や

学生の現状を踏まえた、来年度の学生アルバイトの臨時的な採用に係る所見

2 テレワークの推進について

・新型コロナウイルス感染症対策に係る出勤抑制やテレワークの推進について、取組目標を設定し、職員自ら実践しながら道民や道内事業者と協力を求めるべきとの考えに対する見解

・テレワークの実施可能な場所の早急な見直し及び1人でも多くの職員がテレワークを利用し、出勤を要しない環境を整備する必要性に係る所見

3 新型コロナウイルスワクチンについて

・ワクチン接種について、市町村の効率的かつ幅広い体制確保に向けた支援に対する認識と対応及び市町村の準備を踏まえ、早期に配分先を決定する必要性に係る所見

・副反応への対応など、接種を希望する方が安心して接種できるよう、医療相談ができる万全な体制を整備し、実施主体である市町村の取組を促すことが必要との考えに係る所見

4 介護保険施設等におけるサービスの利用について

・感染予防を理由に利用者が希望するサービスを制限する施設側の対応に係る所見及び対応

5 重層的支援体制について

・新たな形の取組となる重層的支援体制整備事業に対する認識及び円滑な実施に向けた市町村に対する支援に係る所見

6 循環器病対策について

・健康寿命の延伸を図るための循環器病対策に係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長及び保健福祉部長から答弁。議事進行の都合により午後3時15

分休憩。午後3時17分再開し、



菅原 和忠議員（民主） から、

1 アイヌ政策について

・60年にわたって取り組んできた成果に対する受け止め

・アイヌ文化の継承活動の促進に係る所見

・児童生徒へのアイヌ教育について、学習指導要領改訂後の現在のアイヌ教育及び今後のアイヌ教育の充実に向けた取組

・アイヌへの理解促進に向けた取組及び新たなアイヌ施策推進方策での施策推進の考え方

2 介護保険事業政策について

・介護従事者の離職防止として将来の不安解消に向けた取組

・介護人材の需要増加に対する課題を踏まえた今後の介護人材の確保に係る所見

3 農業政策について

・新規就農者数の拡大に向けた取組

・優れた人材の育成確保に係る所見

・今後減少が予想される家族経営について法人化等も視野に入れた指導の重要性に係る所見

4 J R 北海道の経営再生について

・第2期集中改革期間に対する国の支援金額及びJ R 北海道の減収状況に係る所見

・J R 北海道に対する第2期集中改革期間の取組である観光列車の無償貸与について、観光列車の効率的な運転等に関するJ R 北海道との協議に係る所見及びオール北海道で観光列車の乗車率を向上させる取組

・第2期集中改革期間に実施する取組

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、環境生活部アイヌ政策監、保健福祉部長、農政部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時4分散会。

○3月11日（木） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、議長から、議場において東日本大震災による犠牲者に対し黙禱する旨の発言があり、全員起立の上黙禱。

日程第1 議案第1号ないし第43号及び第47号ないし第62号を議題とし、**一般質問**を継続。



大越 農子議員（自民）から、

1 国土強靱化について

- ・東日本大震災から10年目の節目に当たっての防災や復興に対する思い及び本道の強靱化に向けた考えと決意

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・道独自の支援金制度の検討状況及び早急に受付開始の目途を示すべきとの考えに係る所見

3 在宅高齢者の体力等の低下について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による筋力低下などの課題に対する認識及び今後の対策

4 親子の面会交流等への支援について

- ・夫婦の離婚に際して親子の面会交流への取組めを推進するための取組

5 ほっかいどう応援団会議について

- ・応援団会議のこれまでの取組に対する現状認識及び来年度の応援団会議を活用して本道の地域活性化につなげていくための取組

6 道産農畜産物の輸出について

- ・海外で高く評価されている道産農畜産物の昨年の輸出状況と取組及び今後の輸出拡大に向けた取組

7 森林火災への対応等について

- ・観光、レジャー、健康増進などを目的とした森林空間の利用に向け、森林を火災から守り、活用を図るための取組

8 本道の子どもたちの体力・運動能力の状況について

- ・子どもたちの体力の状況を簡便に把握、分析するための新体力テスト分析ツールの概要
- ・分析ツールによる記録を集計した結果から得られた傾向及び分析内容
- ・感染症対策を講じながら体力向上に成果を上げている取組事例等の周知の進捗状況及び今後の子どもたちの体力向上に向けた取組

9 学校における教育活動について

- ・ウイズコロナ時代における子どもたちの学びの保障や安全な学校行事の実施に向けた取組

10 地域創生の核となる産業人材の育成について

- ・地域に根差した産業人材の育成に向けた取組

11 女性活躍社会の推進について

- ・道内企業において役員や管理職として女性が意思決定に関わることが極めて重要との考えに対する認識

- ・道内企業における女性管理職の登用の現状に対する認識及び今後の調査の進め方
- ・教職員の女性管理職の登用の意義及び女性教員が管理職を希望しない理由を徹底的に深掘りし、対策を立てるべきとの考えに係る所見
- ・道庁内の女性管理職の登用に対する認識及び今後の女性管理職の登用に向けた取組
- ・女性活躍の推進に向けた各部横断的な取組に係る所見及び女性活躍社会の実現に向けた決意

等について質問があり、知事、農政部食の安全推進監、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時48分休憩。午前10時51分再開し、



中川 浩利議員（民主）から、

1 災害ボランティアについて

- ・コロナ禍において、災害により被災した方の支援ニーズに対して災害ボランティア活動を円滑に進めていくための対応

応

- ・複合的な取組により、災害時に備えたボランティアの裾野や共助の輪を一層広げることに対する見解及び今後の取組

2 災害廃棄物処理計画について

- ・道内市町村の災害廃棄物処理計画の策定状況及び現状の評価と今後の対応

3 観光列車について

- ・観光列車として利用可能な車両の購入によるJR北海道への支援について、大成功に導くためのJR北海道や沿線自治体の取組に対する支援

4 新型コロナウイルス感染症について

- ・ワクチン未接種による不利益的取扱いの未然防止に対する見解及び対策
- ・冬期の北海道における園児や児童生徒の感染予防に資する手洗い場等の衛生環境整備に対する見解及び今後の取組
- ・黙食の表現について、誤解を招かない表現をすることに対する見解

5 米の需給と米価への影響について

- ・作付転換による主食用米の縮減の進捗状況及び全国における米からの転作状況
- ・米価の安定に向けた農業者支援に係る所見
- ・農作物の在庫について、積み上がる在庫を減らす努力に対する認識及び今後の取組

- 6 道職員に対する不妊治療休暇の創設について
 - ・道庁の不妊治療休暇の制度化に対する見解
- 7 教職員の負担軽減策について
 - ・標準授業時数に対して余剰時数を過剰に確保することを制限する必要性に係る所見
 - ・子どもたちの前から教員が離脱する場面を可能な限り減少させるための研修の精選に対する取組
 - ・教員の免許更新制度に対する見解及び今後の対応

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長、環境生活部長、農政部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前11時47分休憩。午後1時5分再開し、



村田 光成議員（自民）から、

- 1 防災・減災対策について
 - ・厳冬期の地震を想定し、さらに新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所訓練の検証結果を含めた課題への対策

強化に対する見解

- ・北海道の災害時における燃料備蓄体制と燃料供給体制の現状と考え方
- ・和歌山県での移動式給油機、いわゆるどこでもスタンドの導入と同様の取組が北海道の災害対策上、必要との考えに対する見解
- ・自動起動型信号機に対する現在までの整備状況
- ・自動起動型信号機の今後の整備の考え方
- 2 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区について
 - ・令和4年3月で終了となる第2期計画期間における取組や成果及び今後の考え方や対応
 - ・第2期計画期間の終了を見据え、今後の方向性を決定するための関係機関との議論に対する検討経過
 - ・北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の計画に対する今後の方向性を早期に示す必要性に係る所見
- 3 地域公共交通の活性化について
 - ・地域公共交通活性化再生法の改正を踏まえた今後の対応

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部長、経済部食産業振興監及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後1時40分休憩。午後1時43分再開し、



大河 昭彦議員（結志）から、

- 1 各種公共施設等整備の在り方について

- ・解体撤去をする公共施設の数及び撤去後に再度建設予定のインフラの数や補修しなくて

も心配ない施設の数

- ・インフラ長寿命化計画において、具体的な施策を進めるに当たっての3つの方向性の考え方
- ・インフラ長寿命化に向けた施設管理を担う人材の現状及び人材育成を計画的に進め、公共施設の維持管理に必要な体制づくりを計画的に進めるべきとの考えに対する見解
- ・厳しい財政状況における公共インフラの維持管理を含めた防災対策に対する見解
- ・老朽化により倒壊などの危険性が高い空き家対策について、所有者の状況の把握や除却に対する取組及び対応に苦慮している市町村に対する支援
- 2 道政上の重要課題について
 - ・コロナ禍におけるオリンピックの開催に向けた対策の現状及び今後の対応
 - ・新型コロナウイルス感染症の予防ワクチンの接種会場の選定は実施する各自治体に全て任せるとの考えに対する見解
 - ・公的施設などの望ましい利用の在り方を北海道新型コロナウイルス感染症対策要綱に反映して取り組む必要性に対する見解
 - ・アフターコロナにおける安心した交通機関の利用に対する十分な研究や検討に係る所見
 - ・アフターコロナにおいて交通機関の快適な利用を実現するため、様々な対策を関係者と検討することに係る所見
 - ・災害時の三密を避けた避難施設の確保に対する市町村と連携した対策に係る所見
 - ・積極的に取り組まなければならない地球温暖化対策の最重点課題及びその理由
 - ・地球温暖化の防止について、温室効果ガスを排出しないエネルギーの普及に対する見解
 - ・地方創生に対する見解
 - ・国の地方に対する権限移譲について、国に対して権限移譲の提案を控えている理由と真意
 - ・道州制特区推進法の計画期間が2025年度末まで延長になったことに対する受け止め

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部長、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、環境生活部長、環境生活部東京オリンピック連携推進監及び建設部建築企画監から答弁。議事進行の都合により午後2時29分休憩。午後2時52分再開し、



滝口 直人議員（自民） から、

1 日本海溝・千島海溝巨大地震について

・国のワーキンググループでの議論の内容及び取組

・日本海溝・千島海溝周辺海溝

型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法の改正に向けた地域との連携に係る所見

- ・市町村をまたぐ広域的な避難の在り方について、広域行政を担う道が具体的検討を主体的に行うべきとの考えに係る所見
- ・地震防災対策特別措置法等で努力義務等となっている減災目標の早期策定に向けたこれまでの取組及び今後の取組
- ・津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波災害警戒区域の指定に向けた取組

2 国土強靱化について

- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年過加速化対策」を活用し、道路ののり面、盛土の土砂災害対策や道路の老朽化対策に向けた計画的な取組
- ・緊急輸送道路等に架かる橋梁の耐震化に向けた取組

3 地方分権等について

- ・地方分権に対する認識及び市町村の自立に対する今後の取組
- ・市町村の在り方等について、地域において期待される包括的な役割を果たすための広域連携に向けた取組

4 北海道人権施策推進基本方針について

- ・本道の実情に即した人権教育や人権啓発に関する施策の推進に向けた今後の取組
- ・人権教育・啓発の担い手の育成に向けた市町村との連携及び新たな分野における人権問題を支援する人材や団体の育成に向けた取組

5 水産業の振興について

- ・次期栽培漁業基本計画の策定を検討するに当たっての視点
- ・市場で続く魚価安に対する漁業者の不安を払

拭するための販売戦略や消費拡大に向けた取組及び漁獲の増加が期待できる、イワシやニシンなどの付加価値向上対策に向けた取組

・新型コロナウイルスの感染拡大による現在の漁業協同組合の経営状況に対する認識及び今後の支援

6 スマート林業の推進について

・新たな技術を活用した、北海道らしいスマート林業の推進に向けた取組

7 全国育樹祭の開催について

・多くの道民に森林づくりへの理解を深めてもらうため、コロナ禍であっても全国育樹祭を開催することに係る所見

8 不登校対策について

・複雑化、多様化した不登校の要因を解決するために学校が実施している不登校児童生徒に対するICTを活用した学習支援等に対する認識

・ICTを活用した学習支援等の推進に対する市町村との連携及び今後の取組

・各小中学校へのスクールカウンセラー等の配置状況及びスクールカウンセラーなどの専門家を活用した不登校対策に向けた取組

・新型コロナウイルスへの感染不安を理由に登校しない児童生徒について、学習支援や心のケアが必要との考えに係る所見

・不登校の未然防止等への効果があると検証されている児童生徒支援加配措置に対する取組

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部地域振興監、環境生活部長、水産林務部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時41分休憩。午後3時44分再開し、



田中 英樹議員（公明） から、

1 地域経済の活性化に向けた企業誘致について

・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、サプライチェーンの再編の動きを捉えた製造

業の誘致に向けた取組

・ポストコロナの企業誘致について、首都圏などからの人の呼び込みのみならず、サテライトオフィスなどの誘致による活性化に対する見解

2 IT産業の振興について

・道内IT企業のコロナ禍や時代の変化に伴う

需要獲得の実現に向けた課題に対する認識及びIT産業の振興に向けた取組

- 3 新たな旅行スタイルの推進について
 - ・コロナ禍において、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の効果を最大化するための取組
- 4 ワークেশンの誘致について
 - ・本道へのワークেশンの誘致に向けた更なる取組の拡充に係る所見
- 5 道立広域公園の整備について
 - ・新たな道立広域公園設置の実現に向けた幅広い検討に係る所見
- 6 政策評価について
 - ・条例の施行状況等の点検について、より効果的、効率的な条例の運用に向けた改善内容
 - ・公共事業評価の運用改善に対する背景及び改善の方向性に対する見解
- 7 教育問題について
 - ・もうひとつのクライマックス事業において実施してきた取組及び成果
 - ・不登校児童生徒に対するICTを活用した学習支援の積極的な推進に係る所見
 - ・貧困による教育格差を生じさせないための子どもの貧困対策の進め方に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、総合政策部地域振興監、経済部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後4時19分散会。

○3月12日(金) 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第43号及び第47号ないし第62号を議題とし、**一般質問**を継続。



清水 拓也議員(自民)から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・道庁内での集団感染事案の発生に対する認識及び人事異動など、人の移動による感染拡大

を効果的に防止するための取組と集団感染防止策に係る所見

- ・現在の業務継続計画の見直しの必要性及び今後の対応に係る所見
- ・2月から予定していたどうみん割の再開時期に係る所見
- ・道内の中小企業者等の喫緊の資金繰りの支援

に向けた取組

- ・新型コロナウイルス感染症対応資金に係る損失補償金の今後の見込み及び対応
 - ・道の警戒ステージが3から2に移行した場合の学校の行動基準に係る所見
 - ・4月からの新学期に向けた児童生徒の感染症対策への取組
 - ・高体連や中体連などの今後の大会開催の見通し及び部活動における感染症対策に係る所見
- 2 グリーンボンドについて
 - ・環境改善効果をもたらすことを目的としたプロジェクトに要する資金を調達するために発行される債券、いわゆるグリーンボンドの発行に対する課題の認識及び今後の対応
 - 3 雪害対策について
 - ・除雪中の事故の発生を防止するための取組
 - ・道路の除雪について、国などに対して凍結防止剤の新技术の開発を促進するよう働きかけていくべきとの考えに係る所見及び対応
 - 4 大規模住宅団地の再生について
 - ・大規模な住宅団地の再整備の際には、単純な建て替えではなく、まちの魅力を高めるための整備が重要との考えに係る所見
 - 5 ICT教育の推進について
 - ・GIGAスクール構想の目的や効果などを保護者が十分に理解する必要があるとの考えに係る所見
 - ・ICT機器に触れる時間が増えることによる健康面への影響に対する取組

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時41分休憩。午前10時43分再開し、



梶谷 大志議員(民主)から、

- 1 知事の政治及び道政執行の姿勢について

・北海道の将来像に係る所見及び知事の就任前後における将来像の変化

- ・コロナ禍における社会情勢の変化に対する受け止めや道政運営への反映及び道民との対話と議論が困難な環境であっても、対話と議論という姿勢を示すべきとの考えに係る所見
- ・東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の前会長の女性蔑視と取られる発言を理由に道外では聖火ランナーやボランティアの辞

退が相次いでいる事態に対する受け止め

- ・職場、家庭での男女平等参画やマイノリティーの人権などの課題に対する明確な姿勢を道内外に示し、各種施策の推進を一層図るべきとの考えに係る所見
 - ・選択的夫婦別氏制度に対する受け止めと考え及び旧姓の通称使用の拡大だけで十分か否かに係る所見
 - ・道庁組織の在り方及び職員の採用や育成に向けたこれまでの対応と成果
 - ・知事とともに働きたいと思える道庁の構築に係る所見
 - ・議会軽視に対する認識及びこれまでの対応に係る所見
 - ・議会への報告前の案件等が先行して報道されるケースや個人情報記載された書類、メールの誤送付などの事案が度々発生することに対する受け止め及び今後の改善策
- 2 防災・減災対策について
- ・東日本大震災により本道で避難生活が続いている避難者の暮らしの実態把握や課題の認識及び支援の必要性等に係る所見
 - ・原発事故を二度と起こしてはならないという教訓を踏まえて学んだ内容及び二度と起こさないための対策の認識及び今後の対応
 - ・厳冬期を想定した十分な災害への備えや道内全域での停電を防ぐための対応及び災害で見えてきた課題に対する対策に係る所見
 - ・災害から道民の命、財産を守るための今後の姿勢及び具体的な取組
- 3 新型コロナウイルス対策及び政策展開について
- ・道独自の対策について、これまでの対策を検討、実施するに至った考え方及び第3波を教訓とした今後の対策の検討と実施に係る所見
 - ・新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に対する認識及び実効性の確保や適切な運用が求められる過料の適用に対する対応
 - ・今後の感染症対策について、道民の信頼を得るために果たすべき役割及びこの危機を克服するための取組
 - ・活発な人の動きによる感染再拡大防止に向けた取組について、政策誘導で道民の取組を促すことが必要との考えに係る所見

等について質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により

午前11時25分休憩。午後1時1分再開し、



佐藤 禎洋議員（自民） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・クルーズ船寄港地の新型コロナウイルス感染症対策への取組

2 藻場の整備について

- ・魚類の産卵や稚魚の育成の場である藻場の整備の重要性に係る所見

3 全国豊かな海づくり大会について

- ・令和5年度の本道開催に係る所見

4 胆振東部地震の被災森林の復旧について

- ・住民が強く望む復旧に向けた今後の取組

5 第2期北海道自転車利活用推進計画（案）について

- ・コロナ禍を受けた自転車を取り巻く環境の変化に対する認識及び第2期計画に基づく自転車利活用施策の方向性に係る所見
- ・自転車振興のさらなるステップアップに向けた計画の実現に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監及び水産林務部長から答弁。議事進行の都合により午後1時26分休憩。午後1時29分再開し、



桐木 茂雄議員（自民） から、

1 宿泊事業者の支援について

- ・「Go To トラベルキャンペーン」が再開されるまでの間はどうかみん割などによる切れ目のない支援が必要との考え

に係る所見

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う観光需要喚起について、新しい旅のスタイルの確立に向けた政策が必要との考えに係る所見

- ・新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う金融支援について、特別貸付の返済期間や劣後ローンの利率を含めた利用条件の緩和に係る所見

2 酪農生産基盤強化について

- ・酪農ヘルパー利用組合や業界団体との連携、人材確保等の支援策の活用に係る所見及び酪農ヘルパーの地位向上に向けた取組

3 畜産振興について

- ・酪農経営と肉用牛経営の連携強化に向けた取組及び和牛の繁殖基盤の強化や一貫経営の推

進、屠畜場を含めた処理施設の強化策に係る
所見

4 道の駅の防災拠点化について

- ・全道の道の駅における防災協定の締結状況及び防災面における道の駅の重要性に対する認識及び今後の取組

5 道営住宅の整備について

- ・道営住宅の改善を含めた整備に係る所見

6 市町村に対する技術支援について

- ・営繕業務における市町村の建築技術者の状況及び市町村が適切に公共建築工事に取り組むための支援に係る所見

等について質問があり、知事、農政部長、建設部長及び建設部
建築企画監から答弁。議事進行の都合により午後1時59分休憩。

午後2時2分再開し、



宮川 潤議員（共産） から、

1 知事の政治姿勢について

- ・道政執行方針において本道の進むべき大道として農林水産業を政策の中心により太く位置づけるべきとの考えに係る

所見

- ・農林水産業について、家族農業や小規模農業を守り、発展させる方向性をSDGsの観点から力強く打ち出すべきとの考えに係る所見
- ・JRの路線は維持する、廃線にはしないということを明確に打ち出す必要性に係る所見
- ・各地域での生活基盤の整備について、どの地域でも医療、介護、教育が受けられるよう道政執行方針に位置づけるべきとの考えに係る所見
- ・スマート道庁の業務改革について、住民サービスの質の確保のために、これ以上の業務の外部委託化は進めるべきではないとの考えに係る所見
- ・2012年度と現在における2021年度の収支見通しの乖離について、収支が悪化した原因と見通しが甘かった理由及び今後十分な分析と検証を行い、正確で信頼できる収支見通しを改めて道民に示すべきとの考えに係る所見
- ・新型コロナウイルス感染症の現下の情勢における五輪の基本理念であるアスリートファーストの保障に係る所見
- ・選手、当事者からの東京五輪開催中止や不安を訴える声に対する受け止め及び今後の具体

的な行動

- ・東京五輪組織委員会が示した聖火リレーにおける感染症対策ガイドラインについて、実効性の検証を道独自で行い、組織委員会に進言すべきとの考えに係る所見
 - ・東京五輪開催に伴う医療体制に対する認識及び十分な医療スタッフが確保できない現状でも安全な大会開催が可能とする根拠
 - ・元五輪相の女性蔑視発言に係る所見及びジェンダー平等社会の実現に向けた取組
- 2 新型コロナウイルス感染症対策等について
- ・予定していた事業でも不要不急の事業を中止、先送りすることで独自のコロナ対策を充実すべきとの考えに係る所見
 - ・事業の振替や追加の対策による感染症対策の強化に向けた取組に係る所見
 - ・コロナ禍により公共や行政といった公助の重要性がますます明らかになったことに対する認識及び今後の公助の強化に係る所見
 - ・昨年独自に行った全道一律の休校要請に対する本道の子どもへの影響に係る所見及び今後の対処
 - ・まん延防止等重点措置において、知事の私権制限につながる命令を出す際の判断根拠、慎重さが求められる判断と運用に対する見解及び保健所がその対応を行うことは適切ではないとの考えに係る所見
 - ・ワクチンの感染予防効果に対する認識及びワクチン頼みになって感染対策の基本的取組をおろそかにさせないための対処方針
 - ・医療機関の減収補填に係る所見及び国に対して減収補填を求めるべきとの考えに係る所見
 - ・重症者の病床確保や介護を必要とする感染者の入院体制確保に対する認識及び今後の取組
 - ・無症状感染者の把握や市中感染の実態をつかむために戦略的なPCR検査の拡大方針を示すべきとの考えに対する見解
 - ・社会的検査を行う必要性に対する認識及び検査拡大の考えと取組
 - ・2010年以降の道立保健所の組織と人員の強化状況及び今後の対応
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった各分野の事業者全体を支援対象とすることに係る所見及び支援を断続的に行うことに係る所見

3 道民生活について

- ・脳卒中や心筋梗塞の急性期医療及び地域における救急医療体制の確保に向けた取組
- ・国の病床削減支援給付金について、交付金を支給して病床削減を進めようとする事業に対する認識及びこの事業に応じるべきではないとの考えに係る所見
- ・マイナンバーカードを持たない人に対して行政サービスを後退させてはならないことに係る所見及びオンライン申請の推進とこれまでの窓口業務や従来の書面申請等の利便性の維持に係る所見
- ・あらゆる分野で進めているマイナンバーカードの公的個人認証に伴い、セキュリティ上の攻撃対象となり得ることに係る所見及びマイナンバー制度により情報漏洩の危険性が高まることに対する認識

4 環境政策について

- ・温室効果ガスの排出量実質ゼロに向けた削減への取組について、電力会社も含め、聖域を設けず果敢に進めなければならないことに対する決意及び2030年及び2050年の目標への取組を北海道総合計画に位置づけるべきとの考えに係る所見

5 地方交通について

- ・J R北海道は新たな法改正による国からの支援を新幹線ではなく、道民生活と道内産業を支える地方路線を守ることに生かすべきとの考えに係る所見
- ・今後の交通の在り方及び北海道交通政策総合指針の見直しに係る所見

6 教育問題等について

- ・少人数学級への取組を高校にも広げることに対する効果と必要性及び少人数学級に伴う教員確保に係る所見
- ・特別支援学校の設置基準に係る所見
- ・特別支援学校における教室不足及び狭隘化に対する現状と認識
- ・児童の障がいによって落ち着くことのできる静かな場所の確保に対する整備の在り方
- ・図書館の自由に関する宣言に対する評価及び本道の図書館行政に生かすための取組
- ・図書館への令状のない捜査関係事項照会は、宣言に照らし、回答すべきではないとの考えに対する見解

- ・図書館への利用履歴等の照会は、刑事訴訟法第218条に基づき、裁判所からの令状を得て行うべきとの考えに対する見解

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長、総合政策部交通企画監、環境生活部長、環境生活部東京オリンピック連携推進監、保健福祉部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本議会に46人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（46人）

| | |
|-----------|-----------|
| 寺島 信寿（公明） | 笠井 龍司（自民） |
| 笠木 薫（民主） | 中野 秀敏（自民） |
| 小泉 真志（民主） | 花崎 勝（自民） |
| 鈴木 一磨（民主） | 吉川 隆雅（自民） |
| 武田 浩光（民主） | 田中 芳憲（自民） |
| 植村 真美（自民） | 沖田 清志（民主） |
| 星 克明（自民） | 松山 丈史（民主） |
| 宮下 准一（自民） | 赤根 広介（結志） |
| 渡邊 靖司（自民） | 佐藤 伸弥（結志） |
| 浅野 貴博（自民） | 中山 智康（結志） |
| 安住 太伸（自民） | 安藤 邦夫（公明） |
| 内田 尊之（自民） | 真下 紀子（共産） |
| 大越 農子（自民） | 森 成之（公明） |
| 松本 将門（民主） | 平出 陽子（民主） |
| 山根 理広（民主） | 松浦 宗信（自民） |
| 阿知良寛美（公明） | 千葉 英守（自民） |
| 新沼 透（結志） | 中司 哲雄（自民） |
| 池端 英昭（民主） | 藤沢 澄雄（自民） |
| 小岩 均（民主） | 吉田 正人（自民） |
| 畠山みのり（民主） | 遠藤 連（自民） |
| 藤川 雅司（民主） | 大谷 亨（自民） |
| 太田 憲之（自民） | 高橋 文明（自民） |
| 丸岩 浩二（自民） | 和田 敬友（自民） |

議案第26号及び第28号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第42号を人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会に、それぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託し、

午後 3 時33分散会。

○ 3 月15日（月） 午後 4 時 1 分開議、諸般の報告の後、

日程第 1 議案第47号ないし第62号を議題とし、予算特別委員長、保健福祉委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第51号及び第52号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第51号及び第52号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第47号ないし第50号及び第53号ないし第62号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

各委員会付託議案等審査のため、3月16日から3月19日まで及び3月22日から3月23日までの本会議を休会することに決定し、午後4時13分散会。

○ 3 月24日（水） 午後 4 時 1 分開議、諸般の報告の後、

日程第 1 議案第 1 号ないし第43号を議題とし、予算特別委員長、保健福祉委員長、総務委員長、環境生活委員長、少子・高齢社会対策特別委員長、水産林務委員長、建設副委員長、経済委員長、農政副委員長、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

笹田浩議員（民主）から、議案第 1 号については撤回し、組替えの上、再提出を求める動議に関する説明。

討論に入り、宮川潤議員（共産）から、議案第 1 号、第 3 号、第 6 号、第 7 号、第11号、第12号、第14号、第17号、第21号、第28号及び第42号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、稲村久男議員（民主）ほか 4 人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数により否決。

次に、議案第 1 号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第 3 号、第 6 号、第 7 号、第11号、第12号、第14号、第17号、第21号、第28号及び第42号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第 2 号、第 4 号、第 5 号、第 8 号ないし第10号、第13号、第15号、第16号、第18号ないし第20号、第22号ないし第27号、第29号ないし第41号及び第43号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについていずれも異議なく原案可決。

日程第 2 議案第63号ないし第65号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第63号及び第64号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により同意議決。

次に議案第65号を問題とし、異議なく同意議決。

日程第 3 会議案第 1 号を議題とし、説明を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第 4 決議案第 1 号を議題とし、説明を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第 5 意見案第 1 号及び第 2 号を議題とし、説明及び意見案第 1 号の委員会付託を省略し、採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後 5 時 8 分閉会。

提出案件

第1回定例会において知事から提出のあった案件

議案

| 提出年月日 | 番号 | 件名 | 付託委員会 | 議決年月日 | 議事結果 |
|----------|----|-------------------------------------------------------|-----------|----------|------|
| 3. 2. 25 | 1 | 令和3年度北海道一般会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 2 | 令和3年度北海道公債管理特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 3 | 令和3年度北海道国民健康保険事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 4 | 令和3年度北海道母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 5 | 令和3年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 6 | 令和3年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 7 | 令和3年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 8 | 令和3年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 9 | 令和3年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 10 | 令和3年度北海道林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 11 | 令和3年度北海道営住宅事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 12 | 令和3年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 13 | 令和3年度北海道地方競馬特別会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 14 | 令和3年度北海道公共下水道事業会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 15 | 令和3年度北海道流域下水道事業会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 16 | 令和3年度北海道電気事業会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 17 | 令和3年度北海道工業用水道事業会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 18 | 令和3年度北海道病院事業会計予算 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 19 | 北海道看護職員養成確保修学資金貸付条例案 | 保健福祉 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 20 | 北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 | 総務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 21 | 北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案 | 予算 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 22 | 北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 | 総務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 23 | 北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案 | 環境生活 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 24 | 特定非営利活動促進法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 | 環境生活 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 25 | 北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例案 | 保健福祉 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 26 | 北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案 | 少子・高齢社会対策 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 27 | 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 | 保健福祉 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 28 | 北海道指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案 | 少子・高齢社会対策 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 29 | 北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案 | 保健福祉 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 30 | 北海道森林整備地域活動支援基金条例の一部を改正する条例案 | 水産林務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 31 | 北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 | 建設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 32 | 北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案 | 建設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 33 | 北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例案 | 建設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 34 | 北海道公営企業条例の一部を改正する条例案 | 経済 | 3. 3. 24 | 原案可決 |

| 提 年 月 日 | 番 号 | 件 名 | 付 委 員 会 | 議 年 月 日 | 議 決 結 果 |
|------------------|--------|-----------------------------------------------------|----------------------|------------------|------------------|
| 3. 2. 25 | 35 | 北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 | 総 務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 36 | 国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 | 農 政 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 37 | 訴えの提起に関する件 | 建 設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 38 | 包括外部監査契約の締結に関する件 | 総 務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 39 | 北海道道の路線の認定に関する件 | 建 設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 40 | 河川法に基づく一級河川の指定についての意見に関する件 | 建 設 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 41 | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款の変更に関する件 | 総 務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 42 | 北海道道州制特別区域計画の変更に関する件 | 人口減少問題・ 地方分権改革等調査 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 43 | 工事請負契約の締結に関する件 | 総 務 | 3. 3. 24 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 44 | 令和2年度北海道一般会計補正予算（第11号） | 付託省略 | 3. 2. 25 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 45 | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等における新型コロナウイルス感染症対策基金条例案 | 付託省略 | 3. 2. 25 | 原案可決 |
| 3. 2. 25 | 46 | 北海道安心子ども基金条例の一部を改正する条例案 | 付託省略 | 3. 2. 25 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 47 | 令和2年度北海道一般会計補正予算（第12号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 48 | 令和2年度北海道公債管理特別会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 49 | 令和2年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 50 | 令和2年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 51 | 令和2年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算（第2号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 52 | 令和2年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 53 | 令和2年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 54 | 令和2年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第2号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 55 | 令和2年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 56 | 令和2年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第2号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 57 | 令和2年度北海道公共下水道事業会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 58 | 令和2年度北海道流域下水道事業会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 59 | 令和2年度北海道電気事業会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 60 | 令和2年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 61 | 令和2年度北海道病院事業会計補正予算（第1号） | 予 算 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 9 | 62 | 北海道新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金条例案 | 保健福祉 | 3. 3. 15 | 原案可決 |
| 3. 3. 24 | 63 | 北海道教育委員会教育長の選任につき同意を求める件 | 付託省略 | 3. 3. 24 | 同意議決 |
| 3. 3. 24 | 64 | 北海道副知事の選任につき同意を求める件 | 付託省略 | 3. 3. 24 | 同意議決 |
| 3. 3. 24 | 65 | 北海道海区漁業調整委員会委員の選任につき同意を求める件 | 付託省略 | 3. 3. 24 | 同意議決 |

報 告

| 提 出 年 月 日 | 番 号 | 件 名 | 付 託 委 員 会 | 議 決 年 月 日 | 議 事 結 果 |
|--------------|-----|----------|--------------|--------------|------------|
| 3. 2. 25 | 1 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 2 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 3 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 4 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 5 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 6 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 7 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |
| 3. 2. 25 | 8 | 専決処分報告の件 | 報告のみ | — | — |

第1回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

会 議 案

| 提 年 月 日 | 出 日 | 番 号 | 件 名 | 提 出 者 | 議 年 月 日 | 決 日 | 議 結 | 事 果 | |
|------------------|--------|--------|--------|---------------------|------------------|--------|--------|--------|------|
| 3. | 3. | 24 | 1 | 北海道議会議規則の一部を改正する規則案 | 議会運営委員長 吉田 祐樹 | 3. | 3. | 24 | 原案可決 |

決 議 案

| 提 年 月 日 | 出 日 | 番 号 | 件 名 | 提 出 者 | 議 年 月 日 | 決 日 | 議 結 | 事 果 | |
|------------------|--------|--------|--------|----------------|------------------|--------|--------|--------|------|
| 3. | 3. | 24 | 1 | 気候非常事態宣言に関する決議 | 環境生活委員長 荒当 聖吾 | 3. | 3. | 24 | 原案可決 |

意 見 案

| 提 年 月 日 | 出 日 | 番 号 | 件 名 | 提 出 者 | 議 年 月 日 | 決 日 | 議 結 | 事 果 | |
|------------------|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------|------------------|--------|--------|--------|------|
| 3. | 3. | 23 | 1 | 国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の対象範囲拡大の検討を求める意見書 | 笠井 龍司議員外4人 | 3. | 3. | 24 | 原案可決 |
| 3. | 3. | 24 | 2 | 悪質商法による消費者被害をなくすための預託法の改正並びに特定商取引法及び同法指針の改正等を求める意見書 | 環境生活委員長 荒当 聖吾 | 3. | 3. | 24 | 原案可決 |

動 議

| 提 年 月 日 | 出 日 | 件 名 | 提 出 者 | 議 年 月 日 | 決 日 | 議 結 | 事 果 | |
|------------------|--------|--------|--------------------------------------------|------------------------|--------|--------|--------|-----|
| 3. | 3. | 23 | 議案第1号令和3年度北海道一般会計予算については撤回し、組替えの上再提出を求める動議 | 稲村 久男議員外4人 (賛成者 5人) | 3. | 3. | 24 | 否 決 |

会 議 案

会議案第1号

北海道議会会議規則の一部を改正する規則案

3年1定
議会運営委員長 吉田 祐樹提出
令和3年3月24日 原案可決

北海道議会会議規則の一部を改正する規則

北海道議会会議規則（昭和31年北海道議会告示第1号）の一部を次のように改正する。

第2条中「出産」の次に「、育児、介護」を加え、「事故」を「やむを得ない事由」に改め、同条に次の1項を加える。

2 前項の規定にかかわらず、議員が出産のため出席できないときは、当該出産の予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の予定日（議員が出産したときは、当該出産の日）後8週間を経過する日までの範囲内で、出席できない期間を明らかにして、あらかじめ議長に届け出ることができる。

第47条中「必要がある」の次に「と認める」を加え、同条に次の1項を加える。

2 委員会は、その審査又は調査中の案件について、特に必要があると認めるときは、議会の承認を得て、中間報告をすることができる。

第63条の見出し中「取消」を「取消し又は訂正」に改め、同条中「取り消す」を「取り消し、又は議長の許可を得て発言の訂正をする」に改め、同条に次のただし書を加える。

ただし、発言の訂正は、字句に限るものとし、発言の趣旨を変更することはできない。

第70条ただし書を削る。

第94条の次に次の1条を加える。

（請願の紹介の取消し）

第94条の2 議員が請願の紹介を取り消そうとするときは、会議の議題となった後においては議会の許可を得なければならない。ただし、会議の議題となる前においては、議長の許可を得なければならない。

2 前項の許可を求めようとするときは、文書により請求しなければならない。

第112条中「すべて」を「法又はこの規則に定めるもののほか、」に改める。

第122条中「印刷して、」を削る。

第123条中「取消を」を「取消しを」に、「発言の取消」を「発言の取消し又は訂正」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

説 明

欠席の届出等について所要の改正を行うため、この規則を制定しようとするものである。

決 議 案

決議案第1号

気候非常事態宣言に関する決議

〔 3年1定
環境生活委員長 荒当 聖吾提出
令和3年3月24日 原案可決 〕

近年、世界中で記録的な集中豪雨や猛暑日などが頻発しており、本道においても土砂崩れや河川の氾濫、熱中症など健康面での悪影響、年降雪量などの変化による社会・経済活動への被害が深刻化し、エゾシカなど野生動植物の生息・生育域等にも影響を及ぼしている。

世界各国は、パリ協定の下で温室効果ガスの排出削減目標を掲げ、気候変動対策に関する取組を進めており、我が国においても、政府が2050年までのカーボンニュートラルを宣言し、国会においては気候非常事態を宣言しており、国民の総意により、その取組を進めようとしている。

北海道議会は、平成20年に開催された北海道洞爺湖サミットを契機として、地球温暖化防止に積極的に貢献する必要があるとの考えから、議員提案により全会一致で平成21年3月31日に「北海道地球温暖化防止対策条例」を制定した。

北海道の豊かな自然環境は、世界自然遺産の知床をはじめ将来の世代に引き継いでいかなければならない貴重な財産である。

さらに、この豊富な再生可能エネルギーを最大限活用した持続可能な地域社会の構築に向けた地域循環共生圏の実現など、積極的かつ具体的な実効ある取組が求められている。

よって、北海道議会は、もはや地球温暖化問題は気候変動の域を超えて気候危機の状況に立ち至っているとの認識を共有し、エネルギー政策はもとより、産業、交通、住宅政策のあらゆる分野で取り組む課題と位置づけ、ここに気候非常事態を宣言するとともに、脱炭素の目標達成に向けて道民一丸となって強い決意を持って取り組むことを表明するものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北 海 道 議 会

意見案

意見案第1号

国民健康保険の子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の対象範囲拡大の検討を求める意見書

〔 3年1定
笠井 龍司議員外4人提出
令和3年3月24日 原案可決 〕

国民健康保険は、市町村などを単位とする公的医療保険制度の一つとして、会社員等が加入する被用者保険とともに、国民皆保険制度を支える要の役割を60年近く果たしてきた。

しかしながら、会社員等が加入する被用者保険においては、被保険者の報酬額により保険料が算定されるため、扶養する子どもの人数が増えても保険料は変わらないのに対して、国民健康保険は、世帯内の全ての加入者数に均等割保険料（税）が賦課されるため、子どもの人数に応じた保険料（税）の負担が増加することになる。

このため、医療保険制度間の公平を図るとともに、子育て世帯の経済的な負担の軽減に取り組むことが必要である。

昨年、厚労省社会保障審議会の医療保険部会で子どもに係る均等割の軽減措置が必要との報告が行われ、現在、国において、令和4年度から保険料均等割額の軽減措置の導入に向けた法改正等の手続が進められているところであるが、対象となる子どもの範囲は未就学児に限定されている。

よって、国においては、子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもに係る均等割保険料（税）軽減措置の対象範囲拡大について検討するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣

} 各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

意見案第2号

悪質商法による消費者被害をなくすための預託法の改正並びに特定商取引法及び同法指針の改正等を求める意見書

3年1定
環境生活委員長 荒当 聖吾提出
令和3年3月24日 原案可決

消費者庁の特定商取引法及び預託法の制度の在り方に関する検討委員会（以下、「検討委員会」という。）は、令和2年8月19日に報告書を取りまとめ公表した。

特に大きな社会問題となった豊田商事、安愚楽牧場、ジャパンライフ、ケフィア事業振興会、WILLなどによる、高齢者をはじめ多くの消費者に財産被害を及ぼすおそれが高い販売等を伴う預託等取引契約については、本質的に反社会的な性質を有し、行為自体が無価値と捉えるのが相当であることから、預託法において原則禁止すべきであるとされた。

一方で、消費生活相談では、通信販売におけるいわゆる「詐欺的な定期購入商法」の相談が急増しており、解決を図ることは容易ではなく深刻な事態となっているほか、新型コロナウイルス感染症を巡る社会不安に付け込む、マスクの送り付け商法も社会問題化している。特定商取引法が対象としている訪問販売・電話勧誘販売は、通常の商取引と異なり、自ら求めない突然の勧誘を受ける消費者が、受動的な立場に置かれ、契約締結の意思形成においても、販売業者の言葉に左右される面が強いことから、消費者側が自ら主体的に電磁的交付に係る明示的な意思表示を行い得るものか疑義があり、書面の電子交付は拙速に行うべきではない。

また、検討委員会の報告書では、消費者の脆弱性に付け込む悪質商法の手口の巧妙化・複雑化には断固とした対応が必要であり、法執行の強化や実効性のある制度改革を行うべき旨の答申がされている。

よって、国においては、悪質商法による消費者被害をなくすため、次の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 検討委員会報告書の内容に沿い、販売を伴う預託等取引契約を原則禁止とした預託法改正の検討を早急に進め、今通常国会において改正すること。
- 2 詐欺的な定期購入商法をなくすため、特定商取引法に係る指針の改正及び法執行強化を図るとともに、今通常国会において特定商取引法を改正すること。
- 3 送り付け商法について、現在の法規制内容の周知を図るとともに、諸外国の法制も参考に制度的措置を講ずること。
- 4 国及び地方自治体が厳正かつ適切な法執行を行えるよう、体制確保に向けた措置や連携強化を図ること。
- 5 書面の電子交付は、拙速に盛り込まないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣府特命担当大臣
(消費者及び食品安全)

各通

北海道議会議長 村田 憲 俊

請 願

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

| 文書表 番 号 | 件 名 | 付 託 委 員 会 | 審 査 の 結 果 |
|------------|-----------------------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 15 | 北海道重度心身障がい者医療給付事業への精神障がい者の適用と新型コロナウイルス感染症から障がい者の命と暮らしを守る対策を求める件 | 保健福祉 | 継続審査 |
| 16 | 北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件 | 文 教 | 継続審査 |

委員会の動き

議会運営委員会

○2月18日(木) 開議 午後1時2分
散会 午後1時5分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 元議員の逝去について
 - ・加藤唯勝氏(名寄市選出、第24期～第28期、2月8日逝去)について報告。
- ② 令和3年第1回定例会について
 - ・総務部長から招集日を2月25日(木)とする旨発言があり、これを了承。
 - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
 - ・会期について28日間とすることに決定。
 - ・日程について、次のとおり取り進めることに決定。
〔第1回定例会〕

| | |
|-------------|---------------------|
| 2月25日 | 本会議(提案説明) |
| 2月26日 | 休会 |
| 3月1日～3月3日 | 休会 |
| 3月4日～3月5日 | 本会議(代表質問) |
| 3月8日 | 休会 |
| 3月9日～3月11日 | 本会議(一般質問) |
| 3月12日 | 本会議(一般質問、予算特別委員会設置) |
| 3月15日 | 本会議(補正予算議決) |
| 3月16日～3月19日 | 休会 |
| 3月22日～3月23日 | 休会 |
| 3月24日 | 本会議 |
- ③ 議場コンサートについて
 - ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の2月25日(木)に実施することに決定。
- ④ 議員講演会について
 - ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の2月25日(木)に実施することに決定。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・今定例会についてもマスクの着用や手洗い、手指消毒の実施、感染リスクを回避する行動のさらなる徹底や発熱や咳があるなど体調が悪い場合には、外出を控えるなど、引き続き、

感染拡大防止に向けた協力を願う。

- ・本会議については、これまでと同様に、1時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うことから、議場内に残ったままでの休憩を加えることとする。

○2月24日(水) 開議 午前9時21分
散会 午前9時26分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 元議員の逝去について
 - ・先延順章氏(札幌市北区選出、第25期～第28期、2月19日逝去)について報告。
- ② 第1回定例会の提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から説明。
 - ・先議要請があった議案第44号の補正予算並びにこれに関連する議案第45号及び第46号の条例案について、明日の本会議において、先議することに決定。
 - ・本件に関する質疑について、5名の通告があったことを報告。
 - ・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることに決定。
 - ・先議の方法については、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、本会議を一たん休憩し、再開後、質疑を行い、委員会付託を省略し、議決する扱いにすることに決定。
- ③ 代表質問及び一般質問の通告について
 - ・代表質問は、3月2日(火)、一般質問は、3月5日(金)のそれぞれ正午までに提出とする。
- ④ 予算特別委員会について
 - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、協議事項に記載のとおりとする。
 - ・委員名簿の提出は、3月10日(水)の正午までとする。
- ⑤ 議員派遣について
 - ・配付のとおり、議長において、派遣決定の変更を行い、明日の本会議において、議長から報告することとする。
- ⑥ 休会について
 - ・議案等調査のため、2月26日及び3月1日から3日までは本会議を休会し、3月4日(木)

に再開することに決定。

- ⑦ 2月25日の本会議議事順序について
- ・明日の委員会において協議する。

○2月25日(木) 開議 午前9時16分
散会 午前9時18分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ② 本会議の欠席について
- ・総務部長から松浦総務部職員監が体調不良のため本日の本会議欠席の発言があり、これを了承。
- ③ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。

○3月4日(木) 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 代表質問について
- ・4名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
 - ・代表質問の進め方について、本日は1番東国幹議員、2番沖田清志議員の2名、明5日(金)は、3番白川祥二議員、4番志賀谷隆議員の2名を行うことに決定。
- ② 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議の欠席について
- ・総務部長から松浦総務部職員監が体調不良のため本日から3月15日(月)までの本会議を欠席し、職員監が行う予定の答弁は総務部長が行う旨の発言があり、これを了承。

○3月5日(金) 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 代表質問について
- ・本日は3番から4番までの2名を行う。

- ② 休会について
- ・議案等調査のため、3月8日(月)は本会議を休会することとし、一般質問を3月9日(火)から行うことに決定。

- ③ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 携帯品の許可について
- ・自民党・道民会議の千葉英也議員から、今定例会中、議場において、「松葉づえ」を使用したい旨の申出があり、議長は会議規則第107条ただし書きの規定により、許可したことを報告。
- ⑤ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。

○3月9日(火) 開議 午前9時15分
散会 午前9時19分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 追加提出議案の事前説明について
- ・総務部長から令和2年度最終補正予算関係の追加提出議案について説明。
 - ・追加提出議案については、本日の本会議において、提案説明を行った後、一括議題として、一般質問に入ることに決定。
 - ・先議要請があった最終補正予算及びこれに関連する議案は、従前の例により、他の案件に先がけて取り扱うこととする。
- ② 一般質問について
- ・23名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
 - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は1番から6番までの6名、3月10日(水)は7番から12番までの6名、3月11日(木)は13番から18番までの6名、3月12日(金)は19番から23番までの5名の予定で取り進めることに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
- ・午前10時開会とする。

○3月10日(水) 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分

議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 本日の本会議について
 - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
 - ・本日の一般質問は、7番から12番までの6名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○3月11日（木） 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 本会議における黙とうについて
 - ・本日は東日本大震災から10年となり、犠牲となられた方々に対し、弔意を表するため、本日の本会議冒頭において黙とうを行うことに決定。
- ② 本日の本会議について
 - ・本日の一般質問は、13番から18番までの6名を行う。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○3月12日（金） 開議 午前9時15分
散会 午前9時18分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 本日の本会議について
 - ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
 - ・本日の一般質問は、19番から23番までの5名を行う。
- ② 予算特別委員会について
 - ・本日、一般質問終了後、設置する。
 - ・分科会の委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。
 - ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

- ③ 議案の各委員会付託について
 - ・配付資料のとおり付託することに決定。
 - ・付託議案のうち、先議要請があった議案第47号ないし第62号の令和2年度補正予算等については、関係委員会の審査終了後、3月15日（月）の本会議において議決することに決定。
- ④ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑤ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。
- ⑥ 3月15日の本会議開議時刻について
 - ・午後4時開会予定とする。

○3月15日（月） 開議 午後3時30分
散会 午後3時32分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 先議案件の審議状況について
 - ・予算特別委員会及び保健福祉委員会において、予算15件、保健福祉1件の審査を終了したことを報告。
 - ・先議案件については、本日の本会議において、議決する。
- ② 休会について
 - ・各委員会付託議案等審査のため、3月16日から19日まで及び22日から23日までは本会議を休会することとし、3月24日（水）に再開することに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午後4時開会とする。
- ⑤ 3月24日の本会議開議時刻について
 - ・午後1時開会とする。

○3月23日（火） 開議 午前9時47分
散会 午前9時48分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹（自民）

- ① 予算特別委員会の総括質疑について
 - ・現在、議了していない状況にあり、予算特別委員長から議了までには、さらに時間を要するため、本日も時間をいただきたい旨、申入

れがあったことを報告。

- ・予算特別委員長の申入れについては了承することとし、今後の日程については、配付の変更日程案のとおり取り進めることに決定。

- ② 3月24日の本会議開議時刻について
- ・午後4時開会予定とする。

○3月24日(水) 開議 午後3時15分
散会 午後3時22分
議会運営委員会室
委員長 吉田 祐樹(自民)

- ① 各委員会付託議案の審議状況について

- ・すべて(予算19件、保健福祉4件、総務6件、環境生活2件、少子・高齢2件、水産林務1件、建設6件、経済1件、農政1件、人口減少1件)議了したことを報告。

- ② 動議の取扱いについて

- ・稲村久男議員ほか4名から、動議の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。

- ③ 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から、追加提出議案について説明。
- ・追加提出議案については、本日の本会議において、委員会付託を省略し、議決することに決定。

- ④ 会議規則の一部改正について

- ・全国都道府県議会議長会において、会議の欠席事由として、育児、介護が追加され、また、産前産後期間が新設されるなど、標準会議規則が改正された。この改正も含め、運用実態の変化や運用事例などを検討してきた結果、議会運営委員会の発議により、配付の会議案第1号のとおり改正することとし、本日の本会議において、議決することに決定。

- ⑤ 議会運営に関する決定事項について

- ・会議規則の一部改正に伴い、配付の決定事項のとおり改正することに決定。

- ⑥ 決議案の取扱いについて

- ・配付のとおり、決議案第1号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。

- ⑦ 意見案の取扱いについて

- ・配付のとおり、意見案第1号及び第2号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。

- ⑧ 継続調査の申し出について

- ・配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることにより決定。

- ⑨ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局説明のとおりとする。

- ⑩ 理事者の発言について

- ・総務部長から松浦総務部職員監が体調不良のため、本日の本会議欠席の発言があり、これを了承。

- ⑪ 専決処分について

- ・総務部長から発言のあった専決処分について、了承することに決定。

- ⑫ 年間の各定例会の招集予定日について

- ・総務部長から発言のあった年間の各定例会の招集予定日について了承。

- ⑬ 本会議開議時刻について

- ・午後4時開会とする。

常任委員会

聴取の件 [道警察本部刑事部長報告]

総務委員会

○1月13日(水) 開議 午後1時19分
散会 午後2時28分
第5委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

開議前

1. 新年の挨拶
[委員長、総務部長、道警察本部総務部長]

議事

1. 令和3年度国の施策及び予算に関する提案・要望に対する予算政府案の概要に関する報告聴取の件
[総務部長、道警察本部総務部長報告]
1. 令和2年の交通死亡事故発生状況と本年の抑止対策に関する報告聴取の件
[道警察本部交通部長報告]
1. 北海道農政部における集団感染事例の発生に関する報告聴取の件 [人事局長報告]

質疑

1. 宮下 准一委員(自民)
～北海道農政部における集団感染事例の発生について

質問

1. 宮下 准一委員(自民)
～地震災害への備えについて
1. 山根 理広委員(民主)
～新型コロナウイルス感染症への対応業務に係る保健所職員等の処遇について
1. 阿知良 寛美委員(公明)
～積雪寒冷期における地震・津波対策について

○2月2日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時41分
第5委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

議事

1. 北海道の犯罪情勢(令和2年)に関する報告

質問

1. 宮下 准一委員(自民)
～道税の納税方法の拡大について
1. 佐藤 伸弥委員(結志)
～議会庁舎跡地について
～庁舎の衛生設備等について

○2月24日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時39分
第5委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

議事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
1. 「行財政運営の基本方針(案)」に関する報告聴取の件 [総務部長報告]
1. 包括外部監査の結果に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政局長報告]
1. 北海道災害時応援・受援マニュアルの改正に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和2年度における北海道防災総合訓練等の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]

○3月24日(水) 開議 午前10時12分
散会 午前10時37分
第5委員会室
委員長 花崎 勝(自民)

付託案件の審査

- 議案第20号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第22号
北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第35号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第38号

包括外部監査契約の締結に関する件
(原案可決)

議案第41号

地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款
の変更に関する件 (原案可決)

議案第43号

工事請負契約の締結に関する件
(原案可決)

請願の審査

請願第2号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に
係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の
改善(平等化)を求める件 (継続審査)

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 付託議案審査の件
1. 地方税法の改正に伴う北海道税条例の一部改
正の専決処分に関する報告聴取の件
[財政局長報告]

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質問

1. 浅野 貴博委員(自民)
～防衛施設等周辺の土地取得に対する規制等
について

総合政策委員会

○1月13日(水) 開議 午後1時18分
散会 午後1時25分
第4委員会室
委員長 中山 智康(結志)

開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、総合政策部長]

議事

1. 北海道SDGs未来都市計画に関する報告聴

取の件 [政策局計画推進担当局長報告]

1. 令和3年度予算政府案等の概要に関する報告
聴取の件

[政策局計画推進担当局長報告]

○2月2日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時48分
第4委員会室
委員長 中山 智康(結志)

議事

1. 北海道外国人相談センターにおける相談対応
に関する報告聴取の件 [国際局長報告]

質問

1. 笠木 薫委員(民主)
～新型コロナウイルス感染症対策について

○2月24日(水) 開議 午前10時13分
散会 午前10時39分
第4委員会室
委員長 中山 智康(結志)

議事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [総合政策部長説明]

1. 新型コロナウイルス感染症による影響を踏ま
えた公約の推進方向に関する報告聴取の件
[政策局長報告]

1. 北海道総合計画の見直しの方向性(案)に関
する報告聴取の件
[政策局計画推進担当局長報告]

1. 次期北海道SDGs未来都市計画(骨子案)
に関する報告聴取の件
[政策局計画推進担当局長報告]

1. 北海道政策評価条例の施行状況等の点検結
果に関する報告聴取の件
[政策局計画推進担当局長報告]

1. 北海道強化アクションプラン2021(案)に
関する報告聴取の件
[政策局計画推進担当局長報告]

1. 北海道Society5.0推進計画(案)に関
する報告聴取の件 [情報統計局長報告]

1. 第2期北海道自転車利活用推進計画(案)に
関する報告聴取の件

[地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

○3月24日(水) 開議 午前10時12分
散会 午前10時14分
第4委員会室
委員長 中山 智康(結志)

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

環境生活委員会

○1月13日(水) 開議 午後1時19分
散会 午後3時16分
第12委員会室
委員長 荒当 聖吾(公明)

開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、環境生活部長]

議事

1. 令和3年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 北海道海岸漂着物対策推進計画[第3次計画](素案)に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 令和2年交通事故発生概況及び令和3年における交通安全運動の推進方針に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

質疑

1. 赤根 広介委員(結志)
～令和3年度予算政府案等の概要について
1. 真下 紀子委員(共産)
～令和2年交通事故発生概況及び令和3年における交通安全運動の推進方針について

質問

1. 植村 真美委員(自民)
～定期購入契約に関する消費者トラブルについて

1. 広田 まゆみ委員(民主)
～北海道における縄文世界遺産の活用の在り方について

1. 北口 雄幸委員(民主)
～新型コロナウイルス感染症による誹謗中傷(人権)対策について

1. 真下 紀子委員(共産)
～太平洋セメント(株)及び北斗市との災害廃棄物に関する協定について

○2月2日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後3時13分
第12委員会室
委員長 荒当 聖吾(公明)

議事

1. 北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例(素案)に対する道民意見の概要に関する報告聴取の件 [環境局長報告]

1. 「北海道アイヌ政策推進方策」(素案)に関する報告聴取の件 [アイヌ政策推進局長報告]

質疑

1. 赤根 広介委員(結志)
～「北海道アイヌ政策推進方策」(素案)について

質問

1. 植村 真美委員(自民)
～地域気候変動適応センターについて
1. 洲上 綾子委員(民主)
～パートナーシップ制度について
～コロナ禍における困窮する女性の支援について
1. 広田 まゆみ委員(民主)
～地域循環共生圏の推進とゼロカーボンシティの実現について
1. 真下 紀子委員(共産)
～ヒグマとの共生の在り方について

○2月24日(水) 開議 午前10時10分
散会 午後零時29分
第12委員会室

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 北海道環境基本計画【第3次計画】(案)に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道海岸漂着物対策推進計画【第3次計画】(案)に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 環境生活部くらし安全局所管の各種計画等に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 北海道における縄文世界遺産の活用のあり方(仮称)(案)に関する報告聴取の件 [文化局長報告]

質 疑

1. 植村 真美委員（自民）
～北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等について
1. 真下 紀子委員（共産）
～北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等について
1. 北口 雄幸委員（民主）
～北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等について（意見）
1. 赤根 広介委員（結志）
～北海道地球温暖化対策推進計画の見直し及び計画に基づく施策の実施状況等について
1. 真下 紀子委員（共産）
～環境生活部くらし安全局所管の各種計画等について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～環境生活部くらし安全局所管の各種計画等について（意見）
1. 瀧上 綾子委員（民主）
～環境生活部くらし安全局所管の各種計画等に

質 問

1. 赤根 広介委員（結志）
～DV対策について
1. 真下 紀子委員（共産）
～化学物質過敏症対策について

○3月24日（水） 開議 午前10時10分
散会 午後零時17分
第12委員会室
委員長 荒当 聖吾（公明）

付託案件の審査

- 議案第23号
北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第24号
特定非営利活動促進法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案 (原案可決)

請願の審査

- 請願第3号
北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件 (継続審査)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 決議案発議の件 [決定]
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 水道の広域連携に向けた取組に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）(案)に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 第11次北海道交通安全計画（素案）に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 北海道アイヌ政策推進方策（案）に関する報告聴取の件 [アイヌ政策推進局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件

[決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～付託議案について
1. 北口 雄幸委員（民主）
～水道の広域連携に向けた取組について
1. 太田 憲之委員（自民）
～北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）
（案）について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）
（案）について（意見）
1. 真下 紀子委員（共産）
～北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）
（案）について

質 問

1. 植村 真美委員（自民）
～ウインタースポーツの推進について
1. 瀧上 綾子委員（民主）
～パートナーシップ制度について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～デジタルミュージアムについて

保健福祉委員会

- 1月13日（水） 開議 午後1時17分
散会 午後2時32分
第6委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

開 議 前

1. 新年の挨拶
[委員長、保健福祉部長、道立病院部長]

議 事

1. 令和3年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件
[保健福祉部次長報告]

質 問

1. 村田 光成委員（自民）
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 武田 浩光委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症対策について

1. 志賀谷 隆委員（公明）
～北海道のひきこもり対策について
～新型コロナウイルス感染症対策等について
1. 宮川 潤委員（共産）
～新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

- 2月2日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後2時29分
第6委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 食中毒予防対策と食中毒発生状況に関する報告聴取の件
[健康安全局長報告]

質 問

1. 武田 浩光委員（民主）
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 滝口 信喜委員（結志）
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 志賀谷 隆委員（公明）
～新型コロナウイルスワクチンについて
1. 宮川 潤委員（共産）
～生活保護行政について

- 2月24日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前11時6分
第6委員会室
委員長 沖田 清志（民主）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[保健福祉部長・道立病院部長説明]
1. 北海道医療計画の見直し（案）に関する報告聴取の件
[地域医療推進局長報告]
1. 第6期北海道障がい福祉計画（案）に関する報告聴取の件
[障がい者支援担当局長報告]
1. 第2期北海道アルコール健康障害対策推進計画（案）に関する報告聴取の件
[障がい者支援担当局長報告]
1. 北海道病院事業改革推進プラン（案）に関する報告聴取の件
[道立病院局次長報告]

(継続審査)

質 疑

1. 宮川 潤委員 (共産)
～北海道医療計画の見直し (案) について

○3月15日 (月) 開議 午後3時24分
散会 午後3時28分
第6委員会室
委員長 沖田 清志 (民主)

付託案件の審査

議案第62号
北海道新型コロナウイルス感染症対策地域医療
支援基金条例案 (原案可決)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件

○3月24日 (水) 開議 午前10時8分
散会 午前11時22分
第6委員会室
委員長 沖田 清志 (民主)

付託案件の審査

議案第19号
北海道看護職員養成確保修学資金貸付条例案
(原案可決)

議案第25号
北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する
条例案 (原案可決)

議案第27号
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性
の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条
例の整備に関する条例案 (原案可決)

議案第29号
北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、
設備及び運営に関する基準等を定める条例等
の一部を改正する条例案 (原案可決)

請願の審査

請願第8号
精神障がい者の運賃割引を求める件

請願第15号

北海道重度心身障がい者医療給付事業への精神
障がい者の適用と新型コロナウイルス感染症か
ら障がい者の命と暮らしを守る対策を求める件
(継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道社会福祉審議会委員推薦の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 村田 光成委員 (自民)
～HPVワクチンについて
1. 武田 浩光委員 (民主)
～変異株の感染拡大防止対策について
1. 滝口 信喜委員 (結志)
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 志賀谷 隆委員 (公明)
～医療政策等について
1. 宮川 潤委員 (共産)
～自殺対策について

経 済 委 員 会

○1月13日 (水) 開議 午後1時15分
散会 午後1時57分
第7委員会室
委員長 松山 丈史 (民主)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

議 事

1. 令和3年度予算政府案等の概要に関する報告
聴取の件 [経済企画局長報告]

質 問

1. 渡邊 靖司委員 (自民)

～テレワークの普及定着について

1. 小泉 真志委員（民主）

～コロナ禍における雇用対策について

1. 菊地 葉子委員（共産）

～新型コロナウイルス感染症対策について

○2月2日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時37分
第7委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査に関する報告聴取の件

[経済部次長兼経済企画局長報告]

1. 道の海外事務所等における活動状況に関する報告聴取の件 [国際経済室長報告]

質 疑

1. 菊地 葉子委員（共産）

～新型コロナウイルス感染症に関する影響調査について（意見）

質 問

1. 小泉 真志委員（民主）
～休業及び時短要請について

○2月24日（水） 開議 午前10時15分
散会 午前10時52分
第7委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長説明]

質 問

1. 渡邊 靖司委員（自民）

～企業誘致について

1. 小泉 真志委員（民主）

～障がい者の雇用について

○3月24日（水） 開議 午前10時59分
散会 午前11時34分
第7委員会室
委員長 松山 丈史（民主）

付託案件の審査

議案第34号

北海道公営企業条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件

1. 清水沢発電所発電式出席の件 [決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 吉川 隆雅委員（自民）

～食産業の振興について

1. 小泉 真志委員（民主）

～地域振興について

1. 平出 陽子委員（民主）

～地域経済の活性化について

農 政 委 員 会

○1月13日（水） 開議 午後1時17分
散会 午後2時12分
第10委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、農政部長]

議 事

1. 「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂に関する報告聴取の件

[農政部次長報告]

1. 令和2年度国費第3次補正予算及び令和3年度国費予算概算決定に関する報告聴取の件

[農政部長報告]

1. 令和3年度畜産物価格等に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 令和3年産米の「生産の目安」に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]

質 疑

1. 池端 英昭委員（民主）
～「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂について
1. 滝口 直人委員（自民）
～令和3年産米の「生産の目安」について
1. 松本 将門委員（民主）
～令和3年産米の「生産の目安」について

○2月2日（火） 開議 午後1時8分
散会 午後1時43分
第10委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 第3期北海道競馬推進プラン（素案）に関する報告聴取の件 [競馬事業室長報告]
1. 令和3年普及奨励等となった農業技術の概要に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

質 疑

1. 滝口 直人委員（自民）
～第3期北海道競馬推進プラン（素案）について
1. 中野渡 志穂委員（公明）
～令和3年普及奨励等となった農業技術の概要について

○2月24日（水） 開議 午前10時7分
散会 午前11時2分
第10委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 第6期北海道農業・農村振興推進計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]

1. 第8次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 第10次北海道家畜改良増殖計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 北海道家畜排せつ物利用促進計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 北海道果樹農業振興計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 北海道花き振興計画（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 北海道農業経営基盤強化促進基本方針（案）に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 北海道農業振興地域整備基本方針（素案）に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 協同農業普及事業の実施に関する方針（素案）に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]

質 疑

1. 滝口 直人委員（自民）
～協同農業普及事業の実施に関する方針（素案）について
1. 中野渡 志穂委員（公明）
～協同農業普及事業の実施に関する方針（素案）について

○3月24日（水） 開議 午前10時8分
散会 午前10時49分
第10委員会室
委員長 中野 秀敏（自民）

付託案件の審査

議案第36号
国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

請願の審査

請願第1号
「日米貿易交渉での食料輸入拡大の中止を求める意見書」の提出を求める件（継続審査）

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道農業振興地域整備基本方針（案）に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]
1. 協同農業普及事業の実施に関する方針（案）に関する報告聴取の件 [技術支援担当局長報告]
1. 北海道獣医療提供体制整備計画（案）に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 農業農村整備事業の適切な執行に関する報告聴取の件 [農政部技監報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 滝口 直人委員（自民）
～北海道米の消費拡大について
1. 松本 将門委員（民主）
～気象災害による農業被害について
1. 清水 拓也委員（自民）
～北海道農業・農村の展望について

水産林務委員会

- 1月13日（水） 開議 午後1時17分
散会 午後1時27分
第8委員会室
委員長 三好 雅（自民）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、水産林務部長]

議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 令和2年度国費補正予算案及び令和3年度国費予算案の概要に関する報告聴取の件 [水産林務部長報告]
1. 第42回全国豊かな海づくり大会の基本構想に関する報告聴取の件 [水産林務部技監報告]

- 2月2日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時30分
第8委員会室
委員長 三好 雅（自民）

議 事

1. 栽培漁業の推進方向（素案）に関する報告聴取の件 [水産基盤整備担当局長報告]

質 疑

1. 佐々木 大介委員（自民）
～栽培漁業の推進方向（素案）について

質 問

1. 桐木 茂雄委員（自民）
～道庁ロビーの木質化について

- 2月24日（水） 開議 午前10時10分
散会 午前10時51分
第8委員会室
委員長 三好 雅（自民）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長、水産林務部次長、林務局長説明]
1. 栽培漁業の推進方向（案）に関する報告聴取の件 [水産基盤整備担当局長報告]
1. 北海道スマート林業推進方針（案）に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 北海道立北の森づくり専門学院の新校舎落成式に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 北海道森林吸収源対策推進計画（改定案）に関する報告聴取の件 [森林計画担当局長報告]
1. 胆振東部地震被災森林復旧指針（案）に関する報告聴取の件 [森林計画担当局長報告]

質 疑

1. 佐々木 大介委員（自民）
～北海道森林吸収源対策推進計画（改定案）に

ついて

○3月24日(水) 開議 午前10時8分
散会 午前10時17分
第8委員会室
委員長 三好 雅(自民)

付託案件の審査

議案第30号

北海道森林整備地域活動支援基金条例の一部を
改正する条例案 (原案可決)

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

- 付託議案審査の件
- 北海道立北の森づくり専門学院新校舎落成式出席の件 [決定]
- 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質問

- 佐々木 大介委員(自民)
～胆振東部地震の被災森林の復旧について

建設委員会

○1月13日(水) 開議 午後1時17分
散会 午後1時28分
第9委員会室
委員長 村木 中(自民)

開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、建設部長]

議事

- 令和2年度国費補正予算案及び令和3年度国費予算案に関する報告聴取の件
[建設部長報告]

○2月2日(火) 開議 午後1時7分
散会 午後1時27分
第9委員会室
委員長 村木 中(自民)

議事

- 「コンパクトなまちづくりに向けた基本方針」の見直しに関する報告聴取の件
[まちづくり局長報告]
- 空き家等対策の推進に関する報告聴取の件
[住宅局長報告]
- 北海道耐震改修促進計画の見直しに関する報告聴取の件
[住宅局長報告]

○2月24日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時40分
第9委員会室
委員長 村木 中(自民)

議事

- 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
- 北海道土地開発公社の事業運営及び長期保有地処分の方策(素案)に関する報告聴取の件
[建設部次長報告]
- 北海道新広域道路交通ビジョン・計画(素案)に関する報告聴取の件
[土木局長報告]
- 北海道下水道事業経営戦略(案)に関する報告聴取の件
[まちづくり局長報告]

○3月24日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時29分
第9委員会室
委員長 村木 中(自民)

付託案件の審査

議案第31号

北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第32号

北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第33号

北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第37号

訴えの提起に関する件 (原案可決)

議案第39号

北海道道の路線の認定に関する件

(原案可決)

議案第40号

河川法に基づく一級河川の指定についての意見
に関する件 (原案可決)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道土地開発公社の事業運営及び長期保有
地処分の方策(案)に関する報告聴取の件
[建設部次長報告]
1. 空き家等対策に関する取組方針の見直しに関
する報告聴取の件 [住宅局長報告]
1. 北海道耐震改修促進計画の見直しに関する報
告聴取の件 [住宅局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 問

1. 千葉 英也委員(自民)
～本道の公共事業の今後のあり方について

文 教 委 員 会

○1月13日(水) 開議 午後1時17分
散会 午後2時12分
第11委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、教育部長]

議 事

1. 令和3年度(2021年度)文部科学関係予算
(案)の概要に関する報告聴取の件
[教育部長、学事課長報告]
1. 北海道教育委員会とタスマニア州教育省との
教育分野の協力に関する覚書の締結に関する
報告聴取の件 [高校配置担当局長報告]
1. 令和2年度全国学力・学習状況調査児童生徒
質問紙調査の集計結果(参考値)に関する報
告聴取の件 [学校教育局長報告]

質 疑

1. 檜垣 尚子委員(自民)
～令和2年度全国学力・学習状況調査児童生徒
質問紙調査の集計結果(参考値)について
1. 木葉 淳委員(民主)
～令和2年度全国学力・学習状況調査児童生徒
質問紙調査の集計結果(参考値)について

質 問

1. 内田 尊之委員(自民)
～私立高校の修学旅行について
1. 木葉 淳委員(民主)
～高等学校における学びについて

○2月2日(火) 開議 午後1時7分
散会 午後1時43分
第11委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

議 事

1. 令和2年度(2020年度)新体力テスト分析ツ
ールによる分析結果に関する報告聴取の件
[学校教育局長報告]

質 問

1. 檜垣 尚子委員(自民)
～新型コロナウイルス感染症への対応等につ
いて
1. 木葉 淳委員(民主)
～学校職員の働き方について
1. 寺島 信寿委員(公明)
～ふるさと教育について

○2月24日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時29分
第11委員会室
委員長 笠井 龍司(自民)

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件
[教育部長、学事課長、総合教育推進課長説
明]
1. 学校における働き方改革北海道アクション・

プラン（第2期）案に関する報告聴取の件

[教職員局長報告]

1. 北海道教育委員会とサンクトペテルブルク市教育委員会との教育分野の協力に関する覚書の締結に関する報告聴取の件

[高校配置担当局長報告]

○3月24日（水） 開議 午前10時7分
散会 午前10時10分
第11委員会室
委員長 笠井 龍司（自民）

請願の審査

請願第6号

私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを求める件
(継続審査)

請願第11号

ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件
(継続審査)

請願第13号

道立高校の定員内は受検者全員を合格させることを求める件
(継続審査)

請願第14号

「私学教育費負担の公私間格差是正」を求める件
(継続審査)

請願第16号

北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件
(継続審査)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

特別委員会

産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○1月14日(木) 開議 午前10時10分
散会 午前10時25分
第7委員会室
委員長 東 国幹(自民)

開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

議事

1. 令和3年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [環境・エネルギー局長報告]

質問

1. 藤川 雅司委員(民主)
～文献調査に係る交付金について

○2月3日(水) 開議 午前10時6分
散会 午前10時37分
第7委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議事

1. 次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」策定の検討状況に関する報告聴取の件 [環境・エネルギー局長報告]

質疑

1. 笠井 龍司委員(自民)
～次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」策定の検討状況について
1. 壬生 勝則委員(民主)
～次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」策定の検討状況について

○2月24日(水) 開議 午後1時23分
散会 午後1時46分
第7委員会室
委員長 東 国幹(自民)

議事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[経済部長、危機対策監説明]
1. 次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」の素案に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー局長報告]

質問

1. 星 克明委員(自民)
～今後のエネルギー政策について

○3月24日(水) 開議 午後1時10分
散会 午後1時20分
第7委員会室
委員長 東 国幹(自民)

請願の審査

請願第9号
寿都町における特定放射性廃棄物最終処分場誘致の文献調査についての件 (継続審査)

開議前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議事

1. 次期「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

質問

1. 藤川 雅司委員(民主)
～北電のプルサーマル計画について

北方領土対策特別委員会

○1月14日(木) 開議 午前10時14分
散会 午前10時45分
第8委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

開議前

1. 新年の挨拶

[委員長、北方領土対策本部長]

第8委員会室

委員長 松浦 宗信 (自民)

議 事

1. 「北方領土の日」特別啓発期間に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 「北方領土の日」署名活動参加の件 [決定]
1. 令和3年度(2021年度)予算政府案の概要に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 2020年度北方領土“中学生の声”発信事業の実施結果に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

質 問

1. 小泉 真志委員 (民主)
～北方領土問題への取組について

○2月3日(水) 開議 午前10時3分
散会 午前10時18分
第8委員会室
委員長 松浦 宗信 (自民)

議 事

1. 四島交流専用船「えとぴりか」の感染症対策改修工事内容に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

質 問

1. 大越 農子委員 (自民)
～北方領土返還要求運動について

○2月24日(水) 開議 午後1時8分
散会 午後1時14分
第8委員会室
委員長 松浦 宗信 (自民)

議 事

1. 「北方領土の日」署名活動参加報告の件 [委員長報告]
1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [北方領土対策本部長説明]

○3月24日(水) 開議 午後1時11分
散会 午後1時19分

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 「北方領土の日」特別啓発期間の取組等に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○1月14日(木) 開議 午前10時20分
散会 午前10時35分
第9委員会室
委員長 中司 哲雄 (自民)

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、交通企画監]

議 事

1. 令和3年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 問

1. 清水 拓也委員 (自民)
～空港運営について

○2月3日(水) 開議 午前10時6分
散会 午前10時37分
第9委員会室
委員長 中司 哲雄 (自民)

議 事

1. 重点戦略検討WGの開催結果及び北海道交通政策総合指針重点戦略(素案)に対するパブリックコメント等による意見募集の結果等に関する報告聴取の件 [交通政策局次長報告]
1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件 [航空局長報告]
1. 礼文空港の休止期間の延長に関する報告聴取の件 [空港戦略担当局長報告]

質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）
～重点戦略検討WGの開催結果及び北海道交通政策総合指針重点戦略（素案）に対するパブリックコメント等による意見募集の結果等について

- 2月24日（水） 開議 午後1時8分
散会 午後1時30分
第9委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通企画監説明]
1. 北海道交通政策総合指針重点戦略及び北海道における安定的かつ効率的な物流体制の確保に関する検討中間報告書の案に関する報告聴取の件 [交通政策局次長報告]

質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）
～北海道交通政策総合指針重点戦略及び北海道における安定的かつ効率的な物流体制の確保に関する検討中間報告書の案について

- 3月24日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時25分
第9委員会室
委員長 中司 哲雄（自民）

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 令和元年度道管理空港の空港別収支の試算結果に関する報告聴取の件 [空港戦略担当局長報告]

質 問

1. 佐藤 禎洋委員（自民）
～トラック輸送について

人口減少問題・地方分権

改革等調査特別委員会

- 1月14日（木） 開議 午前10時10分
散会 午前10時31分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、地域振興監]

議 事

1. 令和3年度地方創生関連予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 「北海道型ワーケーションに係る首都圏企業におけるニーズ調査」の結果に関する報告聴取の件 [地域振興監報告]

質 問

1. 寺島 信寿委員（公明）
～移住施策の推進について

- 2月3日（水） 開議 午前10時6分
散会 午前10時19分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

議 事

1. 道内市町村における広域連携の取組状況に関する報告聴取の件 [地域行政局長報告]

質 疑

1. 新沼 透委員（結志）
～道内市町村における広域連携の取組状況について

- 2月24日（水） 開議 午後1時8分
散会 午後1時27分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [地域振興監説明]
1. 北海道型ワーケーションに係るモデルプラン

の概要に関する報告聴取の件
[地域創生局長報告]

質 疑

1. 寺島 信寿委員（公明）
～北海道型ワーケーションに係るモデルプラン
の概要について

○3月24日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時14分
第4委員会室
委員長 佐藤 伸弥（結志）

付託案件の審査

議案第42号

北海道道州制特別区域計画の変更に関する件
(原案可決)

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件

少子・高齢社会対策特別委員会

○1月14日（木） 開議 午前10時10分
散会 午前10時30分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

開 議 前

1. 新年の挨拶
[委員長、少子高齢化対策監]

議 事

1. 令和3年度予算政府案の概要に関する報告聴
取の件 [保健福祉部次長報告]

質 問

1. 真下 紀子委員（共産）
～介護施設、高齢者施設でのクラスター発生等
について

○2月3日（水） 開議 午前10時5分
散会 午前10時23分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議 事

1. 介護サービス事業所における令和2年度介護
職員実態調査結果に関する報告聴取の件
[保健福祉部次長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～介護サービス事業所における令和2年度介護
職員実態調査結果について

○2月24日（水） 開議 午後1時9分
散会 午後1時27分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [少子高齢化対策監説明]
1. 第8期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険
事業支援計画（案）に関する報告聴取の件
[高齢者支援局長報告]

○3月24日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時30分
第6委員会室
委員長 笹田 浩（民主）

付託案件の審査

議案第26号

北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条
例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第28号

北海道指定居宅サービス等の事業の人員、設備
及び運営に関する基準等を定める条例等の一部
を改正する条例案 (原案可決)

請願の審査

請願第12号

子ども医療費無料化を求める件

(継続審査)

防疫措置に関する報告聴取の件

[食の安全推進監報告]

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]

質 問

1. 村田 光成委員（自民）
～第8期北海道高齢者福祉計画・介護保健事業計画について

食と観光対策特別委員会

- 1月14日（木） 開議 午前10時15分
散会 午前10時58分
第5委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、観光振興監]

議 事

1. 令和3年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件
[観光振興監、食の安全推進監報告]
1. I R基本方針等の決定に関する報告聴取の件
[誘客担当局長報告]

質 疑

1. 宮下 准一委員（自民）
～I R基本方針等の決定について
1. 宮川 潤委員（共産）
～I R基本方針等の決定について

- 2月3日（水） 開議 午前10時5分
散会 午前10時13分
第5委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

議 事

1. 千葉県の高病原性鳥インフルエンザ発生に係る疫学関連農場における疑似患畜の殺処分等

- 2月24日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時45分
第5委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

議 事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[観光振興監、食の安全推進監説明]
1. 「北海道アウトドア活動振興推進計画」に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]
1. 「北海道食品ロス削減推進計画」（案）に関する報告聴取の件
[食の安全推進局長報告]
1. 「飼養衛生管理指導等計画」（案）に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]

質 疑

1. 遠藤 連委員（自民）
～「北海道アウトドア活動振興推進計画」について（意見）

- 3月24日（水） 開議 午後1時35分
散会 午後2時5分
第5委員会室
委員長 市橋 修治（民主）

開 議 前

1. 委員会運営方法の件 [了承]

議 事

1. 北海道住宅宿泊事業法の実施の制限に関する条例の改正に関する報告聴取の件
[観光局長報告]
1. 「令和2年度上期観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

質 問

1. 淵上 綾子委員（民主）
～どうみん割について

北海道地方路線問題調査特別委員会

○1月14日(木) 開議 午後1時25分
散会 午後3時12分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

開議前

1. 新年の挨拶
[委員長、総合政策部交通企画監]

議事

1. 北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質疑

1. 三好 雅委員(自民)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容について
1. 菅原 和忠委員(民主)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容について
1. 赤根 広介委員(結志)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容について
1. 田中 英樹委員(公明)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容について
1. 真下 紀子委員(共産)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議及び国のJR北海道に対する令和3年度以降の支援内容について

○2月3日(水) 開議 午後1時7分
散会 午後2時22分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

議事

1. 留萌線のダイヤ改正(減便)に伴うJR北海

道の対応に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

1. 北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議(第2回)開催結果に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質疑

1. 真下 紀子委員(共産)
～留萌線のダイヤ改正(減便)に伴うJR北海道の対応について(意見)
1. 三好 雅委員(自民)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議(第2回)開催結果について
1. 笠木 薫委員(民主)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議(第2回)開催結果について
1. 赤根 広介委員(結志)
～北海道の鉄道ネットワークに関する関係者会議(第2回)開催結果について

○2月24日(水) 開議 午後2時13分
散会 午後2時18分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

議事

1. 令和3年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[交通企画監説明]

○3月24日(水) 開議 午後2時20分
散会 午後2時48分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

開議前

1. 委員会運営方法の件
[了承]

議事

1. 第1期集中改革期間における北海道鉄道活性化協議会の主な取組に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]

質問

1. 三好 雅委員(自民)
～債務等処理法の改正に向けた国会審議について

予算特別委員会

○3月12日(金) 開会 午後3時38分
散会 午後3時49分
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 委員長に松浦宗信委員(自民)、副委員長に畠山みのり委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、3分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、総合政策部、保健福祉部、出納局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員15人、所管は環境生活部、建設部、企業局、教育委員会及び収用委員会、第3分科会は委員15人、経済部、農政部、水産林務部、労働委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁業管理委員会とする。
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、先議に係る議案及び各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

○第1分科会(委員15人)

| | |
|-----------|-----------|
| 鈴木 一磨(民主) | 武田 浩光(民主) |
| 星 克明(自民) | 宮下 准一(自民) |
| 安住 太伸(自民) | 新沼 透(結志) |
| 小岩 均(民主) | 太田 憲之(自民) |
| 中野 秀敏(自民) | 吉川 隆雅(自民) |
| 赤根 広介(結志) | 安藤 邦夫(公明) |
| 平出 陽子(民主) | 中司 哲雄(自民) |
| 和田 敬友(自民) | |

○第2分科会(委員15人)

| | |
|-----------|-----------|
| 小泉 真志(民主) | 植村 真美(自民) |
| 大越 農子(自民) | 松本 将門(民主) |
| 阿知良寛美(公明) | 池端 英昭(民主) |
| 畠山みのり(民主) | 丸岩 浩二(自民) |
| 花崎 勝(自民) | 松山 丈史(民主) |
| 佐藤 伸弥(結志) | 森 成之(公明) |
| 藤沢 澄雄(自民) | 吉田 正人(自民) |
| 高橋 文明(自民) | |

○第3分科会(委員15人)

| | |
|-----------|-----------|
| 寺島 信寿(公明) | 笠木 薫(民主) |
| 渡邊 靖司(自民) | 浅野 貴博(自民) |
| 内田 尊之(自民) | 山根 理広(民主) |
| 藤川 雅司(民主) | 笠井 龍司(自民) |
| 田中 芳憲(自民) | 沖田 清志(民主) |
| 中山 智康(結志) | 真下 紀子(共産) |
| 千葉 英守(自民) | 遠藤 連(自民) |
| 大谷 亨(自民) | |

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を置くことを決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、補正予算先議に係る通告は、各派の質疑・質問時間の範囲内で、審査日の前日までに提出すること、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとする。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受け行うことを決定。

○3月15日(月) 開会 午後1時3分
散会 午後3時11分
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 議案第47号ないし第61号(先議案件)を一括議題とし、質疑に入り、
星 克明委員(自民)から、
 - 1 公共事業費について
 - ・北海道新幹線鉄道整備事業費負担金の減額の

要因及び事業の進捗状況

- 2 産地生産基盤パワーアップ事業などについて
 - ・ 予算の大半が減額となり、農業や畜産業における安定的な生産基盤整備が進んでいない現状に対する受け止め及び今後の対応
- 3 保健福祉関係の義務的経費について
 - ・ 減額補正の要因及び的確な積算を行うための今後の対応
- 4 新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金について
 - ・ 今年度実施した医療関係者及び医療勤務環境改善の支援に対する事業の成果
 - ・ 寄附金の募集方法及び充当する事業並びに予算への反映時期
- 5 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・ 融資額と貸付原資預託金の見込み方及びそれぞれの減額要因
 - ・ 大幅な減額補正に伴う円滑な資金融通への支障
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金の制度改正に至った分析内容及び考え方
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金の融資限度額8,000万円への引き上げにより得られた効果
 - ・ 無利子融資制度の継続要望に係る所見
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金と中小企業の経営持続化に向けた他の施策との取捨選択や予算配分額の考え方
- 6 学校における感染症対策について
 - ・ 感染対策の徹底に向けた環境整備に対する取組
- 7 感染症対策に係るシステム改修等について
 - ・ 庁内の情報システムの環境整備により見込まれるスマート道庁の取組のスピードアップ化に係る所見
- 8 財政運営について
 - ・ 道税収入の減額要因に対する分析及び現状認識
 - ・ 道税など一般財源の減収に係る収支対策
 - ・ 繰上償還による実質公債費比率の改善効果及び比率改善に向けた今後の取組

等について

武田 浩光委員（民主） から、

- 1 財政運営について
 - ・ 地方消費税について、手取りベースでの補正予算の減額状況及び昨年度決算と比較した場合の増収状況

- ・ 令和2年度において道が猶予した道税の額及び令和3年度に徴収可能な見込額
 - ・ 特例的な地方債の活用による道債の大幅増額に伴う実質公債費比率への影響
 - ・ 地方税の大幅な減収が生じた場合、地方自治体が借金で穴埋めするのではなく、国において財源を手当することに係る見解
 - ・ 今回の補正予算が行財政運営方針における道財政の健全化を進める考え方に沿うものかの認識及び今後の財政の健全化に向けた取組
- 2 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・ 中小企業総合振興資金貸付金の減額の要因に対する分析内容
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金を活用した事業者の中で、初めて道の制度融資を活用した事業者数及び今回の融資実績を分析し、コロナ対策やポストコロナの中小企業施策に反映するべきとの考えに対する所見
 - 3 新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金積立金について
 - ・ 事業の執行状況及び寄附者の意向や医療・介護従事者からの意見等に沿った寄附金の活用に対する所見
 - ・ 新たな基金設置について、事業期間を3年間とした考え方及び今後の事業内容や事業化の時期
 - 4 庁舎等感染症対策経費について
 - ・ 道立高校のトイレの洋式化について、第3回定例会で措置された補正予算をさらに増額する理由及び洋式トイレの使用を望まない生徒への配慮
 - 5 感染症対策に係るシステム改修等について
 - ・ システム改修の必要性及び整備水準の検証方法
 - 6 各種基金関連経費について
 - ・ ほっかいどう未来チャレンジ基金事業の令和2年度の執行実績
 - ・ 新エネルギー導入加速化基金事業について、大幅な減額補正の要因及びゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を進めるに当たり、積極的に活用すべきとの考えに係る見解

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 行財政問題について
 - ・ 法人2税と地方消費税における道税減収の要因分析内容
 - ・ 法人2税における減額の業種別内訳

- ・ 税収の回復に向けた取組
 - ・ 公債費として発行した道債の新規発行額及び借換債発行額
 - ・ 令和2年度予算計上時における発行利率及び発行利率の実績
 - ・ 令和3年度の予算積算金利設定に当たっての向こう1年間の金利動向の見通し及び本年度と同様の1.1%に金利設定した理由
- 2 中小企業総合振興資金貸付金について
 - ・ 融資先の業種別割合
 - ・ 融資額別の事業者数
 - ・ 実質無利子・無担保である新型コロナウイルス感染症対応資金制度の継続の必要性に係る所見
 - 3 産地生産基盤パワーアップ事業について
 - ・ 13件の事業取下げの要因及びこれらの事業の来年度の取扱い
 - 4 ふるさと寄附金促進事業について
 - ・ 当初予算時におけるふるさと寄附金の見込額及び事業費の使途に係る当初予算時と補正予算の対比
 - 5 庁舎等感染症対策経費について
 - ・ 小中学校における洋式トイレの現状及び洋式トイレ化の整備促進に向けた取組
 - ・ 手洗い場の蛇口の自動水栓化について、道や道警察の整備に併せ、道立学校の整備を進めなかった理由
 - 6 北海道新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金について
 - ・ 応援資金の残高を本年度執行しなかった理由
 - ・ 3年間の時限をつけた理由
 - ・ 来年度以降の事業実施に係る見解

等について

真下 紀子委員（共産）から、

- 1 財政見通しについて
 - ・ 道税の減額補正について、減収補填債の対象となる現行税目分と追加税目分の明示及び減収補填債の発行見込額
 - ・ 減収補填債の発行による実質公債費比率への影響
 - ・ 2020年度までの3か年緊急対策に係る公共事業の実施に伴い必要となる道債発行額及び道債発行による実質公債費比率への影響
 - ・ 実質公債費比率が早期健全化基準に達しないために、公共事業費の見直しなどの対策が必要との考えに対する見解
- 2 税収構造等について

- ・ 地方消費税と地方消費税清算金の収入、支出の減額補正額及び減額となった理由
 - ・ 地方消費税清算金収入と清算金支出の多額の乖離に係る地方消費税清算金の仕組み
 - ・ 税収の確保について、地方消費税に大きく依存しない税収構造を目指すべきとの考えに係る見解
- 3 生活保護について
 - ・ 保健福祉関係の義務的経費のうち、生活保護扶助費が減額となった理由
 - ・ コロナ禍での生活保護の申請状況の変化及び2020年1月から12月までの受給者数の推移と対前年比
 - ・ コロナ禍で生活保護申請が増加しないことへの所見
 - ・ 扶養照会は義務ではないという厚生労働大臣の認識に係る所見
 - ・ 扶養照会が申請の障害になっている場合、緊急に改善すべきとの考えに係る所見
 - ・ 生活保護制度について、有効活用するための改善に向けた対応

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、農政部長、総務部次長兼行政局長、財政局長、財政課長、資金担当課長、税務課長、地域創生局長兼官民連携推進室長、新幹線推進室長、福祉局長、保護担当課長、地域経済局長、環境・エネルギー局長、金融担当課長、総務政策局長兼幼児教育推進局長及び施設課長から答弁があつて、質疑を終結。

- ② 先議に係る議案に対する意見調整の結果、議案第51号及び第52号は意見の一致をみるに至らなかったことを報告。
- ③ 次に、議案第51号及び第52号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。
- ④ 次に、議案第47号ないし第50号及び第53号ないし第61号を問題とし、採決に入り、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 先議に係る議案に対する審議経過及び結果に関する委員長報告については委員長に一任することに決定。
- ⑥ 委員長から、先議に係る付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

第 1 分 科 会

○3月12日(金) 開会 午後3時50分
散会 午後3時59分
第1委員会室
第1分科委員長
太田 憲之(自民)

- ① 分科委員長に太田憲之委員(自民)、分科副委員長に小岩均委員(民主)を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、安住太伸委員(自民)、鈴木一磨委員(民主)、新沼透委員(結志)、安藤邦夫委員(公明)を選出。

○3月17日(水) 開議 午前10時2分
散会 午後5時32分
第1委員会室
第1分科委員長
太田 憲之(自民)

① **道立病院局所管に対する質疑**に入り、
武田 浩光委員(民主)から、

1 北海道病院事業改革推進プランについて

- ・検討の視点
- ・江差病院の機能分担と業務連携の検討状況及び今後の取組
- ・北見病院を除く5病院の今後の方向性への所見
- ・令和4年度以降の収支計画策定に対する所見
- ・公立病院改革ガイドラインの策定動向に対する見解と対応方針
- ・患者数の目標設定の考え方
- ・診療単価設定の考え方
- ・北見病院の運営に対する所見
- ・一般会計からの繰入れの考え方と国への要望に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、病院事業管理者、道立病院部長、道立病院局次長、病院経営課長及び経営改革課長兼指定管理室長から答弁があって、道立病院局所管に関する質疑を終結。

② **保健福祉部所管に対する質疑**に入り、

星 克明委員(自民)から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・罰則の対応部局と準備状況
 - ・罰則の弊害と防止に向けた取組
 - ・医療従事者へのワクチン接種の進捗状況と完了までのスケジュール及びワクチン供給の見通し
 - ・ワクチン接種の課題と受け止め
 - ・ワクチン接種に向けた道内市町村の準備状況と取組
 - ・道内における相談体制の状況と市町村との連携方法
 - ・高齢者施設等における1月以降のPCR検査等の実施状況
 - ・道内市町村における行政検査の取組状況と道の行政検査実施状況及び範囲の目安
 - ・モニタリング検査の位置づけと取組方法
 - ・変異株発生の状況
 - ・効果的なスクリーニング検査の実施に向けた取組
 - ・変異株の感染防止に向けた対応
 - ・宿泊療養施設の確保と利用状況及び4月からの計画
 - ・重点医療機関と協力医療機関の圏域別の指定状況及び国の緊急支援事業終了の影響
 - ・後方医療機関の確保及び受入れの状況と課題
 - ・医療機関におけるクラスター発生に対する受け止めと今後の対応
 - ・病床確保計画の見直しに対する受け止めと今後の対応
 - ・感染症対策局の体制と業務内容
 - ・市町村等との連携方法
 - ・増員する保健師数と対象となる保健所及び強化する業務内容
 - ・保健所設置市との連携方法と緊急時の対応
 - ・衛生研究所の体制と国立感染研究所や札幌市衛生研究所等との連携強化方法
 - ・道の衛生研究所の解析結果に対する認識と札幌市のゲノム解析との連携方法
 - ・今後の対応に係る認識
- 2 コロナ禍での高齢者への取組について
- ・通いの場の現状に対する認識
 - ・高齢者の健康状態の懸念に対する受け止めとこれまでの対応
 - ・高齢者通いの場ICT活用推進モデル事業の

概要と進め方

- ・高齢者の介護予防に向けた今後の取組
- ・事業所の運営状況とサービス別利用者数の推移及び受け止め
- ・今後の取組

等について

鈴木 一磨委員（民主）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・ワクチン接種に係る地域へのサポート体制強化に対する所見
 - ・相談体制の整備に対する所見
 - ・接種会場へ行けない住民への対応方法
 - ・住所地以外でも接種できる体制の確立方法
 - ・意思確認ができない方への対応方法
 - ・ワクチン接種体制整備の支援方法
 - ・接種会場の電源対策と国の補助金の対象範囲
 - ・ワクチン接種の広域連携に対する所見
 - ・感染者情報の公表方法の見直し
 - ・福祉施設等における定期的なPCR検査実施に対する所見
 - ・介護職員等派遣事業の見直しに対する所見
 - ・在宅要介護者等受入体制整備事業に係る道が指定した短期入所事業所と簡易陰圧装置の設置状況及び新年度予算額
 - ・今後の対応への所見
 - ・保健所の機能強化方法
 - ・非常時の公用車確保に向けた対応
 - ・北海道コロナ通知システムに対する評価と保守管理経費の所管
 - ・システム改修経費とシステム改修の考え方
 - ・道独自の先進的な対策の必要性への所見
- 2 児童虐待防止について
 - ・道内の過去3年間の虐待件数の推移
 - ・児童虐待防止対策体制総合強化プランの目標前倒しによる児童相談所職員の増員状況と質の向上方法
 - ・今後の取組
- 3 地域医療の充実について
 - ・医師確保に向けた今後の対策と新年度予算の見込み
 - ・公的医療機関等の再編統合の見直し
- 4 避難行動要支援者に対する災害時の支援について
 - ・避難行動要支援者への支援の在り方に対する所見

等について

中司 哲雄委員（自民）から、

- 1 生活困窮者への支援について
 - ・自立相談支援機関への相談状況
 - ・緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の状況と総合支援資金の4か月以上となる貸付けの状況
 - ・住居確保給付金の利用状況
 - ・自立相談支援機関の機能強化の内容と効果
 - ・就労準備支援事業等の概要と具体的な取組方法
 - ・独り親家庭への就労支援の取組内容と効果
 - ・給付型奨学金などの制度周知や相談支援の取組状況
 - ・今後の取組

等について

平出 陽子委員（民主）から、

- 1 コロナ禍における高齢者保健福祉等の充実について
 - ・病院等でのクラスター発生の要因
 - ・看護職員確保への対応
 - ・福祉関係者へのワクチン接種に対する所見
 - ・介護保険施設等に対する指導内容
 - ・夜間対応型訪問介護サービスの充足率が低い要因
 - ・在宅介護に対する所見
 - ・介護サービス利用希望者への周知方法
 - ・在宅福祉の充実に向けた決意

等について

安住 太伸委員（自民）から、

- 1 障がい特性を踏まえた新型コロナワクチン接種について
 - ・個々の障がい特性ごとに必要となる配慮の捉え方と予測される課題
 - ・手話通訳者手配の見通し
 - ・大津市における事例の認識と本道での対応の可否
 - ・今後の接種体制構築の展開方法
- 2 新型コロナウイルス感染症の後遺症について
 - ・後遺障がいの発生状況
 - ・和歌山県の調査結果
 - ・国立国際医療センターの調査結果
 - ・ヒラハタクリニックの調査結果からの実態報告内容
 - ・慢性疲労症候群の認識と受け止め及び対応方

法

- ・後遺症に備えた案内の配付や相談窓口開設に対する見解
- ・今後の対応

3 保健所設置市等との連携強化によるコロナ感染症対策について

- ・関係者間の意思疎通に対する認識
- ・各補助事業の内容と申請の受理月日
- ・旭医大における受入れ病床確保の経緯及び11月10日時点の病床確保状況
- ・病床確保に係る認識
- ・フェーズの切替えに対する旭医大の対応
- ・補助金の執行状況
- ・旭医大との病床確保に係る意思疎通への認識
- ・補助要綱の意味
- ・旭医大への認識と今後の対応

等について

赤根 広介委員（結志） から、

1 新型コロナウイルス感染症対策と保健福祉政策について

- ・過料が科される状況と対応方法
- ・発熱患者等の診療・検査医療機関の今後の指定見通し
- ・PCR検査体制拡充の方法
- ・変異株の検査体制整備方法
- ・試薬確保の見通しと保健所への配分方法及び簡易検査に対応できるPCR検査機の整備状況
- ・陽性コントロールの意味
- ・変異株感染患者の入院治療体制と今後の病床確保に係る対処方法
- ・病床確保数に対する利用数と率のピーク状況
- ・確保病床の運営見込み
- ・苫小牧市立病院における新規患者受入れ停止事態等の受け止めと医療崩壊を防ぐための対処方法
- ・感染症病床確保促進事業費対象医療機関への補助金支出の見通しと経営状況の把握方法
- ・無病床医療機関の経営状況の把握方法
- ・患者の受入れや搬送体制の課題に対する認識と今後の体制整備への取組
- ・日本医師会災害医療チームの派遣手続と派遣実績及び派遣の課題と今後の取組
- ・感染防護具の備蓄状況と保管方法や配付の状況及び今後の備蓄事業の考え方

- ・ワクチン接種計画策定に対する意見と計画策定状況
- ・道内の円滑なワクチン接種体制整備に向けた取組方法
- ・看護師等養成所における課題と新年度の取組
- ・ひきこもり状態にある人の実態把握の方法とこれまでの関わり及び人数
- ・新年度における生活困窮者対策
- ・本道における特定妊婦の判断方法と状況推移
- ・今後の特定妊婦の把握や支援の取組
- ・感染症患者発生時の保健所体制の課題と改善方法及び人材確保の目的と人数
- ・知見の共有への取組方法
- ・庁内体制強化の内容と衛生研究所感染症部の人員増加の有無
- ・新組織における危機対策機能の有無
- ・新型コロナウイルス感染症を克服する体制構築への取組

等について

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、保健福祉部次長、地域医療推進局長、健康安全局長、健康安全局次長、福祉局長、子ども未来推進局長、総務課政策調整担当課長、総務課参事、地域医療課長、地域医療課医療参事兼医務薬務課医療参事兼地域保健課医療参事、医務薬務課長、地域保健課長、地域保健課参事、地域保健課保健活動支援担当課長、地域福祉課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課長、障がい者保健福祉課精神保健担当課長、高齢者保健福祉課長、子ども子育て支援課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日（木） 開議 午前10時1分
散会 午後5時6分
第1委員会室
第1分科委員長
太田 憲之（自民）

① 保健福祉部所管に対する質疑を継続し、**檜垣 尚子委員（自民）** から、

- 1 HPVワクチン接種について
 - ・積極的な勧奨が差し控えられた経緯
 - ・市町村における個別通知等周知の取組状況
 - ・接種対象者等への健康教育の取組方法
 - ・今後の取組
- 2 ライフデザイン教育について
 - ・出前講座の内容と実施状況

- ・新たなカリキュラムの内容と意識醸成の方法
- ・今後の取組

等について

安藤 邦夫委員（公明）から、

- 1 コロナ禍における在宅高齢者の巣ごもり対策について
 - ・これまでの支援と道内市町村における取組状況
 - ・課題の認識
 - ・今後の取組
- 2 生活困窮者への支援について
 - ・生活困窮者自立支援法制定の背景
 - ・法施行以降の取組
 - ・今後の取組
- 3 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・この1年間の感染症対策に関する所見
 - ・高齢者施設等への定期的なPCR検査実施に対する所見
 - ・変異株を早期に発見するための対応
 - ・入院医療体制強化への所見
 - ・保健所や対策本部指揮室の体制強化への所見
 - ・ワクチン接種の進め方
 - ・高齢者に対するワクチン接種の考え方
 - ・市町村支援に対する所見
 - ・後遺症対策への所見
 - ・公表基準の見直しに対する見解
 - ・医育大学等との連携に対する所見

等について

新沼 透委員（結志）から、

- 1 道立紋別高等看護学院について
 - ・看護職員の就業状況と需給見通し
 - ・看護職員養成施設への入学状況
 - ・道立高等看護学院の学生確保に向けた取組に対する所見
 - ・紋別高等看護学院の改修内容と生活環境の改善への所見

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、保健福祉部次長、健康安全局長、福祉局長、医務薬務課長、地域保健課長、地域保健課参事、地域福祉課長、高齢者保健福祉課長及び子ども子育て支援課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

宮下 准一委員（自民）から、

- 1 交通政策総合指針の次期重点戦略について
 - ・現行重点戦略との違い
 - ・ウイズコロナ戦略の内容と期待される成果
 - ・シームレス交通戦略の内容と期待される成果
 - ・交通分野における地球温暖化対策等の取組
 - ・実効性の担保
 - ・今後の取組
- 2 JR北海道の経営再建について
 - ・三セクが設置された経緯や目的と果たしてきた役割
 - ・取得する観光列車の車両編成と対象とした理由
 - ・JR北海道との協議状況と考え方
 - ・鉄道活性化協議会による取組
 - ・今後の取組
- 3 北海道新幹線の建設工事について
 - ・工事の進捗状況
 - ・北陸新幹線の工期が遅れている要因と北海道新幹線工事における課題
 - ・受入れ地の確保に向けた取組
- 4 動画を活用した道政広報について
 - ・現在の取組状況
 - ・職員が動画を作成する際の課題
 - ・今後の取組
- 5 情報通信基盤の活用について
 - ・全職員に配付する通信手段をスマートフォンとした理由
 - ・運用が開始されるまでのスケジュール
 - ・スマートフォンの使い道

等について

鈴木 一磨委員（民主）から、

- 1 道州制特区について
 - ・道の認識
 - ・国に提案し見送られている5項目の現状に対する所見
 - ・今後の取組
- 2 交通政策について
 - ・コロナ禍における運行路線の支援方策に対する所見
 - ・道内7空港特定運営事業者の計画変更に対する所見
 - ・不採算路線に対する公共交通網維持に向けた財政支援の構築に対する所見
 - ・JR北海道への支援策に係る地域関係者への説明内容

- ・黄色線区等における観光列車の活用とPR方法
 - ・鉄道維持のための取組
 - ・北海道新幹線札幌駅の工事内容と道としての対応
 - ・地方バス事業者への支援内容
 - ・赤字バス路線の補助制度改善を国に働きかけることへの所見
- 3 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・集中対策期間の考え方
 - ・改正特措法における蔓延防止等重点措置の適用基準
 - ・重点措置に係る事業や予算に対する所見
 - ・感染症封じ込め対策を重視した政策と当初予算編成に対する所見
 - ・道独自の対策

等について

吉川 隆雅委員（自民） から、

- 1 警戒ステージの運用について
- ・ステージ運用の考え方と札幌全域に時短要請するとした判断との整合性
 - ・集中対策期間解除の判断基準の設定に至る札幌市との折衝経緯
 - ・2月13日の時点で医療提供体制の負荷目安を定めなかった理由
 - ・札幌市とのデータ共有と共同での分析状況
 - ・感染が終息に向かう局面での運用に係る考え方
 - ・基準の設定理由
 - ・リスクコミュニケーションの認識と今後の対応
- 2 デジタル化の推進について
- ・北海道Society 5.0計画における取組方針と重点施策
 - ・新型コロナ感染症対策の取組内容
 - ・道内市町村のデジタル化推進に向けた考え
 - ・データ利活用の取組内容
 - ・北海道Society 5.0の実現に向けた今後の取組
 - ・新たに設置する次世代社会戦略局の取組内容
 - ・次世代社会戦略監の役割と制度的工夫
 - ・専門人材採用の概要と職務内容及び任期終了後の対応
 - ・計画的な人材の確保への見解
- 3 北海道総合計画の見直しについて

- ・中期的な施策の推進方向の内容と新たに計画に位置づけることになった趣旨
 - ・「めざす姿」を変更しない理由と見直し内容
 - ・喫緊の課題への対応
 - ・毎年度のローリングが必要と判断した考え方
 - ・道民等意見の反映方法
 - ・今後の取組
- 4 民間ノウハウ等の活用について
- ・民間資金の獲得実績
 - ・獲得手法別の資金活用実績
 - ・金融機関等からの出資・融資の獲得実績
 - ・ほっかいどう応援団会議への参加者数と取組状況
 - ・各部局への枠配分の状況
 - ・現状の受け止めと今後の取組

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 地方財政の確立について
- ・地方創生推進交付金に係る地方負担財源確保に対する所見
 - ・市町村の緊縮財政に対する所見
 - ・庁舎機能保全の財源確保に向けた所見
 - ・夕張市への支援

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・メールや面談メモなどの記録を保存していない理由
 - ・感染傾向の把握に係る工夫
 - ・指標の見直しに対する考え
 - ・実行再生産数の有効性に対する認識とモニタリング指標として活用することに対する見解
 - ・展開方向や基本方針の見直しに対する見解
 - ・道条例制定への所見
 - ・蔓延防止等重点措置の要請の考え方
 - ・要綱への反映に時間がかかっている理由
 - ・集中対策期間が延長となった原因と結果責任への所見
 - ・感染再拡大防止の実効性を高めるための道民へのメッセージの内容
- 2 地方創生について
- ・本道在住外国人の直近の状況
 - ・外国人の受入れ体制整備に当たっての課題と対応
 - ・北海道外国人相談センターへの相談件数と内

容及び対応状況

- ・多文化共生社会の推進に向けた今後の取組
- ・関係人口の創出に係るこれまでの取組状況
- ・U I J ターンの状態への認識
- ・移住定住の促進に向けた情報発信の取組
- ・ワーケーションにおける本道の強みと弱みの認識
- ・先進的な取組の実施とワーケーションプラン策定件数の目標及び発信方法
- ・ワンストップ窓口やコーディネーターの担い手と目標値設定への所見及び今後の取組
- ・北海道創生総合戦略の見直しと今後の推進方法

3 交通政策について

- ・交通事業者利用促進事業の概要と利用者からの意見及び事業実施の方針
- ・J R 北海道の事業範囲見直し問題に対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、知事室次長、政策局長、国際局長、情報統計局長、地域創生局長兼官民連携推進室長、地域行政局長、交通政策局長、航空局長、政策局次長、交通政策局次長、政策局計画推進担当局長、交通政策局新幹線推進室長、航空局空港戦略担当局長、広報広聴課広報担当課長、官民連携推進室参事、政策局参事、計画推進課長、国際課多文化共生担当課長、情報政策課長、情報政策課情報基盤担当課長、情報政策課ICT推進担当課長、地域政策課移住交流担当課長、市町村課財政・公営企業担当課長、行政連携課長、交通企画課長、交通企画課鉄道交通担当課長、交通企画課鉄道支援担当課長、交通企画課交通・物流担当課長、新幹線推進室参事及び航空課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月19日（金） 開議 午前10時1分
閉会 午後5時1分
第1委員会室
第1分科委員長
太田 憲之（自民）

① 総合政策部所管に対する質疑を継続し、 安藤 邦夫委員（公明）から、

- 1 地域公共交通計画策定支援事業について
 - ・地域公共交通活性化再生法改正に係る対応
 - ・広域的な計画策定の意図と考え方
 - ・来年度以降の進め方
 - ・今後の対応

2 鉄道利用促進環境整備事業について

- ・観光列車導入の狙い
- ・地域と連携した取組の進め方

3 コロナ禍における地域交通の確保などについて

- ・公共交通利用者の推移
- ・交通事業者からの要望への対応
- ・今後の地域交通確保に向けた取組

4 航空政策について

- ・本道の航空路線や旅客数の状況
- ・事業計画における旅客数の考え方
- ・国際線運行再開の見通し
- ・事業計画の受け止め
- ・投資の考え方
- ・空港の安全性が損なわれる可能性
- ・北海道エアポートの取組
- ・需要回復に向けた取組
- ・今後の取組

5 日本海地域の振興対策について

- ・地域の意向把握と総合計画の見直し及び政策への反映方法
- ・これまでの取組
- ・特定地域づくり事業協同組合制度の概要と道内での活用状況
- ・制度の周知方法と活用に向けた取組
- ・今後の取組
- ・市町村の創生総合戦略への支援

等について

平出 陽子委員（民主）から、

- 1 さらなる国際交流の推進について
 - ・留学生の現状と生活状況
 - ・外国人留学生に係る今後の取組
 - ・国際交流に尽力された方に対する認識
 - ・国際交流の推進に対する決意
- 2 北海道新幹線トンネル掘削工事における要対策土処分について
 - ・受入れ地の確保方法
 - ・処分方法の決定方法
 - ・今後の対応

等について

新沼 透委員（結志）から、

- 1 丘珠一紋別路線就航に向けた取組について
 - ・トライアルチャーター実証実験の実績と結果の評価
 - ・路線開設に向けた取組状況

- ・紋別市が実施したトライアル運航に対する所見
- ・路線開設に向けた課題と今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、国際局長、地域創生局長兼官民連携推進室長、交通政策局長、航空局長、交通政策局次長、交通政策局交通・物流連携担当局長、交通政策局新幹線推進室長、計画推進課長、国際課多文化共生担当課長、地域政策課長、交通企画課長、交通企画課鉄道交通担当課長、交通企画課交通・物流担当課長、新幹線推進室参事、航空課長及び航空課空港戦略担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、 星 克明委員（自民）から、

- 1 道職員の働き方改革について
 - ・在宅勤務における勤怠管理の状況と課題への対応
 - ・テレワークにおける職員の業務評価方法
 - ・今後の取組
- 2 札幌大の改修事業について
 - ・附属病院の整備状況
 - ・工期延長の背景と理由
 - ・新型コロナウイルス感染症患者への対応
 - ・今後の見通しと支援

等について

鈴木 一磨委員（民主）から、

- 1 防災体制の強化について
 - ・海上における油流出事故に備えた体制
 - ・油流出事故に対する対応
 - ・体制強化に対する見解と今後の対応
 - ・消防救急無線に係る必要経費の地域負担増に対する所見と維持管理に係る財政措置
 - ・将来の消防体制の在り方に対する所見
 - ・防災拠点施設の耐震化促進に向けた取組状況と財政措置
- 2 道庁等の感染症対策について
 - ・対策の状況と新年度予算の見込み
 - ・テレワークの実施状況と今後の取組
 - ・安全衛生委員会の開催状況と感染症対策検討状況及び感染症対策の取組状況
 - ・健康観察シートに対する所見
 - ・道庁クラスター発生後の取組

等について

吉川 隆雅委員（自民）から、

- 1 行財政運営方針について
 - ・国への要請結果
 - ・財政調整基金の積立て状況と確保に対する考え
 - ・実質公債費比率に対する認識と今後の取組
 - ・道債残高に対する認識と今後の対応
 - ・今後の財政運営
 - ・庁舎等のストックマネジメントの取組状況
 - ・職員住宅の利用状況
 - ・民間活力導入に係る今後の取組
 - ・執務スペースの有効活用に係る取組
 - ・庁舎等の温暖化対策
 - ・エビデンスに基づく政策展開に対する考えと背景

等について

武田 浩光委員（民主）から、

- 1 特殊勤務手当について
 - ・国が改正を行った趣旨
 - ・防疫救済作業手当の見直し内容とPCR検査を行う臨床検査技師に支給されない理由及び支給すべきとの考えに対する見解
- 2 札幌医科大学の運営について
 - ・附属病院の収支
 - ・職員数の増員に対する見解と人件費の負担先
 - ・道としての支援

等について

中野 秀敏委員（自民）から、

- 1 津波防災について
 - ・東日本大震災後の取組
 - ・市町村への情報提供に対する見解
 - ・被害想定を進め方
 - ・積雪寒冷期の避難における課題の認識
 - ・減災目標の策定に係る見解
- 2 道有財産の活用について
 - ・赤れんが庁舎のリニューアルに向けた改修工事の進捗状況と今後の取組
 - ・工事期間中の来訪者への対応
 - ・リニューアルオープンに向けた今後の取組
 - ・知事公邸の在り方に係る研究会の委員からの意見
 - ・知事公館の周辺環境に対する研究会での議論
 - ・知事公邸等の在り方に係る今後の検討
- 3 職員研修について
 - ・デジタルスキル向上に向けた研修の状況
 - ・E B P M推進に必要な人材の育成に係る取組

- ・研修成果の把握と活用方法
 - ・指名研修に対する見解
 - ・今後の対応
- 4 職員の健康観察について
- ・健康観察シートの概要と利用方法
 - ・健康観察シートの利用状況と効果
 - ・教育庁が導入したアプリに対する認識と道として活用する考え
 - ・今後の対応

等について

新沼 透委員（結志） から、

- 1 職員のワークライフバランスについて
- ・男性の育児休業取得者と育児休業取得率の推移
 - ・育児休業の取得促進に向けたこれまでの取組と目標値の根拠
 - ・目標達成に向けた取組
 - ・育児休業の取得率向上に向けた所見
 - ・感染症関連業務の時間外勤務命令の取扱い
 - ・指揮室における時間外勤務の実態と超過勤務が最も多かった職員の時間数
 - ・時間外勤務が100時間を超える場合の面接指導数とその結果
 - ・感染症対策と職員の健康管理のバランス

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 行財政運営の基本方針について
- ・現行方針の達成状況と評価
 - ・財政健全化に向けた目標の設定に対する見解
 - ・S m a r t道庁の取組を踏まえた目標の設定
 - ・全庁的な組織運営

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 S m a r t道庁について
- ・職員説明会の内容
 - ・広報動画作成の目的と内容
 - ・説明会の成果に対する認識とその理由
 - ・オフィス改革の取組に対する評価
 - ・オフィス改革の周知方法と取組の浸透状況
 - ・来年度の取組
- 2 押印等の見直しについて
- ・見直しの着手状況と対象となる手続数及び実施状況
 - ・オンライン申請が可能な手続
 - ・今後の取組

- 3 公文書管理等について
- ・電子決裁率の推移とこれまでの取組
 - ・電子決裁率の向上策とその見込み
 - ・会議録作成システムの導入状況と成果や課題に対する認識及び今後の取組
 - ・メールや面談メモなどの記録を保存することに対する見解
 - ・公文書管理条例の検討状況と条例制定に対する認識

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、総務部次長兼行政局長、人事局長、財政局長、法人局長、危機対策局長、総務課長、文書課長、財産課長、改革推進課長、人事課長、人事課職員活躍担当課長兼人事局参事、人事課給与服務担当課長、職員厚生課長、財政課長、財政課資金担当課長、独立行政法人課長、危機対策課長及び危機対策課消防担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分科会

○3月12日（金） 開会 午後3時50分
散会 午後3時59分
第2委員会室
第2分科委員長
松山 丈史（民主）

- ① 分科委員長に松山丈史委員（民主）、分科副委員長に丸岩浩二委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、大越農子委員（自民）、松本将門委員（民主）、佐藤伸弥委員（結志）、阿知良寛美委員（公明）を選出。

○3月17日（水） 開議 午前10時3分
散会 午後4時34分
第2委員会室
第2分科委員長
松山 丈史（民主）

- ① 企業局所管に対する質疑に入り、

植村 真美委員（自民） から、

1 再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取組について

- ・地域の取組に対するこれまでの対応
- ・地域新エネルギー導入アドバイザー制度の実績と今後の進め方
- ・沼の沢取水堰発電所の設置に至った経緯と活用方法
- ・取組促進への課題と今後の対応
- ・これまでの技術者育成に向けた取組
- ・教育機関との連携方法と全道的な展開に向けた見解
- ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者、企業局長、企業局次長及び発電課長から答弁があつて、企業局所管に関する質疑を終結。

② **建設部所管に対する質疑**に入り、

植村 真美委員（自民） から、

1 赤れんが庁舎の改修工事について

- ・具体的な工事の内容
- ・工期延長の期間
- ・重要文化財の工事に当たって専門家の意見を聞く場を設けるといった慎重な対応が必要との考えに係る所見
- ・防火対策に対する考え
- ・工事中の観光客への配慮に対する考え
- ・施設の利活用を考慮した工事の進め方
- ・魅力を高めるための取組

2 建設分野における温室効果ガス排出削減について

- ・混合セメントの温室効果ガス排出削減効果と利用促進に向けた取組
- ・混合セメントの公共工事での調達実績と調達の拡大見込み
- ・新しい技術を用いた製品の使用を促す取組に対する認識
- ・今後の取組

3 北海道土地開発公社について

- ・安定的な事業運営に取り組むための考え方
- ・長期保有地の処分が進まない要因
- ・今後の道単独事業用地と公社自主事業用地の処分策
- ・公社自主事業用地の簿価と処分価格の差額への対応

- ・方策に沿った今後の取組と目指す姿
- 4 道道における冬期の安全対策について
- ・これまでの対策の実施状況
 - ・安全施設の状況調査の実施方法
 - ・新技術の活用に対する見解
 - ・防雪対策の今後の取組

等について

小泉 真志委員（民主） から、

1 道立都市公園のバリアフリー化について

- ・利用状況と幼保、小、中、高等学校及び特別支援学校の利用状況
- ・今後の利用促進に向けた課題と対応
- ・トイレの設置基準や現状及び認識
- ・車椅子用トイレの実態や認識
- ・トイレや洗面所等の設計の考え方に対する道立都市公園における運用の見解
- ・駐車場の設置基準や現状及び認識
- ・車椅子用駐車施設についての見解と今後の対応
- ・バリアフリー法改正などに対する所見

2 ゼロカーボン北海道について

- ・建設部が行った第2次北海道地球温暖化対策推進計画に係る取組内容の検証と評価
- ・第2次北海道地球温暖化対策推進計画に基づく施策の取組状況と課題及び第3次北海道地球温暖化計画への反映方法とゼロカーボン北海道宣言による影響
- ・第3次北海道地球温暖化対策推進計画の中期目標であるCO₂削減を達成できる見通しへの所見
- ・今後の取組

等について

佐藤 伸弥委員（結志） から、

1 災害復旧について

- ・平成28年8月に発生した災害の復旧状況に係る道所管分と市町村所管分のそれぞれの箇所数及び進捗状況
- ・令和2年に発生した災害の道所管分と市町村所管分のそれぞれの箇所数及び被害額
- ・災害発生から復旧までの一般的な手続の流れ及び要する期間
- ・早期復旧に向けた取組
- ・災害査定に向けた作業の効率化に対する所見
- ・災害対応に必要な人材育成や市町村への支援などに対する取組

- ・今後の取組
- 2 北海道耐震改修促進計画の見直しについて
 - ・多数利用建築物の耐震化率の推移
 - ・目標未達成の要因
 - ・住宅の目標設定の考え方
 - ・新たな計画における施策の内容
 - ・新たな施策の具体的な取組
 - ・目標達成に向けた今後の取組

等について

松本 将門委員（民主） から、

- 1 公共工事の生産性向上に向けたICTの活用について
 - ・建設部発注工事における工事の取組状況
 - ・施工管理業務等における取組状況
 - ・アンケート調査における課題
 - ・今後の取組
 - ・ICTの活用等により生産性向上や労働環境改善を進めることが重要との考えに対する認識及び今後の取組
- 2 建設業における担い手確保、育成について
 - ・建設業担い手対策支援事業の内容と対応方法及び今後の取組
 - ・情報発信、育成方法習得研修会の今年度の実施内容と今後の取組
 - ・解体工事の技術者要件に係る経過措置に対する対応
 - ・建設産業の現状認識と今後の取組
- 3 ダムカードの利活用について
 - ・ダムカードの作成と配布の目的
 - ・配布の方法と実績
 - ・ネーミングライツ事業における作成枚数及び配布方法
 - ・クラウドファンディング事業の内容
 - ・民間資金を活用した事業の地域活性化

等について

森 成之委員（公明） から、

- 1 道路の機能向上について
 - ・本道の高規格幹線道路ネットワークの必要性及び整備状況
 - ・暫定2車線区間の現状と課題
 - ・4車線化の取組状況
 - ・ワイヤロープの取組状況
 - ・追加インターチェンジの取組状況
 - ・サービスエリアやパーキングエリアの充実に向けた取組状況及び見解

- ・道の駅の設置状況
 - ・道の駅の役割に係る認識
 - ・防災拠点としての活用に向けた取組
 - ・地域振興の活用取組への支援も必要との考えに対する見解
 - ・道の駅の活用に向けた今後の取組
- 2 有珠山の火山活動について
 - ・地震の場所や規模と回数などの現在の状況
 - ・道路パトロールなどによる現地の確認方法と現在の状況
 - ・噴火時に対する防災体制
 - ・関係機関との連携及び情報共有の方法
 - ・今後の噴火対策

等について

池端 英昭委員（民主） から、

- 1 防災・減災対策、国土強靱化について
 - ・津波に備えたハード対策に係る取組内容
 - ・土砂災害を防ぐための施設整備や危険箇所を明らかにしていくことが必要であるとの考えに対する取組
 - ・津波浸水想定公表時期が6月にずれ込んだ理由
 - ・津波災害警戒区域の指定状況と新たに指定された市町村への影響及び不利益が生じる可能性の認識
 - ・市町村における津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画の把握状況と市町村との連携方法
 - ・河川改修の進め方
 - ・河川の整備状況
 - ・河川の氾濫を未然に防ぐための維持管理の取組
 - ・災害級の大雪に対する除雪の対応
 - ・広域道路ネットワーク整備に係る国の対応を含めた認識
 - ・道路整備に係る認識と改修の考え方
 - ・自転車道などの取組状況
 - ・自転車通行部分の整備状況
 - ・車道の青色矢印の設定理由と今後の進め方
 - ・新年度における橋梁やトンネルの整備への取組
 - ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建設部建築企画監、建設部次長、土木局長、住宅局長、建設政策局施設保全防災担当局長、建設政策局建設業担当局長、建築局施設整備担当局長

長、総務課用地担当課長、建設政策課政策調整担当課長、維持管理防災課長、維持管理防災課維持担当課長、建設管理課長、建設管理課建設業担当課長、建設管理課技術管理担当課長、道路課長、道路課高速道・市町村道担当課長、河川砂防課長、河川砂防課砂防災害担当課長、都市環境課公園下水道担当課長、建築指導課長、建築指導課建築安全担当課長及び建築整備課大規模施設整備担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

③ 環境生活部所管に対する質疑に入り、

大越 農子委員（自民）から、

- 1 地球温暖化対策について
 - ・削減目標の具体的な考え方
 - ・原子力発電に対する考え方を示すことへの見解
 - ・補助指標において目標年を統一することへの見解
 - ・地球温暖化対策推進本部のプロジェクトチームの構成と関係部局との連携及び各地域への浸透方法
 - ・脱炭素モデル地域構築調査検討事業の概要と次年度以降の展開方針
 - ・行動変容促進事業の概要と展開方針
 - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた今後の取組
- 2 エゾシカ対策について
 - ・昨年度に個体数が増加に転じた結果の分析と対応方針
 - ・シカ捕獲認証制度資格取得者の推移と受け止め及び普及促進に向けた今後の取組
 - ・エゾシカ肉処理施設認証制度の現状に対する受け止めと対応方針
 - ・国との支援策に係る協議状況
 - ・今後の取組
- 3 水道事業の対策について
 - ・各水道事業者に対する主要な水道施設の点検調査の指導状況
 - ・美唄市の断水事故の調査結果を情報共有することに対する見解
 - ・水道事業者の断水被害への対応対策などさらなる情報共有に対する見解
 - ・主要な水道施設の強度等の調査を全道で行うことや大規模な断水発生時の協力体制を検討することに対する見解
- 4 地域スポーツによる地方創生について

- ・これまでの取組
 - ・武道ツーリズムに係る所見
 - ・都市型スポーツに対する認識と今後の取組
- 5 女性活躍社会の推進について
 - ・審議会等における女性委員の登用率40%以上の目標達成に向けたこれまでの取組
 - ・女性の社会参画拡大に向けた取組状況
 - ・女性の声を伺うあらゆる機会の具体例と拾い上げた声の活用に向けた所見
 - ・今後の取組

等について

小泉 真志委員（民主）から、

- 1 エゾシカジビエ利用拡大推進事業について
 - ・平成30年度と令和元年度事業のそれぞれの成果と課題
 - ・成果と課題を踏まえた取組の改善内容
 - ・利用拡大推進に対する認識
 - ・事業の開始前後におけるエゾシカ肉の需給バランスの変化
 - ・消費拡大の取組内容と利用拡大推進に必要な事項及びこれまでの取組内容
 - ・エゾシカ肉処理施設の必要性
 - ・エゾシカ肉処理認証施設制度のメリットとデメリット及びデメリットへの対策と認証施設増の意向の有無
 - ・稼ぐジビエマーケティングモデル創出事業で目指す認証肉のG I 登録の具体的内容
 - ・本事業とG I 登録とは相入れないとの見解に対する所見
 - ・本事業のフレームを変えることに対する所見
- 2 石綿調査者の育成について
 - ・道内の石綿を使った可能性のある建物の想定数
 - ・建物体解体後の石綿飛散防止の対応方針
 - ・建築物石綿含有建材調査者または日本アスベスト調査診断協会への登録者数と現状に対する認識
 - ・建築物石綿含有建材調査者の育成方針
 - ・VRを活用した調査者育成に対する所見
- 3 悪質商法による消費者被害について
 - ・道内における販売預託商法や詐欺的な定期購入商法の被害実態と対応
 - ・高齢者からの消費生活相談の割合の増加に対する認識と今後の対応
 - ・事業者が解約や返品に応じない事例と返品に

応じない会社に対する対応

- ・啓発活動の現状と今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境局長、くらし安全局長、スポーツ局長兼東京オリンピック連携局長兼東京オリンピック連携局競技開催支援担当局長、環境局気候変動対策担当局長、環境局自然環境担当局長、環境政策課水道担当課長、循環型社会推進課環境保全担当課長、気候変動対策課長、自然環境課エゾシカ担当課長、道民生活課女性支援室長、消費者安全課長及びスポーツ振興課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日(木) 開議 午前10時2分
散会 午後5時4分
第2委員会室
第2分科委員長
松山 丈史(民主)

① 環境生活部所管に対する質疑を継続し、

丸岩 浩二委員(自民)から、

1 アイヌ政策について

- ・アイヌの人たちの生活実態調査結果に対する認識と対応方針
- ・教育への支援内容と利用状況及び課題
- ・アイヌ政策推進方策におけるアイヌ文化振興の位置づけと展開方向
- ・アイヌの人たちのSDGsの視点での捉え方
- ・アイヌ語を保存伝承するための取組内容
- ・アイヌの人たちを正しく理解するための取組方針
- ・今回の不適切なアイヌ関連放送への対応内容
- ・ウポポイを全道域の取組へとつなげるための考え方
- ・アイヌ政策推進方策の策定内容と今後の取組内容

2 アライグマ対策について

- ・アライグマ根絶モデル実証事業の今年度の実施状況
- ・地域連携の進捗状況
- ・今年の春期捕獲の予定
- ・今後の対応

等について

池端 英昭委員(民主)から、

1 カーボンニュートラルの実現について

- ・ゼロカーボン北海道の表明に対する基本的な考え方

- ・事業者や道民向けの普及啓発に係るこれまでの取組と今後の取組
- ・技術開発から社会実装までの一貫した支援を行うことに対する所見
- ・ゼロカーボン北海道の推進体制
- ・今後のカーボンオフセット制度の位置づけ
- ・ロードマップ改定を踏まえた今後の水素社会実現に向けた取組
- ・森林整備やCCS技術などのCO₂吸収源対策の取組をより推進することへの所見
- ・発電事業における温室効果ガス排出削減に対する所見
- ・今後の取組

2 東京オリンピックの札幌開催について

- ・競技実施に向けた準備状況
- ・大会運営に係る人権配慮の心がけ
- ・道内の聖火ランナーの選考に当たっての性的指向に対する配慮の有無
- ・アスリート等に対する感染症対策の内容
- ・マラソンや競歩競技における観客の取扱い
- ・聖火リレーで道内を走る著名人ランナーの状況及び走行ルートを発表時期と密集対策
- ・マラソンフェスティバルの概要と対応
- ・大会開催の効果を全道へ波及させる取組
- ・万全な感染症対策はレガシーではなく必須要件であるとの考え及び安全安心な北海道を発信し本道の活性化に結びつけることは時期尚早であるとの考えに対する所見

3 アイヌ政策について

- ・アイヌの生活実態や課題に対する認識
- ・アイヌ文化の魅力発信に係るこれまでの取組
- ・魅力発信を通じた地域振興や観光振興等の取組状況
- ・民放の情報番組における不適切な放送に対する受け止めと課題解決に向けた取組方向
- ・今後の目指す姿

等について

花崎 勝委員(自民)から、

1 自然公園の保全活用について

- ・公園内における火災の発生状況と火の取扱いルールや火災予防対策
- ・公園の利用者数及び国立・国定・道立の公園別の利用者数の推移と新型コロナウイルス感染症の影響に対する見解
- ・道内の国立公園施設の整備状況と今後の見通

し

- ・道が管理する自然公園施設の整備状況と今後の見通し
 - ・国立・国定公園の指定によるメリットと道としての取組方向
 - ・今後の取組
- 2 野幌森林公園エリアの活性化について
- ・北海道博物館の魅力向上に向けたこれまでの取組と成果及びウポポイとの連携状況
 - ・北海道開拓の村の活用に向けたこれまでの取組と成果及び課題
 - ・野幌森林公園の利用促進等に向けたこれまでの取組と利用状況及び野生生物への対応や利用者の安全確保の状況
 - ・北海道百年記念塔の保存を求める意見への対応と今後の取組
 - ・博物館等の入場者数の前年比較と現在の感染防止対策及び新年度の対策方針
 - ・今後の取組

等について

佐藤 伸弥委員（結志） から、

- 1 文化振興について
- ・ふるさと納税制度の寄附金額と受け止め
 - ・文化芸術活動支援事業の実施状況
 - ・舞台芸術活動の現時点の状況に対する認識と関係者からの意見の内容
 - ・文化芸術活動支援事業費の新年度の事業内容
 - ・今後の取組
- 2 オリンピック・パラリンピックについて
- ・聖火リレーの具体的な内容
 - ・感染症対策
 - ・道内の聖火リレーの準備状況とウポポイでの式典の内容
 - ・ホストタウン登録状況と合宿の受入れ状況
 - ・ホストタウンの感染症対策
 - ・地域の取組内容と支援方針
 - ・札幌チャレンジハーフマラソン2021における取組内容
 - ・観客の有無による影響
 - ・ボランティアの応募状況と道職員の参加状況及び感染症対策
 - ・安全安心な大会運営への取組状況
 - ・関係者間の連携状況
 - ・魅力発信とレガシー継承の取組方向
 - ・札幌開催におけるコスト削減見直しの反映状

況

- ・禁煙対策の状況
 - ・今後の取組
- 3 環境政策について
- ・脱炭素化に向けた取組の詳細と見込まれる成果
 - ・行動変容の促進に向けた認識と取組
 - ・2050年までの脱炭素社会の実現を道条例に明記することに対する所見
 - ・気候変動適応センターの形態と今後の運営方針
 - ・道として気候非常事態宣言を表明することに対する見解
 - ・宣言を表明することに対する見解
 - ・今後の取組

等について

吉田 正人委員（自民） から、

- 1 プラスチックの循環利用について
- ・道内の排出量やリサイクル率の推移
 - ・廃プラスチック類の主なリサイクルの状況
 - ・本道におけるサーマルリサイクル等の割合
 - ・排出量の削減やリサイクル率の向上に向けた目標設定とこれまでの取組及びその成果と課題
 - ・新法への対応
 - ・使い捨てマスクなど新たな課題への対応
 - ・今後の取組
 - ・プラスチックごみリサイクルの研究の必要性

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

- 1 水道事業について
- ・美唄市の断水事故の概要
 - ・日本水道協会北海道地方支部との応援協定に基づく10市の水道事業者などによる支援内容と道による支援の内容
 - ・今後の復旧工事と原因調査の予定
 - ・水道施設の適切な資産管理に係る今年度の道の取組
 - ・今後の取組

等について

島山 みのり委員（民主） から、

- 1 悪質クレーム（カスタマーハラスメント）について
- ・消費者と事業者の適切なコミュニケーションに向けた啓発に係るこれまでの取組と今後の

- 取組方針
- 2 男女平等の取組状況について
 - ・各市町村の最新の男女平等参画基本計画策定率と現状に対する認識
 - ・市町村の計画策定支援の取組
- 3 配偶者暴力（DV）対応について
 - ・相談内容
 - ・一時保護の判断基準
 - ・民間シェルターに対する今後の支援の方向性
- 4 性犯罪・性暴力被害者支援の更なる充実について
 - ・加害者の傾向や被害者の年齢
 - ・医療費等公費負担制度の運営状況
 - ・公費負担制度の適用条件と情報交換の場を設けることに対する見解
- 5 「性的マイノリティへの理解促進」について
 - ・理解促進に向けた具体的な取組内容
 - ・施策の方向性の考え方
 - ・判決結果による施策の方向性への影響

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部アイヌ政策監、環境生活部東京オリンピック連携推進監、環境局長、くらし安全局長、文化局長、スポーツ局長兼東京オリンピック連携局長兼東京オリンピック連携局競技開催支援担当局長、アイヌ政策推進局長、環境局気候変動対策担当局長、環境局自然環境担当局長、環境政策課水道担当課長、循環型社会推進課長、気候変動対策課長、自然環境課長、自然環境課自然公園担当課長、道民生活課女性支援室長、消費者安全課長、文化振興課長兼アイヌ政策課歴史文化担当課長、スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック連携室長兼東京オリンピック連携課競技開催支援担当課長、東京オリンピック連携課長及びアイヌ政策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

植村 真美委員（自民）から、

- 1 学校における働き方改革について
 - ・依然として過半数の教職員が1か月45時間以上の時間外勤務を行っていることに対する受け止め及び3年間における取組の成果
 - ・出退勤管理システムの整備の見直し
 - ・アクション・プランの取組における課題及び要因
 - ・課題への取組
 - ・新たなプランの狙い及び取組期間や指標設定の考え方

- ・教頭の業務負担解消やスクールロイヤー配置に係る具体的な取組及びスケジュール
 - ・部活動の地域への移行に伴う実践研究の課題及び実施方法
 - ・今後の取組
- 2 幼児教育の推進について
 - ・モデル事業の取組
 - ・幼稚園や認定こども園等と小学校の連携における道教委の関わり及び幼小連携・接続の現状に対する認識並びに課題やその要因
 - ・モデル事業の成果や手引に掲載する内容
 - ・幼児教育の充実に向けた今後の取組
 - 3 地学協働活動の推進について
 - ・高等学校OPENプロジェクトの成果及び課題
 - ・地学協働活動推進実証事業の概要及び重点
 - ・推進体制及び組織の名称に対する思い
 - ・高等学校OPENプロジェクトの取組拡大策及び地学協働活動推進実証事業の展開
 - ・今後の取組
 - 4 教職員の不祥事防止について
 - ・令和元年度における全国及び全道の教育職員の懲戒処分等の状況
 - ・わいせつ事故が後を絶たない状況に対する道教委の受け止め及び事故の要因分析
 - ・昨年6月と8月に改定された指針の内容及びその背景並びにわいせつ事案の標準的な処分例
 - ・ここ10年で最も懲戒処分の多い年度及び免職処分の多い年度並びにそれらの年度における防止対策と効果などの受け止め
 - ・今後の取組
 - 5 学校における食育の推進について
 - ・小中学生の食生活の現状及び課題
 - ・これまでの取組内容及びコロナ禍での各学校と教育局における連携策
 - ・家庭へのアプローチを行うためさらなる工夫が必要と考えることに対する見解
 - ・今後の取組
 - 6 ウィンタースポーツの推進について
 - ・ウィンタースポーツ実施に対する考え方及び体育における実施状況
 - ・地域格差でウィンタースポーツができなくなっている状況に対する受け止め
 - ・障がい者のウィンタースポーツの考え及びオ

リパラ教育の取組状況

・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、生涯学習推進局長、学校教育局長、教職員局長、総務課法制・公務管理担当課長、生涯学習課長兼生涯学習推進センター所長、幼児教育推進センター長、高校教育課長兼ICT教育推進課長、健康・体育課長及び教職員課働き方改革担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月19日(金) 開議 午前10時3分
閉会 午後3時38分
第2委員会室
第2分科委員長
松山 丈史(民主)

① 教育委員会所管に対する質疑を継続し、

小泉 真志委員(民主)から、

- 1 地域創生に向けた高等学校の在り方について
 - ・地域連携特例校を導入する明確な基準
 - ・地域連携特例校を導入した場合のメリット及びデメリット
 - ・地域連携特例校に認定されない学校における開設科目の差
 - ・従来の地域連携特例校と新年度からの地域連携特例校における開設科目の差
 - ・遠隔授業配信導入への期待及び不安視されている点
 - ・地域連携特例校と通常の1学年1学級を比較した場合のメリット及びデメリットに対する認識
 - ・教育格差是正に向けた取組
 - ・1学年1学級校に対しても遠隔授業または交流授業を展開すべきとの考えに対する見解
- 2 子どもを性被害から守る取組について
 - ・2011年から2020年度の学校職員の懲戒処分におけるわいせつ事案件数
 - ・相談窓口の状況
 - ・わいせつ行為から子どもたちを守るための取組及び課題並びに課題解決に向けた今後の取組
 - ・専門窓口の設置に対する見解
 - ・訴えがあつた際に事実認定ができないことへの対応
 - ・オンブズパーソン制度を早急に設置すべきと

の考えに対する所見

- 3 児童・生徒の自殺について
 - ・自殺のリスクに対する道教委の対応
 - ・自殺予防プログラムの検証状況及びその他の対応策
 - ・SOSを受け止めた際にどうしてよいのか分からない教員への対応及び診療内科等へのつなぎの周知
 - ・精神不調アセスメントツールを導入して早急に調査研究すべきとの考えに対する所見
- 4 スクールロイヤーについて
 - ・導入目的と経緯
 - ・効果の検証状況及び検証結果
 - ・制度設計
 - ・トラブルの具体的事案及びスクールロイヤーに委ねる案件内容
 - ・任用形態と選択理由
 - ・事務所相談型を導入することにより想定される懸念事項
 - ・スクールロイヤーが本人に会うことが必須であるとの考えに対する所見

等について

大越 農子委員(自民)から、

- 1 マイスター・ハイスクールについて
 - ・建築・土木業界からの専門高校新卒者に対する求人が高い状況であるのに建築や土木学科の定員が下回っている状況に対する認識
 - ・職業系の専門高校の在り方を抜本的に充実していかなければならないとの考えに対する所見
 - ・専門高校の取組の支援を行うことが重要との考えに対する所見
- 2 感染情報システム等の活用について
 - ・道内における学校等欠席者・感染症情報システムの加入状況
 - ・これまでの対応
 - ・統合型校務支援システムの運用状況及び効果
 - ・両システムの利用促進を支援することが重要との考えに対する見解
- 3 学習指導員等派遣事業について
 - ・道内における学習指導員及びスクールサポートスタッフの任用実績
 - ・学習指導員の職務内容及び効果に対する学校側の反応
 - ・スクールサポートスタッフの職務内容

- ・ボランティアバンクへの登録状況及びボランティアバンクを活用した任用事例
 - ・学習指導員の応募方法及び応募実績
 - ・道内における部活動指導員の任用実績及び効果並びに民間の活力を生かすことが重要との考えに対する見解
 - ・これまで以上に学習指導員等の任用を進めることや民間の活力を取り入れていくことが重要との考えに対する見解
- 4 公立学校のICT環境の整備について
- ・1人1台端末整備の進め方
 - ・道立高校の情報通信ネットワーク整備工事の概要及び進捗状況
 - ・市町村の取組状況及び1人1台端末の整備の進捗状況
 - ・道立学校におけるモバイルルーター整備の進め方及び家庭に貸し出す際のルール並びに市町村の状況
 - ・GIGAスクールサポーターの利用状況及び専門知識を有する者の配置も必要との考えに対する所見
 - ・取組を進めるに当たっての所見
- 5 高等学校における防災教育について
- ・これまでの取組状況
 - ・高等学校における1日防災学校の取組を踏まえた学習内容
 - ・北海道高校生防災サミットの狙い及び概要
 - ・今後の取組
- 6 英語教育の充実について
- ・今年度の調査の留意点及び中学生の英語力などの調査結果
 - ・結果の受け止め
 - ・課題の改善に向けた取組状況に対する認識
 - ・今年度の数値目標への取組状況に対する認識
 - ・今後の取組

等について

松本 将門委員（民主） から、

- 1 教職員の超勤・多忙化解消について
 - ・改正の見通しを含めた所見
 - ・具体的な指導内容
 - ・指導の成果及び指導に従わない学校数並びにその学校に対しての対応
 - ・適切な授業時数の定義
 - ・学校評価の実態及び今後の見通し
- 2 少人数学級について

- ・中学校への35人以下学級が整備された場合に必要となる教員数
 - ・教員養成課程大学の定員増の要望を国に行うことへの考え
 - ・交流学习や共同学習時に41人以上の児童生徒を1学級で指導している場面があることに対する認識
 - ・特別支援学級の学級編制に対する認識及び今後の対応
 - ・通常学級と特別支援学級の児童生徒数に応じた学級編制にしてほしいとの声に対する認識及び今後の対応
- 3 学校の新しい生活様式について
- ・出席停止措置後の学校に復帰する場合の基準
 - ・保護者からの不安の声に対する対応
 - ・ワクチン接種ができない児童生徒にPCR検査を実施すべきとの考えに対する見解

等について

藤沢 澄雄委員（自民） から、

- 1 コロナ禍における学校行事について
 - ・小中学校並びに高校の修学旅行の実施状況
 - ・修学旅行の実施校数
 - ・学校への指導状況
 - ・修学旅行の参加を取りやめた生徒の数
 - ・行き先や日程の変更内容
 - ・取消料への対応
 - ・新年度の生徒に対する実施方針
 - ・判断基準の検討に対する所見
 - ・部活動の活動状況と防止対策及び全道大会などの実施状況
 - ・卒入学式の具体的な見直し内容
 - ・今後の取組

等について

佐藤 伸弥委員（結志） から、

- 1 コロナ対応に関わる学校生活について
 - ・道独自のガイドラインを策定するなどより具体的な考えを示すべきとの考えに対する見解
 - ・学校現場で判断しやすく分かりやすいガイドラインの策定に対する見解
- 2 GIGAスクール構想について
 - ・学校などを対象にした研修の実施状況及び対象並びに実施回数
 - ・GIGAスクールサポーターの果たす役割と活用に向けた各市町村への支援策
 - ・人材確保に向けた認識

- ・タブレットの管理及び運用に対する認識
 - ・学校現場の不安解消に向けた考え
- 3 1年単位の変形労働時間制について
- ・制度導入の目的
 - ・制度を導入した場合の課題
 - ・制度の理解促進に向けた取組が必要との考えに対する見解
 - ・適切な制度運用に向けた取組
 - ・今後の取組

等について

阿知良 寛美委員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症の予防について
- ・子ども自らが感染予防の意識を高めるための指導方法
 - ・生活の制限がある中での健康づくりの進め方
 - ・来年度の授業時数の確保に向けた指導方法
 - ・陽性や濃厚接触者になった場合の子どもに対する指導内容
 - ・部活動等での指導方針
 - ・卒業式や入学式での対策
 - ・春休み中における指導
 - ・高校生へのワクチン接種の指導方法
 - ・オンラインによる健康観察の活用予定と今後の感染対策
 - ・来年度の取組
- 2 ICTの活用について
- ・全ての教員に対する研修方法
 - ・校内研修の進め方
 - ・校種別の研修方法
 - ・OSの違いへの対応
 - ・研修成果の可視化

等について

池端 英昭委員（民主） から、

- 1 GIGAスクール構想について
- ・基本的な認識
 - ・小中学校におけるICT環境の整備状況及び可動式電源キャビネット等への対応状況と端末更新時の費用確保の検討状況
 - ・校内通信ネットワークの整備状況と整備経費の財政支援の現状
 - ・ICT支援員等の人材確保状況
 - ・新年度におけるICT支援員等の確保に対する考え
 - ・整備に係る地方負担の現状
 - ・ロードマップの必要性に対する見解

- 2 SNS相談について
- ・相談件数と主な内容
 - ・子どもの自殺の未然防止効果に対する認識
 - ・相談員の増員の必要性及び対象を中学生まで広げる必要性に対する見解
 - ・現状に見合った増員を図るべきとの考えに対する所見
 - ・今後の対策

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、学校教育局長、学校教育局高校配置担当局長、学校教育局指導担当局長兼ICT教育推進局長、教職員局長、総務課法制・公務管理担当課長、教育政策課長、高校教育課長兼ICT教育推進課長、高校教育課企画・支援担当課長兼健康・体育課高校総体担当課長、義務教育課長兼ICT教育推進課ICT教育推進担当課長（義務教育）、義務教育課地域連携担当課長、教育環境支援課長兼教育環境支援課遠隔授業準備室長、健康・体育課長、生徒指導・学校安全課長、教職員課長及び教職員課働き方改革担当課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

第 3 分 科 会

○3月12日（金） 開会 午後3時52分
散会 午後4時
第3委員会室
第3分科委員長
内田 尊之（自民）

- ① 分科委員長に内田尊之委員（自民）、分科副委員長に藤川雅司委員（民主）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、浅野貴博委員（自民）、山根理広委員（民主）、中山智康委員（結志）、寺島信寿委員（公明）を選出。

○3月17日（水） 開議 午前10時2分
散会 午後5時40分
第3委員会室
第3分科委員長
内田 尊之（自民）

① **水産林務部所管に対する質疑**に入り、
渡邊 靖司委員（自民）から、

- 1 森林環境譲与税について
 - ・令和元年度の道内市町村への譲与額と活用内容
 - ・市町村が譲与税を全額基金へ積み立てる理由と活用状況の分析
 - ・市町村への支援の取組
 - ・今後の取組
- 2 スマート林業について
 - ・本道の森林や林業木材産業の特性とスマート林業の取組内容
 - ・おおよそ10年後の目標として掲げている将来像
 - ・将来像の実現に向けた展開方向の考え方
 - ・スマート林業の普及定着に向けた取組の必要性
- 3 水産物の輸出拡大について
 - ・昨年の道内からの輸出額
 - ・中国向けの輸出額が減少した理由
 - ・国が定めた輸出実行戦略の内容
 - ・国内外における水産物消費の動向
 - ・消費形態の変化への対応
 - ・今後の取組
- 4 漁業者等の経営安定対策について
 - ・漁業生産量と生産額のピーク時以降の推移及び令和2年における生産額の落ち込み状況
 - ・コロナ禍における漁業への影響
 - ・漁業者に対する経営支援策の実績と受け止め
 - ・漁業協同組合に対する経営支援策の実績と受け止め
 - ・令和3年度における具体的な対応
- 5 アキサケの資源回復について
 - ・ふ化放流計画の策定経過と種卵の確保に向けた対応方法
 - ・令和2年漁期における海域別の来遊予測とその実績
 - ・各海域における種卵の確保状況と海域間の調整方法
 - ・現在の来遊不振に対する受け止め
 - ・今後の取組

等について

山根 理広委員（民主）から、

- 1 水産政策及び放射性廃棄物処分場の影響につ

いて

- ・北海道水産業・漁村振興条例が果たしてきた役割と今後の取組
- ・第4期北海道水産業・漁村振興推進計画における施策内容
- ・北海道が日本の水産物供給基地として果たしてきた役割と評価
- ・栽培漁業の推進方向案の狙い
- ・漁業者等に対する今後の支援
- ・コロナ禍における水産物の道外移出・輸出に係る今後の取組
- ・核ゴミ政策に対する認識と各団体との連携
- ・NUMOによる核ゴミ最終処分場設置に向けた動きと北海道水産業・漁村振興条例との関係性及び消費拡大に及ぼす影響
- ・核ゴミ最終処分場による水産行政への影響と水産物への風評被害
- ・ALPS処理水の海洋放出による風評被害

等について

田中 芳憲委員（自民）から、

- 1 コロナ禍における林業・木材産業の振興について
 - ・製材の需要状況と受け止め
 - ・道産木材の利用拡大に向けた取組
 - ・道庁本庁舎ロビーの木質化に向けた取組と民間施設における道産木材利用拡大に向けた取組
 - ・森林づくりの担い手確保に向けた取組
 - ・北森カレッジの学生に対する就業促進の取組
 - ・森林活用型ワーケーション推進事業の概要
 - ・木育の推進に向けた今後の取組
 - ・豊かな森づくり推進事業の取組内容と国事業との関連性
 - ・植林作業の課題と省力化に向けた取組
 - ・優良種苗の安定供給に向けた取組
 - ・森林資源の循環利用の推進に向けた今後の取組

等について

藤川 雅司委員（民主）から、

- 1 森林吸収源対策の推進について
 - ・森林吸収源対策推進計画案における森林吸収量目標の算出方法
 - ・二酸化炭素を吸収する活力ある森林づくりに向けた進め方
 - ・北森カレッジにおける人材育成の取組

- ・道産木材保管・利用拡大等対策事業の内容
- ・道内都市部などの民間施設における道産木材の利用状況
- ・民間施設への木質化波及に向けた具体的な取組
- ・道産木材製品の販路拡大に向けた今後の取組
- ・森林吸収量の確保に向けた今後の取組

等について

浅野 貴博委員（自民） から、

- 1 低気圧被害について
 - ・道内漁協や漁業施設の被害状況と対応
- 2 ホタテ資源について
 - ・ホタテ稚貝の現状と生残率等の減少要因及び本道経済への影響
 - ・日本海のホタテ稚貝に関する連絡会議の内容
 - ・ホタテ稚貝のへい死防止に向けた今後の取組
 - ・コロナ禍以前と比較した中国への輸出の推移
 - ・厚生労働省による輸出事業者への指示に対する認識とこれによる影響回避に向けた今後の取組
- 3 クロマグロ漁について
 - ・第7管理期間における道内各地への小型魚の配分と道内漁業者に対する道からの説明内容
 - ・一律禁漁に対する認識と第7管理期間における対応
- 4 密漁対策について
 - ・羽幌町開催の緊急密漁対策会議への評価と他地域における開催状況
 - ・密漁防止柵設置への取組状況
 - ・見守り強化の重要性や密漁現場の見通しの良化など関係機関の意見を踏まえたこれまでの取組と今後の対応
 - ・密漁防止に向けた今後の取組

等について

中山 智康委員（結志） から、

- 1 木質ペレットの利用促進について
 - ・10年間のペレットボイラー及びストーブの導入状況
 - ・ペレットストーブの普及に向けた取組
 - ・地域でのペレット利用を継続していくための取組
- 2 ホタテガイ養殖の振興について
 - ・噴火湾のホタテガイの生産量と生産額の推移
 - ・最近のザラボヤの処理状況と発生した際の対応方法

- ・へい死の抑制に向けた取組によって明らかになった事項
- ・新たな養殖管理マニュアル策定に向けた飼育試験結果の周知
- ・噴火湾における海洋環境把握のための取組
- ・直近5か年における日本からの水産物及びホタテガイの輸出額と水産物輸出に占めるホタテガイの割合
- ・本道のホタテガイ生産の全国に占める割合及び過去5か年の生産量の推移
- ・輸出拡大に向けたこれまでの取組
- ・厳しい経営状況にある漁業者に対する支援内容
- ・ホタテガイ養殖の持続化に向けた今後の取組

等について

遠藤 連委員（自民） から、

- 1 胆振東部地震による被災森林の復旧について
 - ・植林場所と復旧方法及び復旧が難しい場所への対応方法
 - ・森林内に残された樹木の処理方法
 - ・路網整備の取組内容及び厚真町における林道復旧方法と作業道の整備方法
 - ・森林所有者に対する支援内容
 - ・苗木の必要本数及び苗木生産に向けた地元の取組意向に対する考慮の必要性
 - ・森林組合に加入していない所有者に対する取組内容と意向調査に向けた人員確保
 - ・復旧復興の早期実現に向け国へ働きかける必要性

等について

寺島 信寿委員（公明） から、

- 1 漁業者、漁協の施設整備等に対する金融支援について
 - ・漁業制度資金の種類とその支援内容
 - ・支援資金の概要と実績
 - ・今後の取組
- 2 北の森づくり専門学院について
 - ・令和4年度の生徒募集に向けた取組
 - ・地域における実習の取組
 - ・地域や業界との連携による就業確保に向けた取組
- 3 森林活用型ワーケーションについて
 - ・制度内容と利用者のメリット
 - ・森林活用型ワーケーション推進事業の内容
 - ・今後の取組

- 4 活力ある森林づくりの推進について
- ・未来につなぐ森づくり推進事業の成果と植林の課題及び植林を進めるための対応方法
 - ・植林作業の省力化に向けた進め方
 - ・クリーンラーチの供給状況及び優良種苗の安定供給に向けた今後の取組

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 地球温暖化対策及びカーボンニュートラル等の取組の促進について
- ・道内における木質バイオマスの由来別利用量の推移及び賦存量と比較した利用状況
 - ・木質バイオマス暖房の利用拡大に向けた取組と目標及び市町村が行っている補助事業内容
 - ・燃焼灰の活用に向けた対策の推進状況と有効利用等事例
 - ・木質バイオマス等を活用した地域での事業展開
 - ・道産材等の利用促進に向けた取組方針
 - ・木質バイオマスの普及に係る課題と利用拡大の目標値及びCO₂の吸収源となる必要な森林規模と造林方法
 - ・森林吸収量の目標達成に向けた取組
 - ・漁業で使用されている石油由来資材の使用量削減と再生利用等の取組状況
 - ・道産水産物の消費促進に向けた取組
- 2 水産・林務分野でのジェンダー平等の取組について
- ・ジェンダー平等とリプロダクティブ・ヘルス・ライツに関する認識
 - ・水産林務部における女性職員の職位別登用状況及び課題の認識と今後の取組
 - ・出産・育児休業の取得状況及び取得に性差がある理由と今後の取組
 - ・漁業と林業の就業者構成における女性比率
 - ・法律や条例に基づき設置される審議会における女性委員の就任状況及び委員会と委員数の女性比率
 - ・水産林務部が所管する各委員会の位置づけと総委員数及び女性委員数の比率
 - ・海区漁業調整委員会における女性委員の比率や世代間継承を踏まえた取組の必要性
 - ・ジェンダー平等の観点による委員構成の配慮に向けた今後の取組
 - ・ミス・コンテストに対する認識

- ・ミス日本みどりの女神に対する認識と道行事における広報依頼や参加依頼の実態
- ・道内事業にミス日本みどりの女神を参加要請すべきではないとの考えに対する所見及び林野庁と国土緑化推進機構に対し選任の見直しを求めることに対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産林務部次長、水産局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長、水産林務部技監、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課長、総務課企画調整担当課長、水産経営課長、水産経営課水産支援担当課長、水産経営課水産食品担当課長、水産振興課長、水産振興課首席普及指導員、漁業管理課長、漁業管理課サケマス・内水面担当課長、漁業管理課指導取締担当課長、林業木材課長、林業木材課木材産業担当課長、林業木材課林業振興担当課長、森林計画課長、森林整備課長及び森林活用課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

② **農政部所管に対する質疑**に入り、
浅野 貴博委員（自民） から、

- 1 農業農村整備について
- ・スマート農業の導入推進に向けて必要な整備
 - ・草地整備への今後の取組
 - ・防災・減災に寄与する基盤整備の推進に向けて必要な今後の対策
 - ・パワーアップ事業における先進モデル型の対象農地面積の想定
 - ・先進モデル型の整備環境における地域間格差に対する認識と全道において生産力を向上させるための取組内容
 - ・地元要望を踏まえたパワーアップ事業の予算額に対する今後の取組
 - ・T P P 関連対策の補正を含めた令和3年度の農業農村整備事業の予算措置状況及び地元の整備要望に対する状況
 - ・農業農村整備による体質強化に向けた今後の取組
- 2 米政策について
- ・生産の目安設定の考え方
 - ・生産の目安における販売価格に対する考え及び目安の見直しの必要性
 - ・都道府県連携型助成事業の活用についての検討
 - ・道内における主食用米の消費量及び道産米が占める割合の推移並びに道内の主食用米の生

産量の推移と消費量との関係

- ・日本一の米どころ北海道の構築に向けた具体的な考え
 - ・関連産業の育成と米どころとしての道民意識の醸成に向けた今後の取組
 - ・令和3年産米の需給緩和に対する課題の解決に向けた今後の取組
 - ・水田のフル活用を推進するための今後の取組
- 3 和牛振興について
- ・全国和牛能力共進会第13回大会に向けた目標設定の内容
 - ・和牛農家の戸数維持に向けた取組内容
 - ・新たな酪農・肉用牛生産近代化計画案における飼養頭数目標の設定の考え方
 - ・新たな家畜改良増殖計画案における共進会が開催される令和9年度の位置づけと和牛改良の取組への考え
 - ・余剰飼料摂取量の削減に向けた今後の取組
 - ・ゲノミック評価の支援に対する今後の取組
 - ・新たな種雄牛作出に向けた今後の取組
 - ・繁殖雌牛の具体的な繁殖基盤強化に向けた方策と取組期間の想定
 - ・大会実施に向けた協議会運営に対する認識と今後の取組
 - ・カーボンニュートラルとの両立に向けた今後の取組
 - ・和牛振興と本道経済復興との結び付け
- 4 鳥獣対策について
- ・今年度における農業被害防止対策の具体的な取組内容
- 5 防災重点農業用ため池について
- ・道内におけるため池の耐震調査や耐豪雨調査の進捗状況及び管内別の所在を含めた現在の防災重点農業用ため池の指定状況
 - ・道内のため池における劣化状況の評価
 - ・防災工事等推進計画の策定状況及び防災工事等の推進体制
 - ・安全・安心で豊かな農業・農村の実現に向けた農村地域の強靱化や環境保全の取組内容
- 6 海外悪性伝染病対策について
- ・新たな飼養衛生管理指導等計画の策定に向けた進捗状況及び計画内容
 - ・重点項目の設定と取組方法
 - ・地域の連携強化に向けた指導強化の方法
 - ・道内の家畜防疫員配置状況及び地域連携強化

に向けた具体的な指導方法

- ・今後の取組
- 7 大雪被害等について
- ・今冬の被害状況
 - ・これまでの対応状況及びビニールハウス被害への対応方法
 - ・今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部長の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農村振興局長、農政課長、農産振興課水田担当課長、畜産振興課長、畜産振興課家畜衛生担当課長、農村設計課長、農地整備課長、農地整備課草地整備担当課長及び農村整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日(木) 開議 午前10時1分
散会 午後4時53分
第3委員会室
第3分科委員長
内田 尊之(自民)

① 農政所管に対する質疑を継続し、
笠木 薫委員(民主)から、

- 1 パワーアップ事業について
- ・新年度からの事業概要と先進モデル型の内容
 - ・5か年での区画整理の想定と先進モデル型の想定
 - ・スマート農業の推進に向けた基盤整備内容
 - ・国の全体予算を含めた令和3年度の道への予算措置状況及び地域要望に対する予算規模
 - ・ICTを活用した水管理システム整備の事業対象化
 - ・今後の農業農村整備の進め方
- 2 スマート農業について
- ・推進に向けた人材育成への取組内容
 - ・地域の推進体制づくりに向けた取組内容
 - ・着実な導入に向けた今後の推進方法
- 3 担い手対策について
- ・近年の新規就農者数の推移と増減等の要因
 - ・農業次世代人材投資資金の本年度の交付状況と来年度の予算要求状況
 - ・新規就農者の確保に向けた今後の取組

等について

渡邊 靖司委員(自民)から、

- 1 ホッカイドウ競馬について
- ・第3期プラン素案及び今後の成案に向けた検

討経過

- ・北海道地方競馬運営委員会及び馬産地などの関係者からの意見内容
 - ・今後の発売の維持拡大に向けた取組内容
 - ・門別競馬場の施設に対する現状認識と整備の方向性及び期待される効果
 - ・第3期プランの着実な実行
- 2 農福連携の取組について
- ・地域段階における取組状況
 - ・取組内容
 - ・より一層推進するための課題
 - ・課題解決への対応も含めた今後の取組
- 3 農畜産物等の輸出促進について
- ・直近の農畜産物の輸出状況
 - ・新型コロナウイルス感染の長期化による輸出への影響
 - ・販路開拓に向けた今年度の具体的な取組内容及びコロナ禍における対応や課題
 - ・国の農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく輸出重点品目の産地リストに掲載された道内の産地の状況と今後の産地支援
 - ・道内農畜産物等の輸出額の令和5年の目標達成に向けた今後の取組
- 4 経営相談等の充実について
- ・経営相談の体制や取組の現状
 - ・農家からの相談内容及び相談件数
 - ・農家からの相談に対する具体的な対応状況
 - ・地域課題等への取組状況
 - ・多様な担い手が活躍できる農業・農村の実現に向けた今後の取組
- 5 食品ロスの削減について
- ・推進計画素案のパブリックコメントにおける意見内容
 - ・パブリックコメントを通じた食品ロスへの道民の関心と意見や議会議論等を踏まえた推進計画案への反映方法
 - ・フードバンク活動など未利用食品等の有効活用に向けた取組状況と拡大に向けた取組
 - ・関係者との連携による取組の推進に向けた有識者の活用
 - ・食品ロス削減推進計画を踏まえた今後の取組

等について

山根 理広委員（民主） から、

- 1 難防除雑草（ハルガヤ）対策について
- ・ハルガヤの特徴と道内の分布状況

- ・道に寄せられた苦情とこれまで実施した対応と対策
- ・ハルガヤ拡大の要因
- ・牧草生産に及ぼす影響
- ・今後の具体的な取組内容

等について

中山 智康委員（結志） から、

- 1 子実用トウモロコシの生産振興について
- ・子実用トウモロコシの種類及び利用状況
 - ・輸入トウモロコシの実態
 - ・国内及び道内における生産状況と栽培上のメリット
 - ・生産拡大に当たっての課題
 - ・生産の振興に向けた今後の取組
- 2 パワーアップ事業について
- ・農家負担率設定の考え方
 - ・市町村の負担内容
 - ・農家負担率の変更に係る農家等への対応方法
 - ・基盤整備の推進に必要な予算の確保状況及び国費予算の確保も含めた今後の取組内容

等について

寺島 信寿委員（公明） から、

- 1 富良野地域における大雪被害について
- ・3月1日から3日にかけての被害状況
 - ・今回の被害の特徴及び具体的な影響
 - ・国の支援対策の内容及び今回の災害への適否
 - ・園芸施設共済の制度内容と富良野地域における加入状況
 - ・復旧資材の確保の見通し
 - ・営農再開に向けた技術支援
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のおもてなしについて
- ・今回の札幌開催における取組内容
 - ・食のおもてなしの具体的内容
 - ・花のおもてなしの具体的内容
 - ・今後の取組
- 3 軽種馬産地における人材の確保について
- ・軽種馬生産牧場における労働力の状況及び現場の声も含めた地域の現状と対応状況
 - ・外国人の雇用状況や過去からの推移を含めた門別競馬場の厩務員の確保状況
 - ・厩務員の安定確保に向けた具体的な取組内容
 - ・労働力の確保に向けた今後の対応

等について

真下 紀子委員（共産） から、

1 地球温暖化対策及びカーボンニュートラル等の取組の促進について

- ・地球温暖化対策等に向けた研究内容と成果
- ・通年生産と通年雇用につながる研究成果の普及状況及び今後の普及の見通し
- ・富良野地域における大雪の被害状況
- ・今後の対応と支援の見通し
- ・農業用プラスチックの排出量の推移
- ・農業用プラスチックの再利用に係る取組状況と処理の現状
- ・目標達成に向けた施策展開への位置づけ
- ・消費拡大に向けた取組

2 農政分野でのジェンダー平等の取組について

- ・ジェンダー及びリプロダクティブ・ヘルス・ライツに対する認識
- ・農政部における女性幹部職員の職位ごとの登用状況及び目標との比較
- ・農政部職員の育休取得状況及び男女差に対する改善方法
- ・法律や条例に基づき設置される審議会における女性委員の就任状況及び委員会と委員数の女性比率
- ・優良品種認定審議会において女性委員が2割にとどまっている理由
- ・今後の女性委員の比率向上に向けた取組内容
- ・ミス冠したアンバサダーの活動による普及拡大
- ・ジェンダー平等社会の実現に向けた取組

3 米の無償交付制度の拡充等について

- ・政府備蓄米の無償交付制度の内容
- ・4月から開始予定の申請に係る周知の必要性
- ・制度の拡充を国へ求めることへの所見

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部食の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、競馬事業室長、生産振興局技術支援担当局長、農政課長、競馬事業室参事、食品政策課長、食品政策課6次産業化担当課長、農産振興課長、農産振興課園芸担当課長、畜産振興課環境飼料担当課長、技術普及課長、技術普及課農業環境担当課長、農業経営課長、農業経営課農業支援担当課長、農村設計課長及び農地整備課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

渡邊 靖司委員（自民）から、

1 どうみん割事業について

- ・これまでの宿泊施設等における感染防止策
- ・今後の感染拡大防止策
- ・感染拡大防止策の実施状況の確認と実効性の確保
- ・どうみん割再開時における対象の限定と理由
- ・事業の開始時期

2 観光振興に資するワーケーションについて

- ・道内の動向
- ・地域の動向を含めたワーケーションの認識
- ・ワーケーションの推進主体
- ・部局間の連携による観光関連産業への振興
- ・今後の取組

等について

笠木 薫委員（民主）から、

1 新型コロナウイルス対策について

- ・感染防止に係る要請とセットにした支援策の検討
- ・道民への要請による経済への影響分析と支援策の検討経過
- ・道民への要請に伴う幹部会議での協議と議事録の公表
- ・2月16日からの要請に係る決定過程
- ・対策本部会議における運営方針
- ・特別支援金の制度詳細が確定していない理由
- ・特別支援金に係る申請方法や支給時期等の決定時期など制度詳細の決定時期
- ・対象業種と対象外業種
- ・特別支援金の申請要件の考え方
- ・支援対象事業者の拡大

2 どうみん割の公平性について

- ・どうみん割再開に向けた公平性の観点からの検討
 - ・条件設定の検討
 - ・再開に係る事業の見直し
- ### 3 核廃棄物最終処分場問題について
- ・文献調査に係る交付金事業の予算化
 - ・一連の条例制定への見解
 - ・現時点ではという前置きの理由と反対の意見を述べることへの見解
 - ・幌延深地層研究計画の再延長がないことの確認
 - ・必要な成果への見解

等について

浅野 貴博委員（自民）から、

1 洋上風力発電の導入促進について

- ・令和2年度の実績と効果
 - ・令和3年度の事業
 - ・令和3年度におけるセミナー等の開催
 - ・誘致に向けた課題
 - ・洋上風力発電の課題解決の進め方と今後の取組
 - ・洋上風力発電に対する理解促進や機運醸成に向けた今後の取組
- 2 省エネへの取組について
- ・道関連施設における省エネ化の進捗状況
 - ・令和3年度予算案における省エネ関係事業
 - ・今後の取組
- 3 事業者への支援について
- ・事業継続に向けた支援に対する認識と今後の取組
- 4 誰もが働きやすい環境づくりについて
- ・本道における女性の社会進出や働きやすい環境整備に係る課題と認識
 - ・少子化対策の視点を含めた環境整備に対する認識と今後の取組
- 5 観光振興について
- ・バリアフリー観光の位置づけと今後の取組
 - ・どうみん割りとうぷらすの取扱い

等について

山根 理広委員（民主） から、

- 1 ヘルシーD○について
- ・データベースの構築や維持管理等の状況と公式ウェブサイトなどの情報発信手段との連携やこれまでの事業運営に対する考え方
 - ・ヘルシーD○を含めた道産品の海外販路拡大事業への展開
 - ・精通したバイヤーの招聘と説明会や商談会の開催
 - ・保健福祉部との連携
 - ・国際大会等を契機としたヘルシーD○商品のPRと継続的な取組とする工夫
 - ・今後の展開
- 2 観光政策と民泊業の推進について
- ・宿泊事業者感染予防対策の実施状況と採択された事業者ごとの割合及び今後の実施予定
 - ・コロナ後の対策
 - ・道が開催する民泊の適正運営確保に関する連絡会議への他部の積極的な関与
 - ・イベントホームステイの現状とコロナ後を見据えた取組及び周知

- ・今後の観光振興
- 3 悪質クレーム（カスタマーハラスメント）について
- ・カスタマーハラスメントの認識とこれまでの対策
 - ・道独自の取組

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部食産業振興監、経済部次長、食関連産業室長、観光局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長、観光局誘客担当局長、食関連産業室参事、経済企画課企業活動支援担当課長、観光局参事、中小企業課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、環境・エネルギー課新エネルギー担当課長及び雇用労政課長兼働き方改革推進室長から答弁があった。議事進行の都合により散会。

○3月19日（金） 開議 午前10時4分
閉会 午後5時6分
第3委員会室
第3分科委員長
内田 尊之（自民）

① **経済部所管に対する質疑**を継続し、
笠井 龍司委員（自民） から、

- 1 中小企業支援について
- ・特別支援金の不正受給防止策
 - ・申請手続の円滑な実施に向けた制度設計
 - ・特別支援金の支給対象者数の想定と相談体制の構築に向けた考え方
 - ・売上げ減少に係る支援要件の緩和
 - ・創業間もない企業に対する特例的な取扱い
 - ・支援制度の内容や申請手続の公表

等について

中山 智康委員（結志） から、

- 1 観光振興について
- ・北海道観光の現状
 - ・宿泊業の休廃業の状況
 - ・新年度におけるクリーン北海道の取組
 - ・地域ぐるみの感染予防対策
 - ・どうみん割による経済効果
 - ・どうみん割が再開されない理由
 - ・市町村における宿泊需要喚起策の把握
 - ・どうみん割の再開条件と時期
 - ・再開後におけるどうみん割制度の見直し
 - ・北海道型ワーケーション
- 2 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動

計画について

- ・これまでの成果と改善点
 - ・ゼロカーボンの実現につなげるための電源構成
 - ・地域における持続可能な取組への方法
 - ・計画実現に必要な技術革新に対する認識と展開方法
 - ・老朽化した設備に対する認識
 - ・市町村などの地域における計画策定や課題解決への支援
- 3 雇用・人材対策について
- ・労働相談ホットラインにおける相談と対処の内容
 - ・異業種チャレンジ奨励事業の実施状況とミスマッチ解消の可否
 - ・異業種チャレンジ事業に係る女性や非正規労働者への適用
 - ・コロナ禍で収入源や失職に悩む女性に対する支援
 - ・新卒者の雇用確保への取組
 - ・同一労働同一賃金への取組
 - ・多様で柔軟な働き方がしやすい環境整備に向けた新年度の具体的取組
- 4 新型コロナウイルス感染症に係る経済への影響対策について
- ・感染症拡大防止策としての支援金の支給実績
 - ・協力支援金の支給対象事業者と支給効果の検証
 - ・令和3年度における支援金の事業規模と時短要請の適用時期
 - ・支援金の対象事業者数と積算内容及び国の一時金と比較した際の給付額の認識
 - ・給付金を一律支給することへの見解と申請期間の想定
 - ・北海道スタイルの考え方を取り込んだ施策
 - ・コロナ通知システムの目的の達成状況と来年度以降の効果的な活用方法
 - ・新年度における消費循環の促進

等について

田中 芳憲委員（自民）から、

- 1 省エネ・新エネ促進行動計画について
- ・これまでの取組の評価と課題
 - ・家庭部門におけるエネルギー消費削減目標の設定の考え方と根拠
 - ・新エネ導入に係る環境変化と成果指標設定の

考え方

- ・新エネ発電電力の道外移出を想定した理由と積算根拠
- ・系統接続問題の解決に向けた考え方
- ・計画推進に伴うエネルギー消費構造の変化や経済的な影響への対応方法
- ・人材の育成確保
- ・道における省エネや新エネ製品等の優先調達
- ・計画の推進体制

等について

寺島 信寿委員（公明）から、

- 1 MICEの誘致推進について
- ・新型コロナウイルス感染症発生以降のMICEの開催状況
 - ・今年度の取組状況
 - ・今後のMICE誘致に向けた課題
 - ・今後の取組
- 2 アドベンチャートラベルについて
- ・地域で実施されるアドベンチャーツアー
 - ・地域の担い手が参加する商談会
 - ・コロナ禍におけるサミットの開催効果
 - ・サミットを契機としたアドベンチャートラベルの受入れ体制の整備
 - ・アドベンチャートラベルの位置づけと今後の推進
- 3 eスポーツによる経済活性化について
- ・eスポーツをめぐる国内及び道内の現状
 - ・今後の対応
- 4 高等技術専門学院について
- ・コロナ禍におけるMONOテク訓練生の修了及び進級の見通し
 - ・修了予定の訓練生における就職状況
 - ・令和2年度における既卒者の入校状況
 - ・既卒者に対する入校促進の取組強化
 - ・雇用のセーフティーネット機関としてのMONOテクの在り方
- 5 中小・小規模事業者の資金繰り支援について
- ・資金ニーズへの対応
 - ・融資条件の変更等への対応
 - ・企業体質強化貸付の創設理由と融資枠の設定

等について

千葉 英守委員（自民）から、

- 1 コロナ禍後の経済政策について
- ・道内観光客の道民の割合及びマイクロツーリズムによる本道観光への効果や魅力

- ・マイクロツーリズムの課題
- ・マイクロツーリズムの推進
- ・薄野地区に対する時短要請や支援金の効果と認識
- ・薄野地区の経済回復に向けた取組
- ・薄野地区の再活性化に向けた取組
- ・薄野地区を含む全道各地の繁華街における客足回復策
- ・薄野地区に対する今後の支援

等について

藤川 雅司委員（民主） から、

- 1 ゼロカーボン北海道について
 - ・地域における再生可能エネルギーの利用促進に向けた取組
 - ・マイクログリッドの取組成果と新年度の取組内容
 - ・ゼロカーボン北海道に向けた今後の取組
- 2 離職者の就職支援について
 - ・異業種チャレンジ奨励事業の現状と課題及び新年度の取組
- 3 若者の早期離職対策について
 - ・早期離職の現状と防止対策
 - ・職場定着への相談体制等の整備
 - ・今後の就職支援

等について

沖田 清志委員（民主） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・経営持続化支援緊急特別対策事業費の対象事業者への支援
 - ・支給要件から外れる事業者への対応
 - ・支援金の対象期間
 - ・対象期間の見直し
 - ・北海道コロナ通知システムの改修と改修時期
 - ・北海道コロナ通知システムに係る改修経費と保守管理経費の所管部
 - ・システム利用人数
 - ・利用人数の実態に対する認識と改善策
 - ・システムの登録事業者数とその内訳
 - ・登録の少ない業種に対する認識と改善策
 - ・北海道コロナ通知システム導入の経過
 - ・業者を訪問した理由
 - ・他者に接触しなかった理由
 - ・公募を行わなかった理由
 - ・導入を急いだ理由
 - ・運用を開始した時期

- ・委託契約の手続
 - ・業務処理計画の提示前にシステム運用を開始した理由
 - ・改修の必要性
- 2 苫東開発について
 - ・道内の自動運転車大型実証試験の現状
 - ・実証試験に係る今後の取組
 - ・蓄電池産業に対する認識
 - ・苫東への蓄電池産業の誘致に向けた早期の取組強化
 - ・苫東二次買収用地に係る国との協議内容
 - ・今後の取組
 - ・再延長をしないよう国から確約をとるべきとの考えに対する所見

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 経済分野でのジェンダー平等の取組について
 - ・ジェンダー及びリプロダクティブ・ヘルス・ライツに対する認識
 - ・経済部における女性幹部職員の職位ごとの登用状況及び目標との比較
 - ・経済部職員の育休取得状況及び男女差に対する改善方法
 - ・法律や条例に基づき設置される審議会における女性委員の就任状況及び委員会と委員数の女性比率
 - ・商工業振興審議会及び観光審議会並びに科学技術審議会における女性委員が少ない理由と観光分野での効果
 - ・今後の女性委員の比率向上に向けた取組内容
 - ・ミス冠したアンバサダーの活動による普及拡大
 - ・ジェンダー平等社会の実現に向けた取組
 - ・道内企業における賃金格差の状況
 - ・道内企業における女性の役員及び管理職の割合
 - ・道内企業における育児休業の男女別取得状況
 - ・民間企業に対する取組状況と今後の取組強化
- 2 コロナ禍における雇用対策等について
 - ・正規・非正規雇用者数と前年からの割合の変化及び全国平均との相関関係
 - ・雇用におけるジェンダーギャップの実態に対する認識
 - ・ジョブカフェ・ジョブサロン及びマザーズ・キャリアカフェの相談件数と前年度からの比

較

- ・コロナ禍における相談体制の在り方
 - ・コロナ禍におけるワンストップでの女性相談体制の構築
- 3 原発・エネルギー政策等について
- ・新エネルギー導入加速化基金の活用状況
 - ・地域主体の新エネ導入支援事業の実績と全道展開に向けた取組内容
 - ・新エネルギー導入加速化事業による域内循環型経済促進の意義と効果
 - ・再生可能エネルギーの普及拡大に向けた目標設定と推進のための財政措置
 - ・北電による組織的な世論操作の経緯
 - ・原子力に携わる道職員の基本原則に応じた職務の遂行
 - ・泊原発の再稼働における北電からの説明聴取
 - ・北電が電気事業者連合会のプルサーマル発電利用計画の対象となっていることへの認識
 - ・北電内の技術継承と人材育成
 - ・他社の原子力発電所に出向している北電社員に係るPCR検査の実施状況
 - ・使用済み核燃料とMOX燃料の違い
 - ・核燃料サイクルからの徹底と国への申出
 - ・核のごみ最終処分場選定に係る文献調査の進行状況の把握
 - ・環境評価が文献調査の対象となることへの認識
 - ・道が把握する寿都町の地質と科学的特性マップ段階での評価及びNUMOの調査資料
 - ・NUMOの調査だけではなく地質研究所に確認を依頼することの可否
 - ・対話の場に係る設置経緯と道としての参加の意向
 - ・NUMOによるやらせの内容
 - ・隣接町村の核抜き条例に対する受け止め
 - ・住民投票により受け入れないとなった場合における国の受け止め
 - ・選定過程から完全に離脱できる保証と法的根拠の必要性

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部次長兼経済企画局長、経済部次長、食関連産業室長、観光局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長、観光局誘客担当局長、労働政策局産業人材担当局長、総務課長、経済企画課長、経済企画課企業活動支援担当課長、観光局参事、中小企業課長、中小企業課金融担当課長、産業振興課長、産業振

興課苦東・石狩担当課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、環境・エネルギー課新エネルギー担当課長、雇用労政課長兼働き方改革推進室長、雇用労政課就業担当課長、産業人材課長及び産業人材課職業訓練担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

予算特別委員会

○3月22日(月) 開議 午後1時5分
閉会 午後6時35分
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 議事進行の都合により休憩に入り、再開後、総括質疑については3月23日(火)に行うことに決定。

○3月23日(火) 開議 午前11時1分
閉会 午後5時52分
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、**笠井 龍司委員(自民)**から、
 - 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・感染拡大抑止と経済分野における需要喚起のタイミングに係る所見
 - ・現時点のタイミングの現状認識及び今後の取組
 - ・変異株への対応等について、感染防止対策として効率的かつ効果的にPCR検査を活用する考えに対する見解
 - ・ウイズコロナ時代における効率的な医療提供体制の構築に向けた取組
 - ・円滑なワクチン接種に向けた取組
 - 2 警戒ステージの運用について
 - ・感染の拡大局面と収束局面で判断基準を使い分ける考え方を明確にして警戒ステージを運用することにより、感染拡大の抑制と医療提

供体制への負荷軽減を図るべきとの考えに対する見解

- ・道民の方々に行動変容を継続いただくためには、道のリスクコミュニケーションの在り方をよりシンプルで明確なものにすべきとの考えに対する見解
 - ・今後感染が拡大し、新型インフルエンザ特措法に基づく休業要請等を行わなければならない事態に至った場合の対応
- 3 中小企業支援について
- ・中小企業等への特別支援金について、支援要件の緩和や特例的取扱など制度設計を工夫すべきとの考えを踏まえた見解
 - ・特別支援金制度の申請受付開始時期等の公表に対する見解
 - ・G o T o E a t 事業の再開時期の提示に対する見解
- 4 どうみん割事業について
- ・どうみん割の対象となる、コロナ禍の中で感染拡大防止策を徹底した旅行に係る所見及び事業開始に対する見解
 - ・国のG o T o キャンペーンとの関係の整理及びどうみん割事業の展開に係る所見
- 5 コロナ禍後の経済政策について
- ・本道の観光回復に有効な手段として、マイクロツーリズムの推進への早急な検討及び対策の実施に向けた取組
 - ・薄野経済の回復に係る所見
 - ・薄野に対する思い
- 6 J R 北海道の経営再建について
- ・J R 北海道に対し、支援が講じられることにより必ず道民の期待に応えられることを表明させる必要性に対する認識
- 7 地球温暖化対策について
- ・原子力発電を過渡的エネルギーと位置づけている条例の考え方を地球温暖化対策推進計画にも反映させる必要性に対する見解
 - ・地球温暖化対策推進計画で掲げた目標実現に向けた取組
- 8 省エネ・新エネ促進行動計画について
- ・中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針に、道が率先して省エネや新エネの開発及び導入に取り組むことを具体的に明記すべきとの考えに対する見解
 - ・ゼロカーボン北海道の推進体制について、外

部の関係者を巻き込む会議体は一体的なものとして開催すべきとの考えに対する見解

- 9 米政策について
- ・令和2年産主食用米作付実績から2万トン削減し、飼料用米等へ転換する決定に係る今後の対応
- 10 アイヌ政策について
- ・アイヌの人々の民族としての誇りが尊重される社会の実現に向けた取組
- 11 行財政運営方針について
- ・行財政運営の基本方針におけるエビデンスに基づく政策展開の推進の必要性及びその推進を来年度以降の基本方針に明記する考えに係る所見
- 12 デジタル化の推進について
- ・デジタル化に対応できる人材の育成確保策について、計画づくりに早急に着手すべきとの考えに対する見解
 - ・デジタル化の推進に係る所見
- 13 民間ノウハウ等の活用について
- ・医療従事者の方々を応援する「エールを北の医療へ！」の取組を除けば低調な実績となっている状況の受け止め及び任期後半に取組を加速させる方法
- 14 北海道総合計画の見直しについて
- ・世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受けているタイミングで見直す計画について、北海道の未来への歩みを確かなものとするために盛り込む思いに係る所見

等について

池端 英昭委員（民主）から、

- 1 行財政運営の基本方針について
- ・新たに策定する基本方針における縦割的な組織運営の課題の認識及び見直し方法
 - ・基本方針の取組を着実に推進するための目標設定や達成状況などの効果検証及び道民に分かりやすく情報提供するための取組
- 2 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・ワクチン接種について、市町村での地域間格差が生じないように、効果的なワクチン接種体制を主導しなければならないとの考えに係る所見
 - ・感染実態の公表について、地域対策を講じるためには振興局管内単位ではなく、詳細な感染情報とするための早急な対策及び検討に向

けた取組に係る所見

- ・ エッセンシャルワーカーをはじめ、福祉施設等の職員や入所者に対するPCR検査を定期的に実施し、福祉分野における安全な環境提供に努めるべきとの考えに係る所見
 - ・ 濃厚接触者となった要介護者の受入れについて、ショートステイなどの施設の協力が得られない場合の対応に係る所見
 - ・ 感染力が強い変異株の感染拡大の危険性に対する対策に係る所見
 - ・ まん延防止等重点措置を国へ要請する具体的な判断基準や運用基準を提示すべきとの考えに係る所見
 - ・ 道独自の特別支援金について、政策決定過程の段階での議会提案及び提案の遅延に係る所見
 - ・ 道独自の特別支援金の対象要件について、対象時期の拡大及び売上減少割合の拡大の必要性に係る所見
 - ・ 道独自の特別支援金制度決定の時期、申請、支給開始日時に係る所見
 - ・ 離職者の就労支援について、今後も需要が見込まれる事業予算の算定根拠の妥当性に対する見解
- 3 カーボンニュートラルの実現について
- ・ ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組に係る所見
 - ・ 林産業に関連する担い手確保などの課題がある中、将来に向けた森林吸収源対策の推進に係る所見
 - ・ 地域における新エネルギーの活用について、マイクログリッドの推進による分散型エネルギーシステムへのスピード感を持った取組及び水素社会の実現に向けてスピードアップを図るべきとの考えに係る所見
 - ・ 北方型住宅の推進について、全道各地の住宅展示場などで省エネ性能の見える化や断熱性能が高いZEHを導入するなど、積極的に取組むことに係る所見
 - ・ 今後の推進体制について、真に実効性ある組織に係る所見
 - ・ ノーベル経済学賞を受賞した自発的な行動変容を促すナッジ理論を道民の行動変容に結びつけていくための具体的な方策に係る所見
 - ・ ゼロカーボン北海道の実現に向けた工程表と

なるロードマップ作成の必要性に係る所見

- 4 「性的マイノリティへの理解促進」について
- ・ 同性婚が認められないのは差別であり、違憲だという札幌地裁の判決の趣旨について、見直しを進めている人権施策推進基本方針への反映に係る所見
- 5 アイヌ政策について
- ・ 民放の情報番組において、アイヌの方々の尊厳を著しくおとしめる極めて不適切な内容が全国に放送されたことに対する認識
 - ・ アイヌの方々の歴史や置かれた状況の理解が不足している課題解消のため、全国的な啓発活動を行う組織設置などの積極的な取組の必要性に係る所見
- 6 東京オリンピックの札幌開催について
- ・ オリンピック憲章や東京ビジョンにある人権配慮に関し、大会を通じた多様性と調和に係る所見
 - ・ 大会のレガシー及び競技開催に伴う全道への波及効果に係る所見

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・ PCR検査の強化及び検査体制整備計画の見直しに向けた取組
 - ・ PCR検査について、人の往来が活発化することを踏まえ、自費検査への補助を検査の充実に加えることに係る所見
 - ・ 道衛研における次世代シークエンサーによる1日当たりの変異株の検査可能数及び最終的に目指す変異株の検査に係る所見
 - ・ 警戒ステージの不断の見直しの中で、サーキットブレーカーの導入を視野に見直しを行い、対策を講じることに係る所見
 - ・ 職員のワーク・ライフ・バランスについて、男性職員の育児参加に対する認識及び育休率向上に係る所見
 - ・ 時間外勤務について、過労死ラインを超える感染症関連業務の実態に対する認識及び是正に向けた見解
 - ・ 雇用対策について、コロナ禍での非正規の女性労働者に対する対策強化及び多様な働き方の促進を図る必要性に対する見解
 - ・ 協力支援金について、令和3年度に計上した12億円の予算を執行する時期に係る所見

- ・時短営業等により大きな影響を受けた事業者に対する支援について、給付額及び一律給付の見直しに係る所見
 - ・観光振興について、より効果的なワーケーション誘致策を講ずるべきとの考えに対する見解
 - ・「新しい旅のスタイル」を構築するモデル事業を会期末に提案することに関する議会との在り方に係る所見
- 2 環境政策について
 - ・室蘭市が取り組む室蘭港を液化水素の輸入拠点とし、道内各地への輸送基地とする構想を、ゼロカーボン北海道の取組にも入れるべきとの考えに係る所見及び構想実現に向けたポイントに係る所見
 - ・北海道地球温暖化防止対策条例にゼロカーボン北海道の実現を基本理念として明記することに係る所見

等について

安藤 邦夫委員（公明） から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・変異株等による感染再拡大、リバウンドに対する今後の見通し及び有識者会議や専門会議の方々との意見交換の有無
 - ・病床確保計画の病床数の見直しを含めた今後の万全な医療提供体制の整備に係る所見
 - ・重症化リスクが高い高齢者施設入所者及び職員の方々に対する定期的なPCR検査の徹底に係る所見
 - ・療養後に見られる後遺症への対応について、後遺症専門外来を設けるなどの具体的な対策の必要性に係る所見
- 2 日本海地域の振興対策について
 - ・総合計画の見直しに反映させるために地域の意向を把握する方法及び今後のスケジュールに係る所見
 - ・総合計画の見直しに向けた今後の進め方に係る所見
 - ・様々な分野で課題が山積している地域に寄り添いながら、市町村の地域創生に向けた取組を支援することに対する今後の取組
 - ・日本海地域の振興に向けて、民間のノウハウや活力を生かした取組の必要性を踏まえた今後の取組
- 3 富良野地域における大雪被害について

- ・農業保険制度への加入を強く促進し、持続的な北海道農業・農村の確立に向けた取組

等について

真下 紀子委員（共産） から、

- 1 ジェンダー平等の取組について
 - ・ジェンダー平等とリプロダクティブ・ヘルス・ライツの意義
 - ・女性職員の登用に対する目標達成に向けた指示及びその結果である現状の評価
 - ・幹部職員への女性登用に対する目標について、早期に目標を達成するための取組
 - ・意思政策決定過程となる審議会委員の性別による偏在に対する現状認識及び解消に向けた取組
 - ・男性職員の育休取得が進んでいない現状の受け止め及び育休の意義と現状のギャップに係る所見
 - ・育休取得に対する支援の強化に係る所見
 - ・道庁におけるジェンダー平等社会の実現に係る所見
- 2 原発・エネルギー政策等について
 - ・福島第一原発事故から10年を経た現在の認識及び2008年の泊原発のプルサーマル計画をめぐるやらせに対する認識
 - ・泊原発をめくり繰り返された北電のやらせの総括と、やらせに関与した北電と道庁に示された行動基準及び基本原則にのっとり道職員の職務の遂行に対する見解
 - ・電気事業連合会が2030年度までのプルトニウム利用計画に泊3号機でのプルサーマル発電を明記したことに対する北電の説明に係る所見
 - ・NUMOのやらせに対し、反対派を排斥する動員は不適切という行動基準は守られるべきとの考えに係る所見
 - ・寿都町、神恵内村の周辺自治体等において、核のごみの持ち込みを認めない条例制定や意見書の決議の採択が相次いでいることに対する受け止め及び住民の声を行政に反映するための手法に係る所見
 - ・最終処分場の選定過程からの離脱の根拠としている大臣文書に係る所見
 - ・最終処分場の選定過程からの離脱について、質問主意書に対する国の回答内容及び法的根拠と回答書の位置づけに対する決定方法

- ・閣議決定された質問主意書の中で、自治体の意に反して反対意思の伝達手続に法的根拠を与えないこと及び大臣文書は事務文書にすぎないと示されていることに対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

- ② 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことに決定。
- ③ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号、第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号及び第21号は意見の一致をみるに至らなかった旨の報告の後、沖田清志委員（民主）外2名から議案第1号については撤回し、組替えの上再提出を求める動議が提出され、小泉真志委員（民主）から提出者の説明の後、討論に入り、真下紀子委員（共産）から討論の後、動議の採決に入り、起立採決の結果、起立少数をもって動議を否決することに決定。

次に、議案第1号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号及び第21号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号、第4号、第5号、第8号ないし第10号、第13号、第15号、第16号及び第18号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。

- ④ 太田憲之委員（自民）から、附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって本動議のとおり可決することを決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

附 帯 意 見

1. 新型コロナウイルス感染症の新規感染者の発生が集中対策期間終了後も下げ止まりの状態にあり、変異株による感染の広がりも見られることから、本道では、第5波の到来が危惧される。

変異株に対応するスクリーニング検査の拡充はもとより、モニタリングや高齢者施設等でのPCR検査等を積極的、効果的に実施し、感染対策、経済対策に反映させるとともに、ワクチン接種の本格実施に向けて、市町村、医療機関、医師会等と緊密に連携し、準備に万全を期し、着実に接種を実施すべきである。

また、こうした対策を通じて感染を徹底的に抑え込み、早急にどうみん割事業をはじめとする需要喚起策の本格実施が可能となるよう全力を尽くすべきである。

1. 近年、気候変動の影響で大規模な災害が頻発しており、その要因とされる地球温暖化を抑制する温室効果ガスの排出削減が喫緊の課題となっている。

道が脱炭素化に向けて示した2050年ゼロカーボン北海道の実現、2030年度CO₂35%削減の達成など、新たな地球温暖化対策推進計画の実現に着実に取り組む必要がある。

取組の基本となる生活スタイル等の転換、挑戦、創造の三つの意識を、全て道民、事業者、行政が共有し、一丸となって取組を推進すべきである。

1. デジタル化の推進は、本道の成長発展に不可欠であり、道は、その先頭に立って取組を積極的にリードしていくべきである。

そのためには、デジタル化を支える情報基盤はもとより、急速に進むデジタル化に対応できる人材の育成確保が重要である。

道は、Smart道庁の推進を支える人材の育成確保に努めることはもとより、道内の中小企業や1次産業生産者がデジタル化に対応できるよう、人材の育成確保などを積極的に支援すべきである。

| | |
|---|---|
| 資 | 料 |
|---|---|

第 1 回定例会において議決を経た条例の公布調

| 件 名 | 議決年月日 | 公布年月日 | 公 布 番 号 |
|------------------------------------------------------|-----------|-----------|------------|
| 東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等における新型コロナウイルス感染症対策基金条例 | R3. 2. 25 | R3. 3. 5 | 北海道条例第 1 号 |
| 北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例 | R3. 2. 25 | R3. 3. 5 | 北海道条例第 2 号 |
| 北海道新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金条例 | R3. 3. 15 | R3. 3. 23 | 北海道条例第 3 号 |
| 北海道看護職員養成確保修学資金貸付条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 4 号 |
| 北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 5 号 |
| 北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 6 号 |
| 北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 7 号 |
| 北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 8 号 |
| 特定非営利活動促進法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第 9 号 |
| 北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第10号 |
| 北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第11号 |
| 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第12号 |
| 北海道指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第13号 |
| 北海道指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第14号 |
| 北海道森林整備地域活動支援基金条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第15号 |
| 北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第16号 |

| 件名 | 議決年月日 | 公布年月日 | 公布番号 |
|----------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 北海道道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第17号 |
| 北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第18号 |
| 北海道公営企業条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第19号 |
| 北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 | R3. 3. 24 | R3. 3. 31 | 北海道条例第20号 |

1月の出来事

- 7日 ○菅義偉首相は、東京都と埼玉、千葉、神奈川3県を対象に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言の再発令を決定する。首都圏の感染拡大に歯止めがかからず、医療提供体制が逼迫していることを踏まえた。緊急事態宣言は昨年4月に初めて発令して以来となる。
- 8日 ○道は、11日まで停止している道民の道内旅行を最大半額助成する「どうみん割」の第1弾について、再開せずに終了することを決めた。政府の観光支援事業「Go To トラベル」の停止延長を受けた措置。12日から第1弾の利用期限となる31日までの予約済みの旅行のキャンセルは無料となる。また、第1弾終了後の2月から予定していた第2弾も開始時期を延期する。今後の新型コロナウイルスの感染状況などを踏まえ、時期を判断する。
- 9日 ○新型コロナウイルスの感染拡大を受け、道内では計85市町村で成人式が中止・延期となった。成人の日（1月11日）前日の10日には、室蘭市など65市町村で式が行われるが、各自治体は時間を短縮したり、参加者を少人数に分けたりと感染対策に知恵を絞る。振り袖のレンタル業者や美容室といった関連業界も影響を受け、別の方法で一生に一度の晴れの日を祝おうとする動きもある。
- 14日 ○米下院本会議は、トランプ大統領の支持者による議会襲撃を扇動したとして、トランプ氏の弾劾訴追決議案を賛成多数で可決した。与党共和党からも10人が賛成した。トランプ氏は2019年にも「ウクライナ疑惑」を巡って弾劾訴追されており、在任期間中に2度にわたって弾劾訴追されるのは米国史上初めて。
- 18日 ○大学入試センター試験の後継となる初めての大学入学共通テストは、2日間の第1日程を終えた。道内会場では大きなトラブルはなく、16日の試験が暴風雪で中止となった稚内北星学園大会場でも予定通り行われた。
- 21日 ○昨年11月の米大統領選で勝利した民主党のジョー・バイデン氏（78）が、首都ワシントンの連邦議会議事堂で宣誓し、第46代大統領に就任した。就任演説で「米国民に結束を取り戻すことに全霊を注ぎ込む」と表明。新型コロナウイルス対策に最優先で取り組み、国際協調路線に回帰してトランプ政権下で進んだ孤立からの脱却を図る考えを示した。
- 21日 ○道は、千葉県から赤平市のアイガモ農場に出荷されたアヒルのひなが高病原性鳥インフルエンザに感染している疑いがあるとして、ひな600羽を殺処分した。道内での殺処分は2016年に十勝管内清水町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの感染が確認されて以来2度目。
- 24日 ○鈴木直道知事は、JR北海道が地元負担を前提に存続する方針の8区間の利用促進策として観光列車を購入して新年度から3年間、JRに無償貸与する方針を示した。地元負担は沿線自治体と合わせて年2億円だった昨年度と本年度より増額した上で道単独で抛出し、国の同額補助と合わせて複数の列車を購入する。道は、JRが昨年秋に投入した観光列車「はまなす」の新造費の一部やWi-Fi設備の整備費などを負担したが、列車購入は初めて。赤字路線を積極支援することで長期存続につなげる狙いがある。
- 28日 ○プロ野球楽天は、米大リーグ、ヤンキースからフリーエージェント（FA）となっていた田中将大投手（32）と2年契約で入団に基本合意したと発表した。推定年俸は9億円プラス出来高払いで、契約を更改した巨人の菅野智之投手の8億円を超えて日本球界最高となる。8年ぶりの楽天復帰となり、背番号は「18」に決まった。
- 29日 ○総務省が発表した2020年平均の非正規労働者数は、前年比75万人減の2,090万人だった。女性や高齢者の就労を背景に増え続けていたが、比較可能な14年以降初めて減少に転じた。新型コロナウイルス感染拡大に伴う企業の経営悪化で、解雇や雇い止めが増加したためとみられる。失業率も悪化し、コロナ禍による景気低迷が響き、雇用情勢の悪化が鮮明となった。

2月の出来事

- 1日 ○ミャンマーの国軍系テレビは、非常事態宣言が発令されたと伝えた。政府の事実上トップのアウン・サン・スー・チー国家顧問兼外相と、ウィン・ミン大統領らは国軍に拘束され、全権を国軍が掌握するクーデターが実行された。国軍は、スー・チー氏率いる与党、国民民主連盟(NLD)が圧勝した昨年11月の総選挙を巡り、大規模な不正があったと主張し、緊張が高まっていた。
- 2日 ○道南近海で漁獲するスルメイカ漁が1月末で終わり、函館市水産物地方卸売市場の2020年度の生鮮取扱量は計436トンと、過去最低だった前年度より4割減少し、最低記録を更新した。海洋環境の変化や外国船による乱獲で資源量が少なくなっていることに加え、津軽海峡の海水温が高かったことが影響。記録的な不漁に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で価格は3年ぶりに下落に転じ、漁業者には「二重苦」となっている。
- 3日 ○新型コロナウイルス対策の実効性を高めるため、新たに罰則を導入する改正特別措置法と改正感染症法が参院本会議で自民、立憲民主、公明、日本維新の会4党などの賛成多数により可決、成立した。即日公布され、施行は13日。緊急事態宣言の前段階として「まん延防止等重点措置」を新設し、私権制限を強化する。営業時間短縮の命令や入院措置に応じない場合、行政罰の過料を科す。新たな措置は法律に要件の規定がなく、運用に懸念が残る。
- 4日 ○新型コロナウイルスの影響で中止したさっぽろ雪まつりの代替イベントとして行われる「オンラインさっぽろ雪まつり2021」が4日から、インターネット上で始まる。雪像製作の過程や過去の雪まつりの歴史を動画や画像で28日まで配信する。
- 9日 ○菅義偉首相の長男による総務省幹部の接待問題で、首相が代表を務める「自民党神奈川県第2選挙区支部」が2014～18年、長男が勤務する放送事業会社「東北新社」の当時の社長から計250万円の献金を受けていたことが9日、政治資金収支報告書で分かった。
- 15日 ○ロシアのプーチン大統領は国営テレビで、日ロ関係について「日本との関係を発展させたいと思っているが、ロシア憲法に矛盾することは何もしない」と述べた。昨年7月に発効した改正憲法に盛り込まれた領土の割譲を禁止する条項が念頭にあるとみられ、北方領土の主権を引き渡さない意思を示唆した。改正憲法と対日関係を絡めたプーチン氏の発言が、公になるのは初めて。
- 19日 ○東京五輪・パラリンピック組織委員会の会長に就いた自民党の橋本聖子参院議員が離党する意向を固めた。国会内で開かれた道内関係国会議員による党北海道ブロック両院議員会では、離党せず党道連会長を続投する意向を表明したが、政治的中立を求められる立場だとして与野党から疑問の声が上がり、国会運営にも支障が出るとして翻意した。
- 20日 ○道内で新型コロナウイルスワクチンの医療従事者への先行接種が始まった。対象の7医療施設では午前中から米ファイザー製ワクチンの搬入作業が行われた。各施設には5日にワクチンを保管する超低温冷凍庫が設置されたほか、接種希望者の調整や会場の準備なども進められており、大きな混乱はなかった。先行接種はワクチンの安全性だけでなく、道民への本格接種に必要な体制や手順を確認する機会ともなる。
- 25日 ○格安航空会社(LCC)エアアジア・ジャパン(愛知県常滑市)が東京地裁から破産手続きの開始決定を受けたことが分かった。新型コロナウイルス流行による乗客の減少で経営が悪化したため、国内拠点の航空会社が同様の理由で破産するのは初めて。

3月の出来事

- 1日 ○道内7空港のターミナルビルを一括運営する北海道エアポート（HAP、千歳）は函館、釧路、帯広、女満別、稚内の5空港の滑走路などの運營業務を始め、民営化対象の7空港すべてで空港ビルと空港本体の「上下一体運営」に移行する。空港本体の運營業務は、滑走路や誘導路の点検、滑走路の除雪、空港内の鳥獣対策など多岐にわたり、これまで業務を担っていた国などからHAPが引き継ぎを受けていた。
- 2日 ○ホームセンター（HC）業界2位のDCMホールディングス（HD、東京）は釧路発祥のDCMホームマック（札幌）など傘下の事業会社5社を1社に統合した。新会社の「DCM」（東京）がHC事業全体を統括する体制にして意思決定を早め、運営を効率化する。
- 20日 ○東京五輪・パラリンピックで海外からの一般観客受け入れを断念することが正式に決まった。大会組織委員会、政府、東京都、国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）の代表がオンラインで開いた5者協議で合意した。新型コロナウイルスは変異株の出現などで厳しい感染状況が続き、国民の不安も強いことを踏まえた。海外在住者が購入したチケットは払い戻す。
- 26日 ○北海道新幹線（新青森—新函館北斗）が開業5周年を迎え、JR北海道は新函館北斗駅（北斗市）で節目を祝うイベントを行った。道南の自治体職員やホテル関係者らが、東京駅から出発した新幹線「はやぶさ」の乗客を横断幕を掲げて出迎えた。
- 28日 ○ミャンマーで国軍記念日の27日、国軍に抗議するデモ参加者らを治安部隊が銃撃するなどし、各地で114人が殺害された。オンラインメディア「ミャンマー・ナウ」が伝えた。今回のクーデター後、1日の死者数としては過去最悪。国軍は事前にデモ参加者の射殺を警告、激しい弾圧に出た。
- 29日 ○アイスホッケー・アジアリーグの王子イーグルス（苫小牧市）は、本拠地の白鳥王子アイスアリーナで95年間の実業団の歴史に幕を下ろした。来季はクラブチームとして再出発する。1926年に発足した王子スケート同好会が前身で、チームを運営する製紙最大手の王子ホールディングス（東京）が昨年10月、クラブへの移行を発表した。来季からはチーム名もレッドイーグルス北海道に一新する。
- 29日 ○東京五輪・パラリンピック組織委員会は、札幌市で5月5日に開く五輪マラソンのテスト大会に、海外から選手が参加する方向で調整していることを明らかにした。海外選手の受け入れは4月以降に予定する18のテスト大会のうち、マラソンを含む5大会で想定しており、新型コロナウイルス対策を検証する。
- 30日 ○商品やサービスの店頭価格に消費税を加えた「総額表示」が4月1日から義務化されるのを前に、道内で店舗展開する小売り・外食各社が値札の付け替えや税込み価格の見直しなどの対応に追われている。支払額と異なる価格表示は、2013年10月施行の消費税転嫁法による特例で認められてきた。翌年の税率8%への引き上げを前に、消費者の増税への反発を和らげる狙いもあった。
- 31日 ○道が新年度の4月1日までに実施する押印の廃止は、これまで押印が必要だった許認可や届け出などの行政手続きのうち、8割以上の約2,600種類に及ぶ。菅義偉政権が進める行政手続きのデジタル化や「脱はんこ」に合わせて手続きを簡略化する狙いで、特別障害者手当の受給資格の認定などが対象。
- 31日 ○大阪府は、政府に対し新型コロナウイルス特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」の適用を要請した。吉村洋文知事は要請を決めた対策本部会議で「遅くとも週明けの4月5日からなるよう調整をお願いしたい。期間も3週間程度、必要だと思っている」と述べた。適用されれば全国初。

その先の、道へ。北海道

北海道議会時報
第73巻第1号

編集 北海道議会事務局政策調査課
〒060-0002
札幌市中央区北2条西6丁目
TEL 011-204-5691
E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp
発行 令和3年（2021年）6月30日